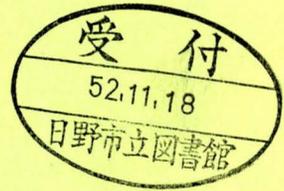


昭和49年度

# 学校教育要覧



日野市教育委員会

日野市立図書館 ☎81-7354



1374793

## 目 次

◆ 日野市地図	
◆ 昭和49年度指導目標 .....	1 頁
◆ 年間行事計画 .....	9
◆ 指導主事分担一覧 .....	21
◆ 日野市教育相談室 .....	23
◆ 日野市教育センター .....	26
◆ 使用教科書 .....	28
◆ 日野市教育委員会事務局組織 .....	29
◆ 小中学校教科領域研究主任一覧表 .....	30
◆ 日野市立幼稚園、小学校、中学校要覧 .....	31

# 日野市全図

- ◇ 市立幼稚園 (5園)
- 市立小学校 (14校)
- 市立中学校 (5校)



日野市役所

1 : 30,000  
0 500 1000 2000m

# 日野市教育委員会

## 昭和49年度学校教育の指導目標

人間尊重の精神を養い、広く国際社会において信頼と尊敬を得られる国民的資質を高め、勤労と責任を重んじ、自主性と創造性に富み、規律正しく健康で情操豊かな市民の育成をめざす教育を推進する。

特に、未来への展望にたつて、教育の本質と学校教育のあり方について深く考え、地域の実態に即し、ひとりひとりの幼児・児童・生徒の資質を伸ばし、望ましい社会性の育成をはかる指導の徹底に努める。

そのため、本年度は次の事項に重点をおく。

- 創意のある学校経営
- 教育内容・方法の構造化と効率化
- 教師と幼児・児童・生徒および父母との心の交流
- 人権尊重の教育
- 健康と安全の教育

※ アンダーラインの部分は、昭和48年度の字句を改めたり、新しく加えた部分です。

### [参考]

#### 昭和49年度東京都教育委員会の学校教育における指導目標

人間尊重の精神を養い、広く国際社会において信頼と尊敬を得られる国民的資質を高め、勤労と責任を重んじ、自主性と創造性に富み、規律正しく健康で情操豊かな都民の育成をめざす教育を推進する。

特に、未来への展望にたつて、教育の本質と学校教育のあり方について深く考え、地域の実態に即して教育課題に積極的に取り組み、教師・児童・生徒、父母、相互の信頼をいっそう深め、ひとりひとりを生かす指導の徹底に努める。

そのため、次の事項に重点をおく。

- 創意のある学校経営
- 教育内容・方法の現代化
- 人権尊重の教育
- 健康・安全の教育

## ☆ 小学校教育の方針

### 1. 学校経営、学級経営

- 1) 各学校の教育目標が学年・学級を通じて児童の望ましい人間形成のために十分具現化されているか、学校経営全体の立場からこれを検討し、その改善をはかる。
- 2) 「学校評価基準」「学校経営の手引き」などを活用して、いっそう学校経営における創意とくふうに努める。
- 3) 正常な学校運営に基づいて学年及び学級経営の充実をはかるとともに、学級担任教師は、その専門性と指導性の向上に努める。
- 4) 学級担任教師は、児童ひとりひとりの個性と能力について正しく理解するとともに、心身に障害のある児童の教育にいっそう理解を深め、心の交流が十分行なわれるように配慮する。

### 2. 教育課程・学習指導

- 1) 教育課程の編成に当っては地域及び児童の実態に基づいて調和と統一がはかれるように努める。
- 2) 教育課程の実施に当たっては、教育の成果が児童のひとりひとりに正しく身につくよう万全を期する。
- 3) 学習指導に当たっては、目標の明確化、内容の精選、指導方法の刷新を期した授業の研究を進めるとともに、児童の学習態度が意欲的に育成されるようくふうし、また、その評価についてもあわせて研究する。
- 4) 学習環境を整備し、教材教具の活用について努めるとともに、効率の高い学習指導の方法について研究する。
- 5) 指導要領の研究とその実践化に努めるとともに、幼児教育及び中学校の教育課程との関連について考える。

### 3. 道徳教育・生活指導

- 1) 深く児童の心にふれあって、その徳性と社会性が正しく養われるように学校教育全体の中で計画的に適切な指導をする。
- 2) 生活指導の成果が児童ひとりひとりに正しく身につくようにその組織及び方法について十分研究をする。
- 3) 生活指導と教科及び道徳の指導との連けいを深めるとともに、教育相談の方法の推進をはかり、あわせて学校教育相談の望ましいあり方について留意する。
- 4) 児童を通じて学校と家庭との連けいに配慮し、学校教育における正しい人間形成のあり方について家庭の理解を深める。

5) 学校の全教育活動の中で、教師が児童と一体となって道徳教育を進める。

#### 4. 健康・安全教育

- 1) 児童の体力の向上に努めるとともに、心身の調和のある発達を期する。
- 2) 児童の生命尊重に万全を期し、強力な且効果的な安全指導を行なう。
- 3) 地域の実態に即し、交通安全教育の徹底をはかる。
- 4) 児童が健康で安全な生活が送れるよう保健及び安全教育の実践に努力する。

#### 5. 情操教育・科学教育

- 1) つねに学校教育の全般を通じて、人間性に即した豊かな心情がつかわれるよう十分配慮する。
- 2) 読書指導の推進と教育機器の活用に努める。
- 3) 科学的なものの見方、考え方を伸ばす教育の推進をはかる。
- 4) 科学教育を進展させる設備、器具の充実と、その効果的な利用について努める。

### ☆ 中学校教育の方針

#### 1. 学校経営・学級経営

- 1) 「学校評価基準」「学校経営の手引き」等の活用により、学校経営に創意くふうをし、望ましい学校教育を推進する。
- 2) 学力を充実し、情操を培い、体力を養う等、生徒の望ましい人間形成をめざして、全教職員が一体となって指導に当たるように努める。
- 3) 学級担任教諭は、生徒個々をはあく理解し、心の交流が図れるよう配慮するとともに、教科担任教諭との連絡を密にし、学級経営の充実を図る。
- 4) 学年の中における学級担任相互の連絡を密にし、学年経営をくふうする。さらに学年相互の連絡がとれるよう努める。
- 5) 心身障害学級を設置する学校においては、心身障害学級と普通学級との交流を図り、協力的な指導体制を整えるように努める。

#### 2. 教育課程・学習指導

- 1) 教育課程の編成に当たっては、地域及び生徒の実態に基づいて調和と統一がはかれるよう努める。
- 2) 各教科・領域の指導に当たっては、指導のねらいを明確にし、指導内容の精選をはかり、指導方法の改善を期した授業の研究に努める。
- 3) 学習評価の研究をすすめる、能力、適性を生かすよう努める。

- 4) 教材・教具の効果的な活用に努める。教育機器の利用についてもくふうし、学習指導の充実を図る。
  - 5) 指導要領の研究とその実践化に努めるとともに小学校の教育課程との関連について考える。
3. 道徳教育・生活指導
- 1) 学校の全教育活動の中で道徳教育を進める。
  - 2) 各教科、道徳、特別活動の中において生活指導の徹底をはかり、常に生徒と教師との心のふれあいに努める。
4. 健康・安全教育
- 1) 体育の時間はもちろん、クラブ活動、その他の教育活動を通して体力の増強をはかり、さらに保健指導の充実と相まって健康な生活ができるよう努める。
  - 2) 安全確保は学校で常に留意しなければならない。学習指導中における安全指導、校外における安全指導にも力を入れるようにする。
5. 情操教育・科学教育
- 1) 人間性豊かな心情を養い、科学的態度を身につけるよう環境づくりに配慮する。
6. 進路指導
- 1) 個々の生徒の能力、適性をよくはあくし、それに応じられるよう努める。

#### ☆ 幼稚園教育の方針

1. 学級経営について創意くふうし、個々の幼児の理解に努める。
2. 教育課程の編成に当たっては、地域・幼児の実態に基づき改善を図る。
3. 指導のねらいを明確にし、指導内容を検討し、指導法のくふうに努める。
4. 健康・安全の生活習慣を身につけるよう努める。とくに交通安全について留意する。
5. 心身に障害を持つ幼児等特別な配慮を要する幼児については、特に深い理解を持ち、ひとりひとりの幼児を生かすための適切な園経営を推進する。
6. 家庭との連絡を密にし、幼児の望ましい成長を図る。
7. 環境改善についてくふうし、豊かに情操を培うとともに、正しい科学的態度が身につくよう配慮する。
8. 小学校との関連を配慮する。

## ☆ 心身障害教育の方針

1. 心身に障害を持つ幼児、児童、生徒の教育について、全教職員の共通理解をいっそう深め、ひとりひとりを生かす教育の徹底を期する。
2. 心身障害学級設置校にあっては、全校児童・生徒に、心身に障害を持つ児童・生徒について正しい認識を持たせ、相互に協力し合える交流の場を積極的に設けることにつとめる。
3. 心身障害の重度化・多様化・重複化に応じた指導内容を精選し、児童・生徒の持つ可能性をいっそう開発、伸長することにつとめる。
4. 指導効果をいっそう高めるために、学校環境の整備並びに施設・設備資料等の工夫活用につとめる。
5. 学校と家庭、教育相談機関、医療及び福祉機関、施設等との連携をいっそう密にし、児童・生徒が障害を克服して、明るく強く生きがいを持つような教育を推進する。

## ☆ 市教委の学校訪問について

### 1. 趣 旨

学校訪問は市教委の教育長・庶務課長・学校教育課長・指導主事等が学校の教育活動の実態に直接触れることによって、学校の当面する教育指導上の実践的な諸問題をとらえて、その学校が持っている諸条件に基づいて、できるだけ実際的な解決をはかり、あわせて日野市の全般的な教育活動をはあくして、指導行政の参考とするため実施するものである。昭和49年度は次の三方法にわけ、教育課程実施上の諸点について、教職員と協議懇談するところに重点をおく。

#### (1) 市教委訪問A

年間一度、教育長・庶務課長・学校教育課長・指導主事等が訪問し、学校経営全般にわたって実態をはあくし、指導助言する。

内容については、①校長の概況説明 ②授業参観 ③施設・設備の活用状況の参観 ④教職員との協議懇談等を含むが、その方法については学校の希望によってきめる。

#### (2) 市教委訪問B

年間一度、市教委訪問のない学期に指導主事が訪問し、学級経営・教科指導・道徳指導・生活指導その他について指導助言する。その方法については学校の希望によってきめる。

#### (3) 要請訪問

各学校の要請に基づき指導主事が訪問し、指導助言する。(各学校から要請が多くあることを期待する。)

2. 日 程

	校 名	A 訪 問 日	B 訪 問 日
小	日野第一小学校	2月24日(月)	11月22日(金)
"	日野第二小学校	11月25日(月)	5月17日(金)
"	日野第三小学校	6月5日(水)	11月27日(水)
"	日野第四小学校	2月17日(月)	6月25日(火)
"	日野第五小学校	5月31日(金)	1月20日(月)
"	日野第六小学校	2月27日(木)	11月20日(水)
"	潤徳小学校	6月24日(月)	11月28日(木)
"	平山小学校	6月17日(月)	10月14日(月)
"	日野第七小学校	1月31日(金)	10月30日(水)
"	日野第八小学校	11月13日(水)	6月19日(水)
"	百草台小学校	2月7日(金)	12月4日(水)
"	滝合小学校	7月3日(水)	11月19日(火)
"	高幡台小学校	6月3日(月)	11月1日(金)
"	南平小学校	12月6日(金)	2月19日(水)
中	日野第一中学校	12月2日(月)	1月27日(月)
"	日野第二中学校	11月11日(月)	1月24日(金)
"	七生中学校	5月20日(月)	9月30日(月)
"	日野第三中学校	11月5日(火)	6月12日(水)
"	日野第四中学校	10月21日(月)	2月14日(金)
幼	第一幼稚園	5月15日(水)	9月11日(水)
"	第二幼稚園	4月24日(水)	10月4日(金)
"	第三幼稚園	9月18日(水)	1月22日(水)
"	第四幼稚園	9月27日(金)	7月16日(火)
"	第五幼稚園	9月25日(水)	2月5日(水)

## ☆ 研修計画について

(日野市主催研修会)

(1) 学校経営研修会(6回)

校長・教頭・教務主任・一般教諭等を対象とし、幹部職員の資質の向上をはかる。

(2) 新任教諭研修会(11回)

新規採用教諭(経験1年未満を対象)に対し教職観、学習指導法、教材研究等の研修を行い教職員としての使命観を培い、指導力と資質の向上をはかる。

(3) 実技研修会(9回)

小学校低・中学年担任教諭の毛筆書写・社会科・理科(3)・音楽・図工・体育(2)についての実技について研修し、指導力の充実をはかる。

(4) 幼児教育研修会(2回)

幼児教育の重要性にかんがみ、幼児指導の理論及び方法を研修する。

(5) 道徳教育研修会(3回)

道徳指導の普及徹底をはかるため研修会を開く。

(6) 生活指導研修会(3回)

児童・生徒理解の理論及び方法を知り、実態をはあくし、指導力を高める。

(7) 教育相談研修会(11回)

教育相談員、教育相談研修員、教育相談に関心のある教諭を対象に原則として毎月第二火曜に教育相談の方法、教育相談の方法、教育相談事例の扱い方について研修を行ない、教育相談についての正しい理解を深める。

(8) 教育工学研修会(2回)

教育の現代化をはかるため、授業のシステム化・教材プログラム、フローチャートなどについて研修する。

(9) 教育機器研修会(2回)

教育の現代化をはかるため教育機器(特にOHP、VTRなど)の活用について研修する。

(10) 学校図書館研修会(1回)

学校図書館の役割を明らかにし、情報処理能力の育成をはかる。

(11) 心身障害教育研修会

心身に障害をもっている幼児・児童・生徒を担当した場合の基本的事項についての理解を深める。

(12) 同和教育研修会(1回)

人権尊重の精神を養い、同和教育に対する認識を高める。

☆ 研修活動の方針

1. 教師の自主的研修の推進の方向に努める。
2. 各学校において積極的に校内研修がすすめられるよう促すとともに研修内容の充実をはかる。
3. 東京都教育庁指導部・体育部，多摩教育事務所，東京都立教育研究所との連携をはかる。

☆ その他の事業について

1. 教務主任会（月例）
2. 生活指導連絡協議会（月例）
3. 音楽鑑賞教室（午前－小学校，午後－中学校）
4. 小学校科学教育センター（六小）（高幡台小）
5. 教育相談（教育相談室報発行も含む）
6. まどべ編集委員会（まどべ 年3回発行）
7. 障害児教育推進協議会
8. 教育方法研究委員会 — 研究・実践（委託）
9. 小学校教育課程指導計画の手引き — 作成 —（委託）
10. 中学校教科用図書調査・研究委員会（10教科）
11. 研究委託
  - ① 授業研究（14）
  - ② 個人研究（1人 7,000円×50人）

# 指導関係年間行事計画

( 4 月 )

( □ …… 全日  
 △ …… 午前  
 ○ …… 午後 )

日	曜	市	都
1	月		
2	火		
3	水	△新任教諭研修会 1 ○ " (市内巡検)	
4	木		
5	金		
6	土		
7	Ⓟ		
8	月		
9	火		
10	水		
11	木		△都市指導主事会(分室)
12	金		
13	土		
14	Ⓟ		
15	月	△都研研修会説明会	
16	火		
17	水		
18	木	○教務主任会 1	
19	金	○障害児教育推進協 1	
20	土		
21	Ⓟ		
22	月	○生活指導連絡協議会 1	
23	火	○学校経営研修会(一般)	△生活指導担当指導主事連絡会
24	水	□市教委訪問(A)(二幼)	
25	木	○教育相談研修会 1	△指導主事連絡協議会 1 ○生活指導担当指導主事世話人会
26	金		○教育研究員総会
27	土	○教育相談ケース会議	△都市指導主事会(分室)
28	Ⓟ		
29	月	天皇誕生日	
30	火	○体育実技研修会	
備考			

( 5 月 )

日	曜	市	都
1	水		
2	木	○小指導計画手引改訂委総会(算・理・図・家)	○幼・教育内容現代化委員総会
3	金	憲法記念日	
4	土		
5	日	子どもの日	
6	月	休日	
7	火	○教育相談研修会 2	○小・中教育内容現代化委員総会
8	水		□生活指導担当指導主事研究会議
9	木	○毛筆書写研修会	
10	金	○学校経営研修会(一般)	
11	土		△都市指導主事会(分室)
12	日		
13	月	○生活指導連絡協議会 2	
14	火		△心障担当指導主事連絡会 1
15	水	□市教委訪問(A)(一幼)	
16	木	○新任教諭研修会 2	
17	金	□市教委訪問(B)(二小)	
18	土		
19	日		
20	月	□市教委訪問(A)(七生中)	
21	火	○同和教育研修会	
22	水		△学校訪問協議会(全部) 1
23	木	○教務主任会 2	
24	金		□道徳教育助言者研究協議会
25	土	○教育相談ケース会議 2	△都市指導主事会(青梅)
26	日		
27	月	□修学旅行(二中)(四中)	
28	火	○音楽実技研修会	
29	水	○幼稚園教諭研修会	
30	木		○同和教育指導推進委員会 1
31	金	□市教委訪問(A)(五小)	○多摩生活指導・世話人協議会 1
備考			

( 6 月 )

日	曜	市	都
1	土	○小・科学教育センター開講式(六小)(高幡台小)	
2	日		
3	月	□市教委訪問(A) (高幡台小)	
4	火	□修学旅行(三中) ○教育相談研修会 3	
5	水	□市教委訪問(A) (三小)	
6	木	↓	△幼・担当指導主事連絡会 1 ○道德教育助言者研究協議会 2
7	金	○事務職員研修会	
8	土		
9	日		
10	月	○生活指導連絡協議会 3 ○音楽鑑賞教室打ち合わせ会	
11	火	○学校経営研修会(一般)	○生活指導主任世話人協議会(中・高・障) 1
12	水	□市教委訪問(B) (三中)	
13	木	□教務主任宿泊研(静岡市)	△都市指導主事会(分室)
14	金	↓	
15	土		
16	日		
17	月	□市教委訪問(A) (平山小)	
18	火	□移動教室(一中) ○新任教諭研修会 3	□道德教育助言者研究協議会 3
19	水	□市教委訪問(B) (八小)	
20	木	↓	△指導主事連絡協議会 2 ○多摩指導主事連絡協議会 1
21	金	○道德教育研修会 ○理科実技研修会	
22	土	○教育相談ケース会議 3	
23	日		
24	月	□市教委訪問(A) (潤徳小)	
25	火	□市教委訪問(B) (四小)	
26	水	□日光移動教室(1班) (一小・六小・八小・百草台小・滝合小)	
27	木	↓	△生活指導担当指導主事連絡会 2 ○多摩生活指導研究協議会 1
28	金	□日光移動教室(2班) (二小・三小・五小・潤徳小)	
29	土	↓	△都市指導主事会(町田)
30	日	□日光移動教室(3班) (四小・平山小・七小・高幡台小・南平小)	
備考			

( 7 月 )

日 曜	市	都
1 月	↓	
2 火	●○教育相談研修会 4	○中高生活指導主任連絡協議会
3 水	□市教委訪問(A) (滝合小)	□
4 木		□区市指導主事宿泊研究会議
5 金		↓
6 土		
7 日		
8 月	○生活指導連絡協議会 4	
9 火	○新任教諭研修会 4	
10 水		△指導主事連絡協議会 3 ○心障担当指導主事連絡会 2
11 木	○教務主任会 3	△都市指導主事会(分室)
12 金	○音楽鑑賞教育打ち合わせ会	
13 土	○教育相談ケース会議 4	
14 日		
15 月	○障害児教育推進協 2	
16 火	□市教委訪問(B) (四幼)	
17 水		△同和教育指導推進委員会 2
18 木		
19 金		
20 土		
21 日		
22 月		
23 火	●□新任教諭宿泊研修会(御岳山・靱矢)	
24 水	↓	
25 木	↓	
26 金	↓	
27 土		
28 日	□小・科学教育センター宿泊研 (山梨県・須玉町)	
29 月	↓	
30 火		
31 水		
備 考		

( 8 月 )

日	曜	市	都
1	木		
2	金		
3	土		
4	Ⓟ		
5	月		
6	火	□教育相談宿泊研 (五日市町・光明山荘)	
7	水	↓	
8	木		
9	金		
10	土	○学校経営研修会(一般)	
11	Ⓟ		
12	月		
13	火		
14	水		
15	木		
16	金		
17	土		
18	Ⓟ		
19	月	□事務主事宿泊研 (長野県・白樺高原 ホテル・ニュレイク)	
20	火	↓	
21	水		
22	木		
23	金		□教育研究員御岳集会 (中)
24	土		↓
25	Ⓟ		(幼・小)
26	月		↓
27	火		↓
28	水		
29	木		
30	金		
31	土		
備考			

( 9 月 )

日	曜	市	都
1	㊥		
2	月		
3	火		
4	水		
5	木	<input type="checkbox"/> 水泳記録会	△生活指導担当指導主事連絡会 3
6	金		
7	土		
8	㊥		
9	月	○生活指導連絡協議会 5	
10	火	○教育相談研修会 5	△心障担当指導主事連絡会 3
11	水	<input type="checkbox"/> 市教委訪問(B) (一幼)	
12	木	○音楽鑑賞教室打ち合わせ会	△都市指導主事会(分室) ○多摩生活指導研究協議会 2
13	金	○新任教諭研修会 5	
14	土		
15	㊥	敬 老 の 日	
16	月	休 日	
17	火	○凶工実技研修会	
18	水	<input type="checkbox"/> 市教委訪問(A) (三幼)	
19	木	○教務主任会 4	△幼・担当指導主事連絡会 2
20	金	<input type="checkbox"/> 音楽鑑賞教室	
21	土		
22	㊥		
23	月	秋 分 の 日	
24	火	○学校図書館研修会	
25	水	<input type="checkbox"/> 市教委訪問(A) (五幼)	
26	木		△指導主事連絡協議会 4 ○多摩指導主事連絡協議会 2
27	金	<input type="checkbox"/> 市教委訪問(A) (四幼)	
28	土	○教育相談ケース会議 5	△都市指導主事会 (小平)
29	㊥		
30	月	<input type="checkbox"/> 市教委訪問(B) (七生中)	
備	考		

( 1 0 月 )

日	曜	市	都
1	火	都 民 の 日	
2	水		
3	木	○新任教諭研修会 6	
4	金	□市教委訪問(B) (二幼)	
5	土		
6	Ⓜ		
7	月	○生活指導連絡協議会 6	
8	火	○教育工学研修会 ○教育相談研修会 6	
9	水		
10	Ⓟ	体 育 の 日	
11	金		
12	土		△都市指導主事会(分室)
13	Ⓜ		
14	月	□市教委訪問(B) (平山小)	
15	火	○障害児教育研修会	△生活指導担当指導主事連絡会 4 ○生活指導主任世話人協議会(中・高・障) 2
16	水	□修学旅行(一中)(七生中)	
17	木	○教務主任会 5	
18	金	○理科実技研修会	
19	土		
20	Ⓜ		
21	月	□市教委訪問(A) (四中)	
22	火	□交通安全教育研究発表会(二幼・平山小)	
23	水		
24	木	□生活指導宿泊研	△同和教育指導推進委員会 3
25	金	○道徳教育研修会	
26	土	○教育相談ケース会議 6	△都市指導主事会(保谷)
27	Ⓜ		
28	月	○事務職員研修会	
29	火	○教育機器研修会	
30	水	□市教委訪問(B) (七小)	
31	木	○学校経営研修会	
備	考		

( 1 1 月 )

日	曜	市	都
1	金	<input type="checkbox"/> 市教委訪問(B) (高幡台小)	
2	土		
3	日	文 化 の 日	
4	月	休 日	
5	火	<input type="checkbox"/> 市教委訪問(A) (三中)	
6	水	○幼稚園教諭研修会	
7	木	<input type="checkbox"/> 管外研修	△生活指導担当指導主事世話人会
8	金	↓	
9	土	↓	
10	日		
11	月	<input type="checkbox"/> 市教委訪問(A) (二中)	
12	火	○教育相談研修会 7	△心障担当指導主事連絡会 ○中・高生活指導主任連絡協議会 2
13	水	<input type="checkbox"/> 市教委訪問(A) (八小)	
14	木		△都市指導主事会(分室)
15	金	○新任教諭研修会 7	
16	土		
17	日		
18	月	○生活指導連絡協議会 7	
19	火	<input type="checkbox"/> 市教委訪問(B) (滝合小)	
20	水	<input type="checkbox"/> 市教委訪問(B) (六小)	
21	木	○教務主任会 6	
22	金	<input type="checkbox"/> 市教委訪問(B) (一小)	
23	土	勤 労 感 謝 の 日	
24	日		
25	月	<input type="checkbox"/> 市教委訪問(A) (二小)	
26	火	○就学時検診打ち合わせ会	
27	水	<input type="checkbox"/> 市教委訪問(B) (三小)	
28	木	<input type="checkbox"/> 市教委訪問(B) (潤徳小)	
29	金	○毛筆書写研修会	
30	土	○教育相談ケース会議 7	△都市指導主事会
備 考			

( 1 2 月 )

日	曜	市	都
1	㊥		
2	月	<input type="checkbox"/> 市教委訪問(A) (一中)	
3	火	○体育実技研修会	
4	水	<input type="checkbox"/> 市教委訪問(B) (百草台小)	
5	木	○障害児教育推進協 3	△生活指導担当指導主事連絡会 5
6	金	<input type="checkbox"/> 市教委訪問(A) (南平小)	
7	土		
8	㊥		
9	月	○生活指導連絡協議会 8	
10	火	○教育相談研修会 8	△同和教育指導推進委員会 4
11	水		
12	木		△都市指導主事会(分室)
13	金	○新任教諭研修会 8	
14	土		
15	㊥		
16	月		
17	火		○多摩生活指導・世話人協議会 2
18	水		△学校訪問協議会 2 (多摩)
19	木	○教務主任会 7	
20	金		
21	土	○教育相談ケース会議 8	△都市指導主事会(八王子)
22	㊥		
23	月		
24	火		
25	水		
26	木		
27	金		
28	土		
29	㊥		
30	月		
31	火		
備考			

( 1 月 )

日	曜	市	都
1	㊦	元 日	
2	木		
3	金		
4	土		
5	㊦		
6	月		
7	火		
8	水		
9	木		△都市指導主事会(分室)
10	金	○障害児教育推進協 4	
11	土		
12	㊦		
13	月	○生活指導連絡協議会 9	
14	火	○新任教諭研修会 9	
15	㊦	成 人 の 日	
16	木		
17	金		△指導主事連絡協議会 6 ○多摩指導主事連絡協議会 3
18	土		
19	㊦		
20	月	□市教委訪問(B) (五小)	
21	火	○理科実技研修会 ○教育相談研修会 9	△心障担当指導主事連絡会
22	水	□市教委訪問(B) (三幼)	
23	木	○教務主任会 8	
24	金	□市教委訪問(B) (二中)	
25	土	○教育相談ケース会議 9 ○小・科学教育センター開講式	△都市指導主事会(国分寺)
26	㊦		
27	月	□市教委訪問(B) (一中)	
28	火		△生活指導担当指導主事連絡会 6
29	水		
30	木		○多摩生活指導研究協議会 3
31	金	□市教委訪問(A) (七小)	
備 考			

( 2 月 )

日	曜	市	都
1	土		
2	日		
3	月	○生活指導連絡協議会 10	
4	火	○教育相談研修会 10	
5	水	□市教委訪問(B) (五幼)	
6	木		△同和教育指導推進委員会 5 ○道徳教育助言者研究協議会 4
7	金	□市教委訪問(A) (百草台小)	
8	土		
9	日	□就学時教育相談	
10	月	○新任教諭研修会 10	
11	火	建 国 記 念 の 日	
12	水		△学校訪問協議会 3 (全部) △都市指導主事会(分室)
13	木	○道徳教育研修会	
14	金	□市教委訪問(B) (四中)	
15	土		
16	日		
17	月	□市教委訪問(A) (四小)	
18	火	○学校経営研修会	
19	水	□市教委訪問(B) (南平小)	
20	木	○教務主任会 9 ○就学児進路会議	△指導主事連絡協議会 7
21	金	○教育工学研修会	
22	土	○教育相談ケース会議 10	△都市指導主事会(東村山)
23	日		
24	月	□市教委訪問(A) (一小)	
25	火		△幼・担当指導主事連絡会 3
26	水		
27	木	□市教委訪問(A) (六小)	
28	金		
備	考		

( 3 月 )

日	曜	市	都
1	土		
2	日		
3	月	○生活指導連絡協議会 11	
4	火		
5	水		
6	木		△生活指導担当指導主事連絡会 7
7	金	○新任教諭研修会 11	
8	土		
9	日		
10	月		
11	火	○教育相談発表会	
12	水		
13	木	○教務主任会 10	△都市指導主事会(分室)
14	金	○障害児教育推進協 5	
15	土		
16	日		
17	月		
18	火		△指導主事連絡協議会 8
19	水		
20	木	△中・卒業式	
21	金	春 分 の 日	
22	土		△都市指導主事会(府中)
23	日		
24	月		
25	火	△小・卒業式	
26	水		△同和教育指導推進委員会 6
27	木		
28	金		
29	土		
30	日		
31	月		
備 考			

# 指導主事分担一覽

指導主事 五十嵐 邦 享

指導主事 蓮 池 守 一

## 1. 校種別分担

小学校教育	蓮 池	中学校教育	五十嵐
幼稚園教育	蓮 池		

## 2. 教科・領域別分担

国語(含書写)	蓮 池	教育相談	蓮 池
社 会	蓮 池	心身障害教育	蓮 池
算数・数学	五十嵐	視聴覚教育	五十嵐
理 科	五十嵐	放送教育	五十嵐
音 楽	蓮 池	図書館教育	蓮 池
図工・美術	蓮 池	学校給食	五十嵐
体育・保健体育	五十嵐	保健教育	五十嵐
家庭・技術家庭	蓮 池	安全教育	五十嵐
外国語(英)	五十嵐	同和教育	五十嵐
道 徳	蓮 池	公害教育	五十嵐
生活指導	五十嵐	進路指導	五十嵐
特別活動	五十嵐	幼児教育	蓮 池
学校行事等	蓮 池	学校事務	蓮 池
学級経営	蓮 池		

## 3. 施設・行事等分担

・教育相談室	蓮 池	文化行事	蓮 池
・心身障害学級	蓮 池	体育行事	五十嵐
・訪問学級	蓮 池	修学旅行	五十嵐
・科学教育センター	五十嵐	移動教室	五十嵐
・教科書センター	蓮 池		

#### 4. 指導事務分担

指導部・都研研修	五十嵐	文化行事	蓮池
研究員・研究生	五十嵐	指導要領	五十嵐・蓮池
教育課程届出承認	五十嵐	「日野の教育」まどべ	蓮池・五十嵐
現代化研究	五十嵐	月行事予定	蓮池
研究集録	蓮池	教育実習	五十嵐
学校訪問	五十嵐	授業研究校	五十嵐
教材届出承認	蓮池	委託研究	五十嵐
遠足・修学旅行承認	五十嵐	都研究奨励費	五十嵐
調査・資料収集	五十嵐		

#### 5. 渉外分担

校長会	五十嵐・蓮池	日野市教研	五十嵐・蓮池
教頭会	五十嵐・蓮池	都市指導主事会	五十嵐・蓮池
教務主任会	五十嵐・蓮池	第2ブロック連絡会	五十嵐
生活指導連絡協議会	五十嵐		
教育方法研究委員会	五十嵐・蓮池		

#### 6. 研修分担

学校経営研修会	五十嵐・蓮池	学校図書館研修会	蓮池
新任教諭研修会	五十嵐	教育機器研修会	五十嵐
理科実技研修会	五十嵐	教育工学研修会	五十嵐
音楽実技研修会	蓮池	同和教育研修会	五十嵐
図工実技研修会	蓮池	養護教諭研修会	五十嵐
体育実技研修会	五十嵐	心身障害教育研修会	蓮池
小3社会科実技研修会	蓮池	事務職員研修会	蓮池
道徳教育研修会	蓮池	幼稚園教諭研修会	蓮池
生活指導研修会	五十嵐		

## 日野市教育相談室

### ☆ 設置の趣旨

日野市内における幼児・児童・生徒（高校生も含む）を対象に，学校および家庭において主として学習意欲，能力，生活態度につき，保護者又は担任教諭が教育上望ましくない事を見出した場合，相談に応ずることを設置の趣旨としている。

### ☆ 構成

相談室長 松本 武（日野市教育委員会学校教育課長）

#### 教育相談員

石原 八重子（日野二小教諭）	小笠原 本江（滝合小教諭）
山内 春美（日野三小教諭）	永谷 豊（日野二中教諭）
落合 茂子（日野三小教諭）	鈴木 良身（日野四中教諭）
井尻 武子（日野五小教諭）	上野 美津枝（二幼教諭）
広沢 フサ子（日野六小教諭）	小柳津 芳子（日野市教育委員会）
古谷 孝太（潤徳小教諭）	

#### 教育相談研修員

三平 恵子（日野一小教諭）	佐久間 久美子（高幡台小教諭）
久吉 真理子（日野一小教諭）	本間 幸子（高幡台小教諭）
倉林 紀子（日野二小教諭）	渋谷 範子（高幡台小教諭）
銀鏡 明子（日野三小教諭）	清水 征子（南平小教諭）
橋本 美千代（日野三小教諭）	立川 泰治（日野一中教諭）
古谷 二三子（日野四小教諭）	辻 和代（日野四中教諭）
藤森 三治（日野五小教諭）	佐藤 栄（七生中教諭）
中川 元美（日野八小教諭）	釣 晃敏（七生中教諭）
川原田 和子（潤徳小教諭）	市川 やす子（一幼救諭）
三浦 みのり（潤徳小教諭）	小川 陽子（二幼教諭）
高橋 茂子（潤徳小教諭）	古谷 みち子（三幼教諭）
茅野 とめ子（潤徳小教諭）	沖山 英代（四幼教諭）
小村 満紀子（潤徳小教諭）	鵜沼 万里子（五幼教諭）
野村 るり子（滝合小教諭）	

担当指導主事 蓮池守一

顧問 佐藤正（東京学芸大学教授）

石島徳太郎（都立心身障害者福祉センター 幼児科長）

### ☆ 運 営

保護者の直接又は、保護者及び担任教諭による各校（幼・小・中）の学校教育相談係を通じての申込みにより毎週火、木（8月を除く）の2回、教育相談員が2名1組となって相談に応じている。（午後1時30分より4時まで）申込みは無料で受付けている。

○ 場 所 A 教育委員会内教育相談室（遊戯室あり）

B 中央公民館内小会議室

C 日野市立第三幼稚園

○ 申込み先 日野市教育委員会学校教育課内日野市教育相談室

（TEL 81-3511 内線48）

教育相談事務担当 岩波淑子（月～土）

小柳津芳子（火・木）

○ 教育相談概況（昭48.4.1～49.3.31）

申込み件数	87
面接延回数	474

主訴別件数	幼 児	児 童	生 徒	計
登園・登校拒否	0	5	3	8
集団に入れない等	4	4	1	9
落ちつきがない	1	5	0	6
いたずら・らんぼう	0	3	0	3
ぬすみ・うそ	0	2	0	2
神 経 症	1	1	0	2
身体虚弱・肥満・偏食	0	1	0	1
言語障害	2	0	0	2
情緒障害	3	1	0	4
就学児精密検査	0	12	0	12
特殊学級入級等	0	7	2	9
就学・進学	5	6	2	13
学業不振・知恵おくれ	1	10	0	11
家庭環境問題	0	3	2	5
計	17	60	10	87

## ☆ 教育相談員の研修

教員相談員の資質と相談技術の向上のため、毎月第二火曜に相談事例研究、第三土曜に研修会（顧問の先生が指導）を開いている。研修会には、日野市公立学校教職員なら誰でも参加してさしつかえないことになっている。

## ☆ 特殊学級との関係

日野第三小学校、平山小学校、日野第一中学校に併設されている特殊学級へ、児童・生徒の入級希望があった場合、教育相談室においては、入級判別のための知能テストを行なうことになっている。この知能テストの結果は入級判別の資料として、日野市特殊学級入級選考委員会において扱い、判別会議を行なった上で入級を決めている。

## 日野市小学校科学教育センター

### 1. 名称・所在

日野市小学校科学教育センターと称し、昭和49年度は、北部センターを日野第六小学校に、南部センターを高幡台小学校の校内に設置する。

### 2. 設立の趣旨

日野市公立小学校における科学教育の振興をはかるために設置し、日野市の教員の理科指導の充実・向上のための研修と児童の科学的態度・能力・技術の向上に役立つ諸事業を行う。

### 3. センター長・センター次長・指導員

	北部センター（六小）	南部センター（高幡台小）
センター長	新海圭三（六小）	平松健太郎（高幡台小）
センター次長	小野寺東雄（六小）	渋谷義一（高幡台小）
指導員 1	古屋光男（一小）	森清晃（潤徳小）
＃ 2	倉石桂（二小）	秋間美恵子（潤徳小）
＃ 3	松日楽敬治（三小）	堀越邦昌（平山小）
＃ 4	佐藤民男（三小）	池田康雄（八小）
＃ 5	鹿島田恭江（四小）	永井一郎（百草台小）
＃ 6	福地保（五小）	千台健治（百草台小）
＃ 7	林克己（六小）	村越正（滝合小）
＃ 8	上田憲二（七小）	愛甲秀人（滝合小）
＃ 9		江口耕一（高幡台小）
＃ 10		川上卓一（高幡台小）
＃ 11		土方邦男（高幡台小）
＃ 12		佐久間久美子（高幡台小）
＃ 13		松澤千枝子（高幡台小）
＃ 14		宇土悦子（南平小）
＃ 15		和田国平（南平小）

#### 4. センター員

校名	北部センター								南部センター								合計
	一小	二小	三小	四小	五小	六小	七小	小計	潤徳小	平山小	八小	百草台小	滝合小	高幡台小	南平小	小計	
男	2	3	4	4	6	6	3	28	4	5	3	3	2	3	3	23	51
女	1	1	1	0	0	0	0	3	2	0	3	0	3	1	0	9	12
計	3	4	5	4	6	6	3	31	6	5	6	3	5	4	3	32	63

#### 5. 年間指導日程

回数	月 日	指導内容	指導員	
1	6. 1	開講式・オリエンテーション	全 員	
2 3	" " 8 15	細かく見る	堀越・佐久間・松沢	○古屋・倉石
4 5	6. 22 6. 29	分類する	永井・千台・川上	○林・古屋
6 7	7. 6 " 13	測定する	6日全員 森・秋間	○(指導員会) 鹿島田・松日楽
8 9	9. 7 " 14	グラフで表わす	和田・宇土	○福地・佐藤
10 11	10. 12 " 19	推測する	村越・愛甲	○松日楽・林
12 13	" 26 11. 2	標本を作る	江口・土方	○上田・福地
14 15	" 9 " 16	視測する	9日全員 渋谷・池田	○(指導員会) 佐藤・上田
16	1. 25	閉講式・研究発表・展示会	全 員	

#### 6. 連絡協議会

委員長 南部センター長 平松 健太郎 日野市立高幡台小学校長 TEL 91-7011  
 " 次長 渋谷 義一 " 教頭  
 " 主任 森 清晃 日野市立潤徳小学校教諭 TEL 91-0409  
 北部センター長 新海 圭三 日野市立日野第六小学校長 TEL 81-4686  
 " 次長 小野寺 東雄 " 教頭  
 " 主任 松日楽 敬治 日野市立日野第三小学校教諭 TEL 81-0101

顧問 日野市教育委員会学校教育課長 松本 武  
 指導主事 五十嵐 邦享

# 使用教科書

## 1. 小学校

国語科	「小学校国語」(学校図書) 「小学校書きかた」(学校図書)
社会科	「新訂 新しい社会」(東京書籍) 「小学校社会科地図帳」(帝国書院)
算数科	「改訂 標準算数」(教育出版)
理科	「改訂 新しい理科」(東京書籍)
音楽科	「改訂 新版 小学校の音楽」(音楽之友社)
図画工作科	「図画工作」(開隆堂)
家庭科	「小学校家庭科」(開隆堂)

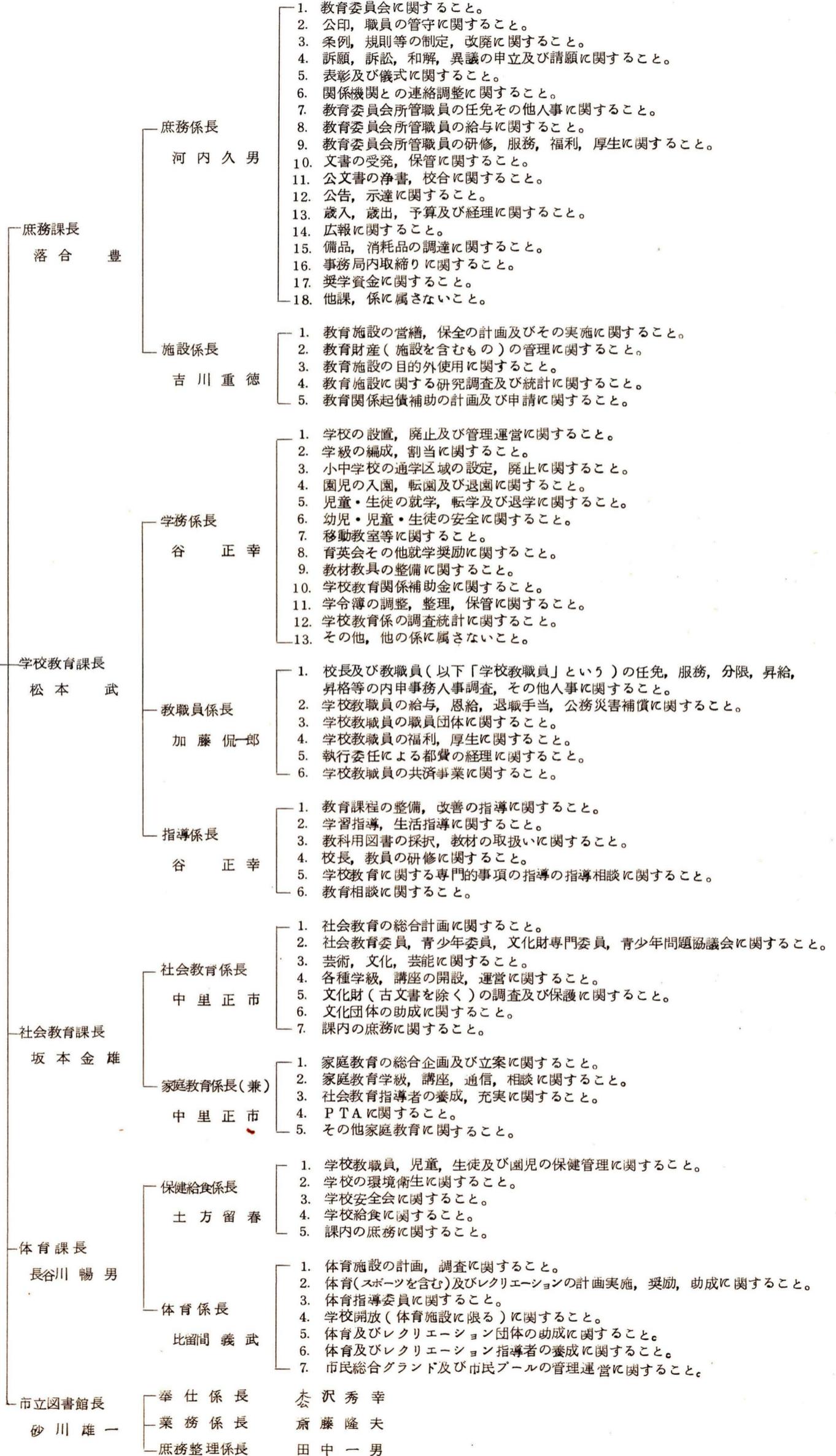
## 2. 中学校

国語科	「中学校現代の国語」(三省堂) 「新しい習字」(東京書籍)
社会科	「新しい社会・地理的分野」(東京書籍) 「中学社会 日本の歴史と世界」(清水書院) 「中学社会 公民的分野」(日本書籍) 「中学校社会科地図最新版」(帝国書院)
数学科	「中学校数学」(学校図書)
理科	「新しい科学」(東京書籍)
音楽科	「中学生の音楽」(教育芸術) 「新版標準中学生の器楽」(教育出版)
美術科	「美術」(日文)
保健体育科	「中学校保健体育」(学研)
技術家庭科	「技術・家庭 男子用」(開隆堂) 「技術・家庭 女子用」(開隆堂)
外国語科	「Everyday English」(中教)

# 日野市教育委員会事務局組織

教育委員会  
 委員長  
 森久保 敏 治  
 職務代理  
 池 尾 テル子  
 委 員  
 高 木 昂  
 委 員  
 山 下 羊 平  
 委 員  
 倉 又 秀 作

教育長  
 倉 又 秀 作



(指導主事の事務分担は本文中に示す)

小中学校教科・領域・研究主任一覧表

担当	日野一小	日野二小	日野三小	日野四小	日野五小	日野六小	潤徳小	平山小	日野七小	日野八小	百草台小	滝合小	高幡台小	南平小	日野一中	日野二中	七生中	日野三中	日野四中	
教 務	上山洋一郎	松井慶吾	松日樂敬治	高倉教行	中川金作	曾我哲夫	天野七郎	堀越邦昌	小橋五左男	飯田幸次	村松徹二	伊藤恵造	末継逸夫	進 真郎	天野義雄	森川 亮	石井幸男	遠藤 仁	高木宏文	
生 活 指 導	土田芳夫	峰岸サヨ	戸塚春男	上野森良	中村 大	西條淑子	小竹 章	関 恒夫	舞田章子	佐藤章吾	肥高重男	岩尾照夫	江口耕一	清水七郎	星 勝	稲川正義	山辺文男	北原景昭	西川利行	
研究または研修	村上澄江	赤石 亨	山内春美	高倉教行	福地 保	山添邦男	古谷孝太	和田文雄	田森備詮	柳沼敏男	三浦勝也	石井和子	末継逸子	和田国平	星 貞裕	橋本紘一	赤木清福	綿引正己	田中栄一	
国 語	畠中 巽	赤石 亨	高野ちひろ	窪田正子	大竹三郎	来間志信	三浦みどり	白川茂一	堀内美恵子	近藤正晴	阿部二三子	西田敦子	村越裕子	坂本友子	宇津木十四男	高橋雅子	佐藤良枝	東郷隆盛	北條義道	
社 会	越村清治	亀山恵之助	藤本憲康	色川和代	前川せつ	今野すみ子	河野千秋	安達美武	嶋貫 博	佐藤章吾	中川和子	山口武彦	岡 善実	坂井和子	大山裕子	秦 好一	荒井式子	志茂知之	六本木 茂	
算 数 ・ 数 学	斎木昭朗	石岡信行	川原田和子	仲二見洋子	藤崎健児	老沼義晴	天野七郎	会田尚子	栄 久子	飯田幸次	幸野嘉子	岩尾照夫	川上卓一	坂本富子	長谷川忠男	内田耕一郎	山川昭子	鈴木幸子	丸山尚夫	
理 科	古屋光男	倉石 桂	松日樂敬治	鹿島田恭江	福地 保	林 克己	森 清晃	堀越邦昌	上田憲二	柳沼敏男	永井一郎	村越 正	江口耕一	清水征子	萩原 晃	稲川正義	小松文木	長島寿平	設楽悦代	
音 楽	高橋晴彦	大場とみ	森 甫	村田那智子	浜野優子	坪井しづか	小森こう子	内山美知子	池田宏子	森川琉子	飯島睦子	岡田あつ子	河原田桂子	村上悦子	阿部 敬	村上敏雄	大宅 寛	河野裕香	西村美妙子	
図工・美術	酒井栄一	鶴田久美子	戸塚春男	渡辺芳郎	本荘正雄	長沢和子	小口清一	藤田富治郎	岩崎 正	小島シヅ	佐藤カズ子	鳥飼政喜	辻田六郎	加納博之	土屋智恵子	小林初子	中村剛紀	佐藤 恒	小畑 亮	
体育・保健体育	増田 実	河島 務	大上琢磨	杉本英之	佐々木守夫	草刈喜一	大石年志	和田文雄	成井朝雄	間瀬静夫	佐藤昭彦	溝口達男	須藤貞雄	逸見政一	阿藤貞夫	大石幸雄	鈴木達夫	北原景昭	辻 和代	
技術家庭(男)															山賀典雄	水谷 豊	三浦義次	菊地貞光	鈴木良身	
家庭・技術家庭(女)	奈良悦子	芳賀アサ子	天野正枝	日下部芳子	林 茂子	青柳礼子	石川成子	溝江恵美子	斎藤イク	長田裕子	田中鈴子	野崎 賛	中村笙子	塚本純子	筒井ハル	西村敦子	松本節子	佐藤寿枝	萩原典子	
外 国 語(英)															青木礼子	広瀬 昭	山田葉子	鍛冶真理	西川利行	
道 徳	村上澄江	石原八重子	本保陽子	上野森良	内藤まつ代	広沢フサ子	古谷孝太	川上昇一	田森備詮	平山 毅	村松徹二	清水輝夫	末継逸夫	和田国平	山浦 宏	内田耕一郎	赤木清福		黒沢谷五郎	
特 別 活 動	原田 昭	亀山恵之助	西川征矢	佐々木茂登	赤池正人	清水しづか	斎藤己吉		加藤美知子	間瀬静夫	根上節子	川井龍介	土方邦男	宮田光義	萩原 晃	西村敦子	山辺文男		富士 堯	
学 校 行 事	斎木昭朗	松井慶吾	松日樂敬治	仲二見洋子	赤池正人	長沢和子	森 清晃	堀越邦昌	小橋五左男	松崎千恵子	荻沢モト子	伊藤恵造	土方邦男	和田いさを	天野義雄	武藤光哉	石井幸男		高木宏文	
学 校 教 育 相 談	三平恵子	石原八重子	落合茂子	上野森良	前川せつ	広沢フサ子	川原田和子	岩井豊子	加藤美知子	長浜和子	田中鈴子	小笠原本江	渋谷範子	清水征子	立川泰司	永谷 豊	山辺文男		鈴木良身	
進 路 指 導															岡田文彦	渡辺 勉	石井幸男		丸山尚夫	
視聴覚または教育機器	酒井 実	島田美代子	浜野美広	色川和代	田中 博	清水しづか	河野千秋	吉川郁子	小室 恒	長田裕子	千台健治	愛甲秀人	河原田桂子	和田いさを	大山正昭	飯島利三	北田昇司	田中憲助		黒沢谷五郎
学 校 図 書 館	守屋ふみ	高島和子	井上 保	古谷二三子	河津正幸	今野すみ子	小川雪子	月成カズ子	田森備詮	三浦光子	信夫頼子	川上美穂子	中村 笙子	坂井和子	五十嵐公恵	橋本紘一	阿部晃一		田中栄一	
給 食	辻田静江	川崎照子	高野 浩	日下部芳子	関根敦子	草刈喜一	伊藤清子	長尾節子	斎藤イク	伊藤フサ子	荻沢モト子	石井和子	村越裕子	高橋昭子	青木礼子	広瀬 昭			堀江富男	
安 全 教 育	高木映子	田村利樹	戸塚春男	志賀定一	中村 大	清水しづか	小竹 章	会田尚子	岩崎 正	平山 毅	肥高重男	岩尾照夫	江口耕一	清水七郎	逸見 敏	秦 好一	山田葉子		伊藤 誠	
保 健	清雲よ志子	石原八重子	関口真理	能登久子	佐々木守夫	草刈喜一	斎藤己吉	信夫清彦	舞田章子	近藤正晴	佐々木輝子	渡辺かは	辻田六郎	金井信房	小谷澄江	柳井佐和子	大塚和子		長峯幸子	
養 護	小松妙子	倉林紀子	関口真理	能登久子	富樫容子	上山美智子	松井玉江	小林ふと子	佐藤麻砂子	伊佐弘江	佐々木輝子	田島佳子	細井聖子	土屋良子	小谷澄江	須藤節子	大塚和子	小屋松ゆみ	長峯幸子	
管 材	石井三士	伊藤 功	石川聖子	渡辺芳郎	川崎 浩	伊東淳司	小口精一	小島義之	成井朝雄	郷原 敦	浜田洋一		佐久間美子	加納博之	古塚淳夫	佐藤博助	飯 キミ		大野 馨	
事 務	上田博文	近内信輝	石川聖子	大淵隆夫	川崎 浩	伊東淳司	橋田 晨	小林義之	吉村達也	郷原 敦	浜田洋一	藤井悦子	石田義一	田辺正志	古塚淳夫	佐藤博助	飯 キミ	阿比留義明	大野 馨	



園名 日野市立第一幼稚園  
 所在地 日野市多摩平4-3  
 電話 0425-81-4124  
 順路 豊田駅より北へ約10分

園長氏名 江角正子

主任氏名 田中澄子

1. 沿革の概要

- 昭和40.4.1 日野市立第一幼稚園として設置さる。学級7, 定員280名 職員教諭8名, 用務員1名  
園敷地2700㎡, 園舎777㎡ プレハブ1棟
- 昭和40.4.10 開園 園児280名
- 5.25 創立記念日とす
- 5.30 園章制定
- 昭和41.3.19 第一回修了児 119名
- 昭和42.2.20 鳥小屋完成
- 昭和43.9.6 プール第一次計画完成 (中庭)
- 昭和43.2.20 ホール増築完成
- 昭和44.2.10 プール第二次計画完成 (プールサイド, シャワー)
- 昭和45.6.1 プレハブ園舎, ベランダ増設工事完成
- 昭和45.7.15 運動増拡張完成
- 昭和45.7.15 園塀ブロック金網塀に改装完成
- 昭和48.2.5 本館下水工事完成
- 昭和48.3.14 東京都交通安全教育実験学校研究発表会(第一年次)
- 昭和48.10.23 東京都交通安全教育実験学校研究発表会(第二年次)

2. 歴代園長

氏名 年月 ~ 年月  
 江角正子 昭和40.4.1 ~ 現在

3. 地域の環境

市の一大集団住宅地域である多摩平団地および周辺住宅の中心にある。近くには公園もあり、比較的閑静な環境にあったが、甲州街道と平行してそのバイパス的役割をなす道路に面しているため近年は交通量も多くなり危険になってきた。

4. 教育目標

- (1) 健康で元気に遊べることも
- (2) 情操豊かで創造力のあることも
- (3) 基本的な生活習慣を正しく身につけたことも

5. 本年度指導の重点

- (1) 日常生活や遊びをとおり安全に留意しながら元気に活動させ、心身ともに健康な幼児を育てる。
- (2) 豊かな心情を育て、ものをよく見、よく考え、くふうすることもにする

6. 児童数(生徒数), 幼児数

	4才	5才	計
学級数	2	5	7
男	33	90	123
女	40	101	141
計	73	191	264

7. 教職員

番号	氏名	年令	担任	本校就任年月日	研究教材	その他
1	江角正子	54	園長	昭和40.4.1	経営	
2	田中澄子	48	主任	昭和47.4.1	社会	教務, 庶務, 会計
3	平向邦江	31	一年保育	昭和40.4.1	健康	教材, 資料
4	市川やす子	26	二年年少	昭和46.9.1	言語	教育相談
5	田中洋子	25	一年保育	昭和47.4.1	音楽	施設, 備品
6	湯浦悦子	23	一年保育	昭和49.4.1	自然	"
7	倉林利衣	23	一年保育	昭和49.4.1	絵画製作	"
8	村木順子	22	二年年少	昭和48.4.1	言語	図書
9	会田美津子	22	一年保育	昭和48.4.1	絵画製作	保健

8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	図書コーナーの利用(1)
昭和42年度	図書コーナーを利用して(2)
昭和43年度	丈夫なからだ(体力づくり)
昭和44年度	「意欲的によく遊べる子」 (1) ひとりひとりの幼児の理解を中心に (2) 指導過程における指導の方法を中心に
昭和45年度	44年度研究「意欲的に遊べる子」について継続研究
昭和46年度	教育課程と指導計画の実践にもとづいた再編成
昭和47年度	母と子のための交通安全教育 ～教育機器を活用して～
昭和48年度	母と子のための交通安全教育 ～指導計画の作成～

9. 本校の特色

本年は、開園10周年を迎える園児の幸せを願い教師、父母が協力して内容充実の力を入れ努力している

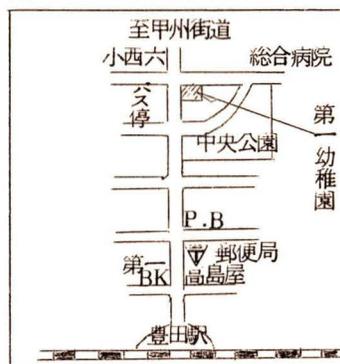
10. 都教育研究員、研究生出身歴

昭和44年度	研究員 坂口嘉津子
昭和49年度	研究員 平向邦江

11. 保護者の職業一覧

職業	家庭実数	%
1. 会社員	205	78
2. 公務員	14	5
3. 公団職員	7	3
4. 銀行員	6	2
5. 自営業	23	9
6. その他	9	3

11. 園に至るまでの地図





園名 日野市立第二幼稚園

所在地 日野市平山4-8-4

電話 0425-91-4125

順路 京王線平山城社公園下車徒歩10分

園長氏名 小野 晁

主任氏名 樋山 欣子

1. 沿革の概要

- 昭和40. 4. 1 日野市立第二幼稚園として平山小学校内に設置。  
園児 131名
- 昭和40. 5.10 開園記念日と定める。
- 昭和40. 5.30 園章制定
- 昭和41. 2.23 放送施設完成
- 昭和46. 3.10 日野市研究協力園として研究発表を行なう。
- 昭和46. 3.10 第二幼稚園の歌制定
- 昭和47. 3.15 雨天時の泥粘土コーナー完成
- 昭和47. 6.15 園舎園塀完成
- 昭和48.1.22 東京都交通安全教育推進学校研究発表会(第一年次)

2. 歴代園長氏名

- |       |         |   |        |
|-------|---------|---|--------|
| 氏名    | 年月      | ～ | 年月     |
| 後藤 正太 | 昭40. 4. | ～ | 昭42. 3 |
| 安積 利治 | 昭42. 4. | ～ | 昭47. 3 |
| 小野 晁  | 昭47. 4. | ～ | 現在     |

3. 地域の環境

市の南西部にあり、南に多摩丘陵がつらなり、自然に恵まれ景観のよい環境である。近年は宅地や住宅団地造成により住宅地と化し、都内に勤務する人の子弟が多くなっている。

4. 教育目標

- (1) つよいからだで元気な子ども
- (2) 明るくなかよく遊べる子ども
- (3) ゆたかな心をもつ子ども

5. 本年度指導の重点

- (1) 野外活動に重点をおき、特に体力づくり、情操面の育成に力を注ぐ。
- (2) 野外活動をとおり、特に一年保育児の遊びの発展経過を観察記録し、正しい集団生活に必要な自主性、協調性を養う。

6. 幼児数

学年	5才児
学級数	3
男児	55名
女児	36名
計	91名

7. 教職員

番号	氏名	年令	担任	本校 就任 年月日	研究 担任 教科
1	小野 晁	56	園長	47.4.1	経営
2	樋山 欣子	50	主任	47.4.1	経営
3	上野 美津子	35	つくし組	48.4.1	社会
4	小川 陽子	25	たんぽぽ	48.4.1	健康
5	那須 育子	25	すみれ	49.4.1	絵画

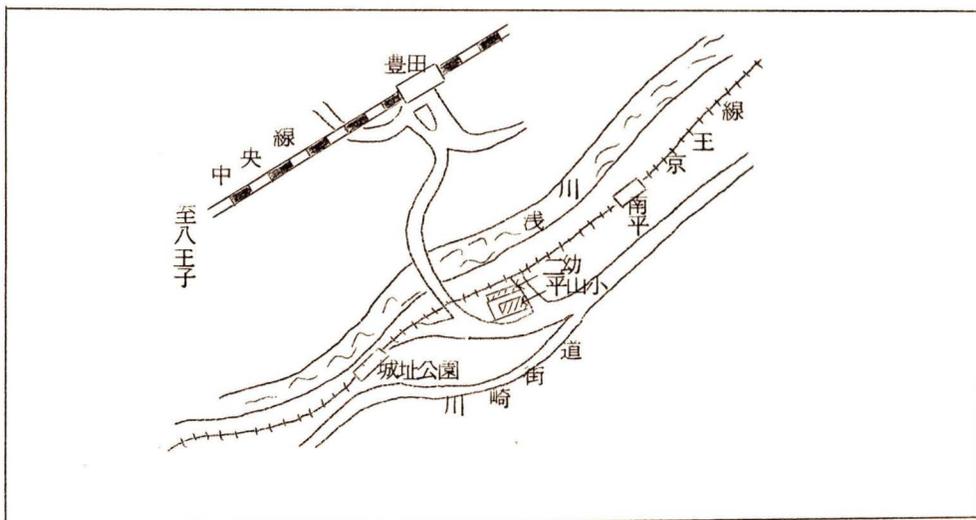
8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	遊びと施設
昭和42年度	子どもの健康状態・体力の向上について
昭和43年度	粘土あそび だろ粘土コーナーの利用
昭和44年度	遊具を使用した幼児の体育指導
昭和45年度	地域環境に即した野外指導の年間計画と実践
昭和46年度	45年度の研究継続
昭和47年度	自然を生かした野外指導(考える目を養う)
昭和48年度	地域の実態に即した交通安全教育, 安全対策の推進 ~正しい踏切の渡り方

9. 保護者職業一覧

- 専門的, 技術的職業 13
- 管理的職業 6
- 事務的職業 52
- 販売的職業 8
- 農業 1
- 運輸, 通信の職業 7
- その他 4

10. 園に至るまでの地図





園名 日野市立第三幼稚園  
所在地 日野市日野2800  
電話 0425-81-7127  
順路 国電 日野駅下車 徒歩7分  
バス 日野市役所前

園長氏名 下田 忍

主任氏名 鷺見 照子

### 1. 沿革の概要

- 昭和41.2.28 園舎完成  
昭和41.4.1 設置認可  
昭和41.4.1.1 開園  
(4学級 園児数143名)  
昭和42.2. 園舎東側ブロック塀工事  
昭和42.5. 裏門両袖ブロック塀工事  
完了  
昭和42.10 花壇完成  
昭和42.1.1. コークス小屋完成  
昭和42.1.1. 観察池完成  
昭和44.9. 砂場用足洗(手洗場)場  
完成  
昭和46. 市研究協力園

### 2. 歴代園長

氏名	年月	～	年月
吉田辰次	41.6	～	41.5
永野林弘	41.6.6	～	42.3
吉田辰次	42.3	～	44.3
下田忍	44.3	～	現在

### 3. 地域の環境

- ・田畑(果樹園), 丘, 林, 川など自然環境に恵まれ, 公園, 神社, 広場などもあり, こども達のおそび場所となっている。
- ・通園区域が広くバス通園児もある。
- ・小学校が隣接し, 広い校庭が使用できる。
- ・甲州街道(国道20号線), 高幡街道が

近いので交通事情も急激に変化してきている。

### 4. 教育目標

- (1) 意欲をもって活動できる子  
ア じょうぶで元気な子  
イ 自分を表現できる子  
ウ いろいろなことに興味や関心を持つ子

#### (2) 友だちと遊べる子

#### (3) 情操豊かな子

### 5. 本年度指導の重点

- (1) 教育課程の編成と改善についての重点  
ア 戸外の自然環境の中での遊びや, 集団での遊びを多くして, 友だち関係を深め, また物事に興味や関心を持つようにする。

イ 巾広い豊かな経験をさせながら, 思考力をのばす。そのために段階を追った活動内容を選択する。

#### (2) 環境構成

図書コーナーを身近な環境として活用できるように, 園児の使い易いように工夫する。

#### (3) 家庭との連絡

父母の実態をよく把握して, 参観日, 懇談会, 家庭連絡の通知文の内容を検討して, 関心を高めるようにする。

(4) その他

心障児受け入れについては、特に危険防止に重点をおき、設備等の不備の箇所は改善する。

6. 幼児数

	一年保育(5才児)	二年保育(4才児)
学級数	3	1
男	53	19
女	52	23
計	105	32

7. 教職員

番号	氏名	年令	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
1	下田 忍	54	園長	昭和44.4.1	経営	
2	鷺見 照子	49	主任	昭和41.4.1	自然	管理事務・庶務全般 教務事務
3	坂口 嘉津子	35	二年保育 (4才)	昭和49.4.1	言語	
4	石川 和子	30	一年保育 (5才)	"	心障児会	
5	中山 博子	26	"	昭和45.11.1	言語	
6	古谷 みち子	24	"	昭和47.5.1	言語	

8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	自然の領域における教材の選択
昭和42年度	幼、小の関連について
昭和43年度	幼、小の関連
昭和44年度	幼、小の関連「自然の領域についての実践的研究」
昭和45年度	自然の領域における評価の観点について
昭和46年度	科学的思考力の芽生えをつちかう指導法
昭和47年度	野外の自然環境

9. 本校の特色

園外保育を行なって、川や野山などで遊んだり、土を運んで花壇を作ったりして、園児が自然の環境に親しむ機会を多くしている。

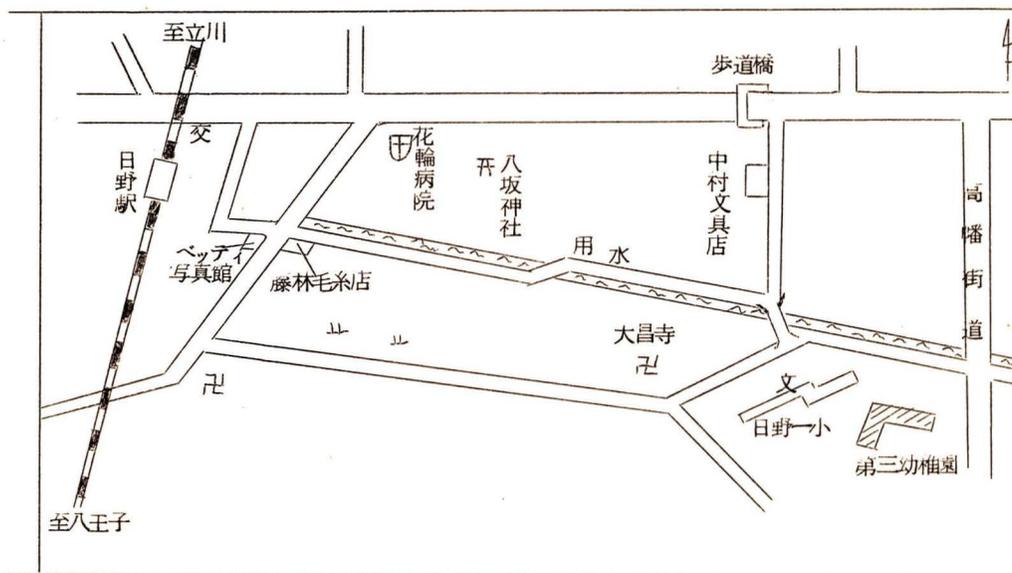
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科，領域	研究員，研究生別
昭和43年度	鷺見照子	社会	研究員
昭和45年度	坂口嘉津子	言語	研究員

11. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
1. 会社員	99	73	4. 公社員	3	2
2. 公務員	17	12	5. 団体職員	2	1
3. 自営業	15	11	6. その他	2	1

12. 学校に至るまでの地図





園名 日野市立第四幼稚園  
 所在地 日野市石田431-6  
 電話 0425-83-3903  
 順路 立川 ↔ 高幡不動 京王バス  
 日野四小下車 徒歩5分

園長氏名 内藤達夫 主任氏名 高橋千鶴子

1. 沿革の概要

昭和47.8.11 園舎新築工事起工  
 昭和48.13.1 園舎完成  
 昭和48.4.1 日野市立第四幼稚園として開園

学級数 3学級  
 園児数 74名  
 教諭 4名  
 用務員 1名  
 平屋園舎 495㎡  
 園敷地 2008㎡

昭和48.4.10 入園式挙行  
 昭和48.10.29 落成式挙行  
 昭和48.11.1 開園記念日と定める。  
 昭和48.11.7 園庭の植樹完了  
 昭和48.12.1 鉄骨製藤棚工事完了  
 昭和49.3.20 第1回修了証書授与式挙行, 修了者46名

2. 歴代園長

初代 内藤達夫 昭和48.4.1～現在

3. 地域の環境

本園は、日野橋から東へ約1Km, 多摩川の土手近くにあり、小学校に隣接している。農業中心のこの地域は、近年急激に宅地化が進み、園舎前には、中央高速道路が東西に走り、西側の都道も交通が

ひんぱんである。桑園や梨畑が続く小道には、緑が豊富にあり、四季を通じて野外活動の場になっている。園児たちの過半数は四小学区から通園しているが、その他は、バス又は自転車(親が付添って)で通園している。

4. 教育目標

- (1) 丈夫なからだで仲良く遊べる子ども
- (2) 意欲的に活動する子ども
- (3) ゆたかな心を持つ子ども

5. 指導の重点

- (1) 園児の健康管理に留意し、基本的な生活習慣を身につけて楽しく安全に園生活がおくれるようにする。
- (2) どんな場面でも積極的に活動し、進んできまりを守り、みんなと仲良く集団生活ができるようにする。
- (3) 友だちを思いやるやさしい心を育てるようにする。

6. 幼児数

	4才児	5才児	計
学級数	1	2	3
男	20	18	38
女	13	23	36
計	33	41	74

7. 教職員

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
1	内藤達夫	54	兼園長	昭和48.4.1	経営	
2	高橋千鶴子	42	主任	昭和48.4.1	社会	教務・庶務
3	沖山英代	36	もも組	昭和48.4.1	国語図書	
4	黒山彰子	24	ばら組	昭和48.4.1	自然	
5	松本真弓	21	ゆり組	昭和49.4.1	健康	

8. 研究主題の推移

昭和48年度	野外活動の指導をどのように行なったらよいか ～自然環境を利用して～
昭和49年度	上記と同じ

9. 本園の特色

川原遊び、草摘み、梨もぎなど四季折々の自然に親しむ経験や活動を多くして、幼児の体力づくりや協調性の芽ばえが大切に育つよう指導している。

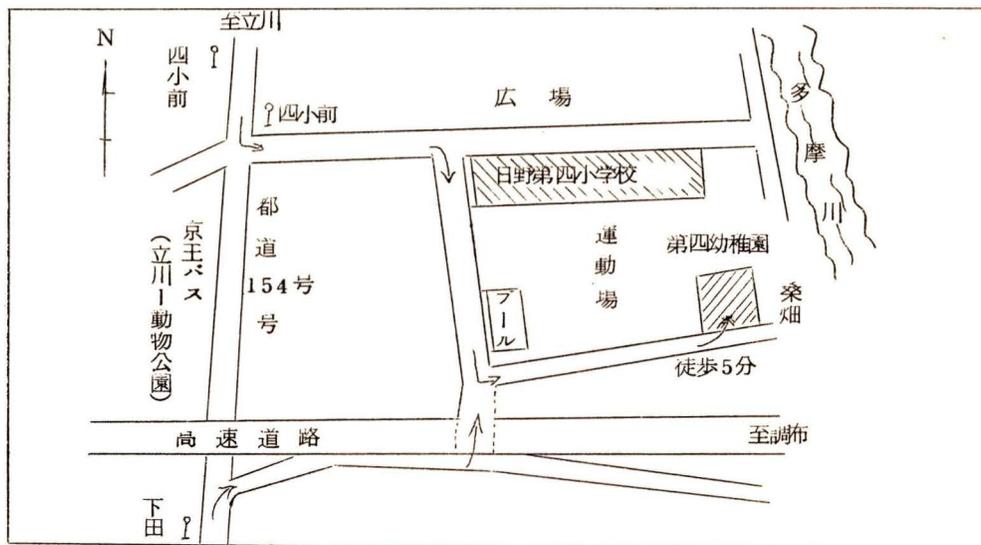
10. 都教育研究員・研究生

年 度	昭和49年度
氏 名	高橋千鶴子
教科・領域	社会
研究員・研究生別	研究員

11. 保護者の職義一覽

職 業	家庭実数	%
会 社 員	48	64
公 務 員	6	8
自 営 業	14	19
そ の 他	6	8

12. 園に至るまでの略図





園名 日野市立第五幼稚園  
所在地 日野市三沢175  
電話 0425-92-0432  
順路 高幡不動駅より東へ約13分

園長氏名 岡本省吾

主任氏名 甲野エミ

### 1. 沿革の概要

昭和49. 4.15 日野市立第五幼稚園として設置さる。  
学級2, 定員80名,  
職員教諭3名, 用務員1名,  
園敷地 2,444 m<sup>2</sup>  
園舎 428.8 m<sup>2</sup>

昭和49. 4.15 開園 園児62名

### 2. 歴代園長

氏名 年月 ~ 年月  
岡本省吾 昭和49. 4.1 ~ 現在

### 3. 地域の環境

京王線沿線にあり, 南に多摩丘陵と周りには田畑がある。周辺は団地, 住宅地域で比較的閑静な環境である。

### 4. 教育目標

- (1) 強い体で元気に遊べることも
- (2) 豊かな心をもつことも
- (3) 正しい生活習慣ができることも

### 5. 本年度指導の重点

- (1) 健康で明るく, のびのびと遊べることもに育てる。
- (2) 友だちを思いやる心をもって集団生活ができるようにする。

### 6. 児童数(生徒数), 幼児数

	5才児	計
学級数	2	2
男	32	32
女	30	30
計	62	62

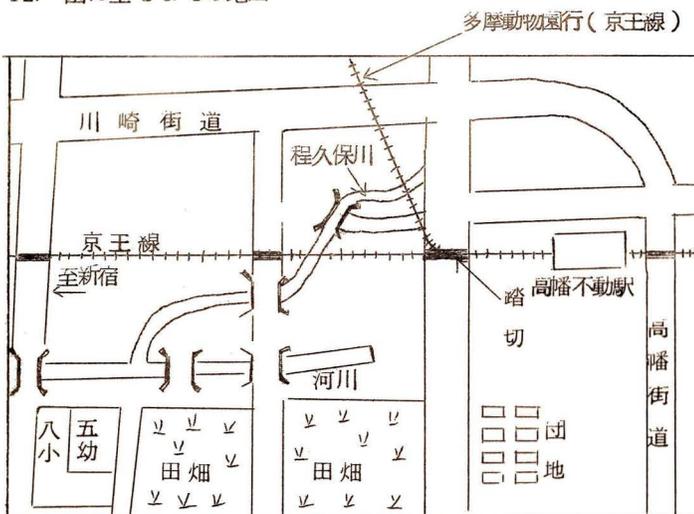
7. 教職員

	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教材	その他
1	岡本省吾	54	園長	昭和49.4.1	経営	
2	甲野エミ	41	主任	昭和49.4.1	自然	教務庶務
3	鷗沼万里子	29	一年々長	"	社会	教育相談
4	小林茂子	23	"	"	言語	

11. 保護者の職業一覧

職業	家庭実数	%
1 会社員	39	62.9
2 公務員	6	9.6
3 会社員	1	1.6
4 教員	1	1.6
5 自営業	4	6.5
6 その他	11	17.8

12. 園に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第一小学校  
所在地 日野市日野2800番地  
電話 0425-81-0073・0061  
順路 中央線日野駅下車 徒歩6分

校長氏名 下田 忍 教頭氏名 石井 三士

### 1. 沿革の概要

明治 6. 5. 5 士淵山普門寺の本堂をあて開校，第一大学区第八中学区第五十四番小学日野学校と称す。（現在の中央公民館のとなり 当時神奈川県）  
明治 45. 2.11 校歌，校章制定，校舎改増築，校地拡張（現中央公民館の所）  
昭和 11. 4.29 校旗寄贈（古谷剛次郎氏）  
昭和 15 日野2800番地（現在地）に土地900余坪，新校舎建築開始。（戦時中軍徴用）  
昭和 23. 4.25 新校舎に移転完了  
昭和 25. 4. 1 東京都指定実験学校となり，教育課程の研究発足27年3月5日発表  
昭和 28. 8. 2 80周年記念プール竣工  
昭和 38.11. 3 日野市制施行により日野市立日野第一小学校と校名を変更。  
昭和 40. 4. 防音校舎三期をもって完成  
昭和 43. 4. 1 日野市研究協力校として「教育環境の整備」を主題として研究発足。  
44年2月21日に研究発表。

昭和 43. 8. 1 日野市集会場を屋内運動場兼講堂として移管  
昭和 44. 2.21 日野市研究協力校として「教育環境の整備について」発表  
昭和 44. 5. 1 東京都学校花壇協力校となる。  
昭和 46. 4. 1 日野市小学校訪問学級（肢体不自由学級）設置，5月17日開級。  
昭和 47. 2. 都市計画神明上区画整理事業開始，校庭南側一部縮少，遊具移動  
昭和 47. 5. ビデオ一式購入（ビデオコーダー，ビデオカメラ，ビデオモニター等）  
昭和 48. 4. 授業研究校  
昭和 48.11. 創立百周年記念祭  
昭和 49. 4 授業研究校

## 2. 歴代校長

氏名	年月	～	年月
1. 日野 義 順	M 6. 5	～	M 9. 7
2. 国府田 学	M 9. 7	～	M 11. 3
3. 小川 則 要	M 11. 4	～	M 15. 3
4. 鈴木 宗 也	M 15. 4	～	M 16. 8
5. 上野 謙 松	M 16. 9	～	M 18. 3
6. 二見 友三郎	M 18. 4	～	M 19. 4
7. 八木岡 寛 制	M 19. 5	～	M 21. 10
8. 佐野 鶴 松	M 21. 11	～	T 5. 3
9. 古谷 剛次郎	T 5. 4	～	T 12. 1
10. 河合 平 作	T 12. 2	～	T 15. 3
11. 古谷 剛次郎	T 15. 4	～	S 11. 1
12. 宮川 海 三	S 11. 2	～	S 18. 3
13. 貫井 半 蔵	S 18. 4	～	S 23. 8
14. 小池 嘉 一	S 23. 9	～	S 34. 3
15. 尾崎 半次郎	S 34. 4	～	S 37. 3
16. 五十嵐 光	S 37. 4	～	S 38. 3
17. 木村 清	S 38. 4	～	S 41. 3
18. 吉田 辰 次	S 41. 4	～	S 44. 3
19. 下田 忍	S 44. 4	～	現 在

## 3. 地域の環境

本校は中央線日野駅の南方に位置し、農地、工場、商店、住宅により構成される地域を校区としている。駅より近く交通の便はよいが、甲州、川崎の両街道をかかえ、交通禍の危険をはらんでいる。校区内は区画、地番の整理も十分でなく、近代都市への脱皮の途上にあるようである。最近田畑は宅地造成区画整理などにより宅地化しつつある。しかし今のところは公害におそわれることもほとんどなく、自然の緑の美しい心やすまる環境も残されている。

## 4. 教育目標

本校の教育は、自主的に人格の完成につとめる児童の育成をめざし、つぎのことがらを中心として展開する。

1. 科学性を身につける子ども
2. 豊かな心情をもつ子ども
3. つよい意志をそだてる子ども
4. じょうぶな体をつくる子ども

年度の重点 「考える力をのばす」

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動の指導の重点

ア 各教科 授業研究を通して深く考えながら学ぶ子どもを育成する。

イ 道徳 「考える子どもの育成」について、道徳の時間における指導法の研究をする。

ウ 特別活動 児童が主体的に受けとめ、よく考えて行動する子どもの育成につとめる。

(2) 生活指導の重点

児童が主体的に受けとめ、よく考えて行動する子どもの育成につとめる。

6. 児童数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	(特殊学級 訪問学級)	計
学級数	4	3	3	4	4	3	1	22
男	79	61	69	76	78	56	6年 3・1年 3	425
女	65	56	52	63	58	57		351
計	144	117	121	139	136	113		776

7. 教職員

番号	氏名	年令	担任	本校就任年月	研究教科	その他
1	下田 忍	54	校長	44. 4. 1	社会	経営
2	石井 三士	43	教頭	49. 4. 1	国語	経営
3	山口 和子	47	1-1	43. 4. 1	理科	庶務
4	畠中 巽	62	1-2	37. 4. 1	国語	特別活動
5	守屋 ふみ	52	1-3	46. 4. 1	音楽	図書館
6	土田 芳夫	41	1-4	40. 4. 1	算数	生活指導主任
7	斎木 昭朗	41	2-1	41. 9. 16	算数	特別活動
8	高木 映子	40	2-2	47. 4. 1	社会	生活指導
9	辻田 静江	45	2-3	43. 4. 1	図工	給食主任
10	村上 澄江	48	3-1	45. 4. 1	道徳	教務
11	吉成 千津子	24	3-2	49. 4. 16	体育	特別活動
12	片野 茂夫	31	3-3	46. 4. 1	理科	生活指導
13	酒井 実	25	4-1	47. 4. 1	体育	視聴覚
14	村田 麗子	45	4-2	40. 4. 1	算数	特別活動
15	三平 恵子	23	4-3	48. 4. 1	社会	教育相談
16	清雲 よ志子	54	4-4	44. 4. 1	理科	保健主事
17	三村 礼子	40	5-1	39. 4. 1	家庭	生活指導
18	古屋 光男	44	5-2	49. 4. 1	理科	庶務
19	清水 和恵	27	5-3	45. 4. 1	国語	教務

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
20	原田 昭	45	5 - 4	47. 4. 1	体育	特別活動
21	上山 洋一郎	44	6 - 1	42. 4. 1	道徳	教務主任
22	武川 俊子	24	6 - 2	48. 4. 1	国語	特別活動
23	越村 清治	31	6 - 3	42. 4. 1	社会	生活指導
24	高橋 晴彦	41	音楽	39. 9. 1	音楽	図書館
25	酒井 栄一	62	図工	42. 4. 1	図工	視聴覚
26	奈良 悦子	43	家庭	41. 4. 1	家庭	給食
27	増田 実	26	体育	48. 4. 1	体育	備品
28	小松 妙子	32	養護	49. 4. 1	養護	保健
29	高瀬 三郎	59	訪問	46. 4. 1	障害	障害
30	久吉 真理子	24	訪問	49. 4. 1	障害	障害
31	上田 博文	39	事務	47. 4. 1	事務	事務
32	蓮池 守一	42	指導主事	48. 4. 1	指導主事	市教委勤務

#### 8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	不詳	昭和46年度	考える子どもの育成
昭和41年度	教材の系統制について		(教科・道徳・特活活動を通して)
昭和42年度	学校運営の能率化	昭和47年度	考える子どもの育成
昭和43年度	学校運営の能率化, 教育環境の整備		学年経営・学級経営・指導の重点・重点研究の3本柱
昭和44年度	教育環境の整備と活用	昭和48年度	考える力をのばす
昭和45年度	ひとりひとりを生かす生活指導	昭和49年度	「考える力をのばす」

#### 9. 本校の特色

- 全職員で授業研究に取り組む。
- 教育環境の整備

学校花壇, 教材園, 自然園等の充実

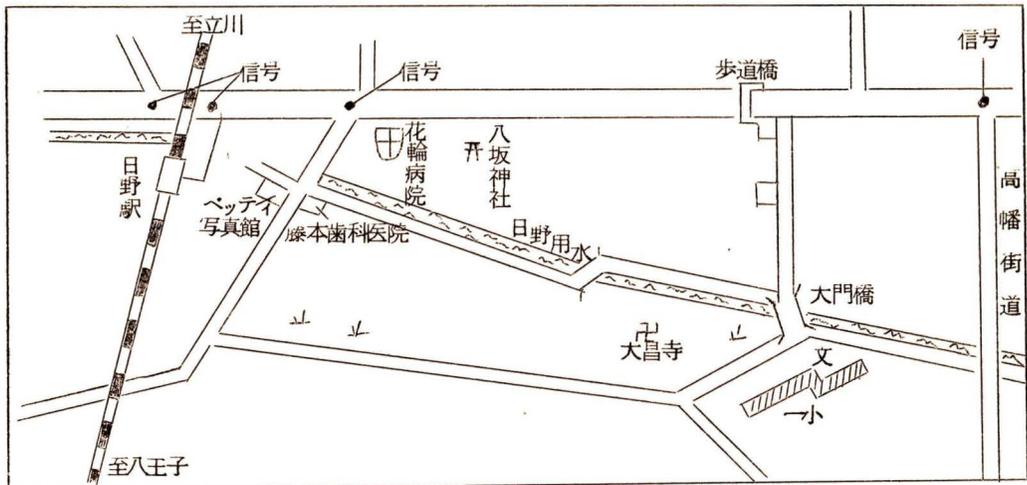
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員，研究生別
昭和37年度	古 屋 光 男	理 科	研 究 員
昭和42年度	上 山 洋一郎	道 徳	〃
〃	村 上 澄 江	〃	〃
昭和44年度	石 井 三 士	国 語	〃
〃	奈 良 悦 子	家 庭 科	〃
昭和45年度	松 井 玉 江	養 護	〃
昭和46年度	青 柳 俊 夫	体 育	〃
昭和47年度	安 藤 和 枝	給 食	〃
昭和48年度	越 村 清 治	社 会	〃

11. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
会 社 員	330	55.5	運 輸 通 信	20	3.4
公 務 員	83	13.1	農 業	12	2.1
自 宅 商	39	6.6	無 職	2	0.4
自 宅 工	17	2.9	自 営 業	45	7.7
サ ー ビ ス 業	23	3.9	そ の 他	9	1.7
自 由 業	16	2.7		596	100

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立第二小学校  
 所在地 日野市豊田 218  
 電話 0425-81-0070・0851  
 順路 中央線豊田駅下車 徒歩10分

校長氏名 安積利治

教頭氏名 近内信輝

1. 沿革の概要

明治 7. 3 神奈川県 9 大区小 4 区豊田村  
 尋常小学校として創設，戸長  
 山口平太夫氏長屋を仮校舎に  
 する。  
 年月不詳 善生寺本堂を校舎とし，上下  
 2 等級に分け，下等小学校は  
 満 6 才より 9 才，上等小学校  
 は満 10 才より 13 才までとする。  
 明治 12. 2 豊田 1 3 2 0 番地善生寺の西  
 隣に新校舎建築。  
 明治 26. 4 東京府に編入される。  
 明治 41. 3 日野小学校豊田分教場となる。  
 昭和 17. 豊田 2 1 8 番地に新校舎建築。  
 昭和 21. 6 南多摩郡豊田国民学校として  
 再び独立。  
 昭和 27.12 第 1 次増築 2 階建 8 教室 276  
 坪 拡張工事 569 坪。  
 昭和 30. 4 日野町日野第二小学校と校名  
 変更。  
 昭和 31. 4 第 2 次増築 2 階建 6 教室 168  
 坪 拡張校地 366 坪。  
 昭和 38.11 日野市立日野第二小学校と校  
 名変更。  
 昭和 43. 6 防音校築第 1 期工事完成。  
 昭和 44. 3 防音改築第 2 期工事完成。

昭和 45. 2 日野市指定研究「教材教具の整  
 備と活用」研究発表をおこなう。  
 昭和 46. 2 体育館工事落成。  
 昭和 46. 4 プレハブ教室 1 教室設置  
 昭和 46. 5 全教室テレビ配置  
 昭和 46.12 体育倉庫新設  
 昭和 48. 3 安全のため西側に通用門設置  
 昭和 49. 3 新校舎増築（8 教室）

2. 歴代校長

氏名	年月	～	年月
小山茂平	昭 21. 6	～	27. 9
増島光一	27.10	～	34. 3
小池嘉一	34. 4	～	38. 3
森久保 惣次	38. 4	～	42. 3
後藤正太	42. 4	～	47. 3
安積利治	47. 4	～	現在

3. 地域の環境

- (1) 豊田の里といわれた中央線と浅川に囲まれた静かな農村も，農家が 4% と勤労者住宅地帯と農田駅付近の小商店街とにかわった。
- (2) 学校前の都道をはじめ，学区内の道路はどこも交通事情激化の波におされ，通学路も危険にさらされ，児童の安全な遊び場がなくなってしまった。
- (3) P T A の会員の質も大きく変わり，先生まかせの学校のこともから，父母参観のあとなど，相当つっこんだ質問もできるようになる。

4. 教育目標

- (1) からだも心も強く明るい子
- (2) みんなと仲よく力をあわせられる子
- (3) よく考え進んで行動する子
- (4) 責任をもって最後までやりぬく子

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

(ア) 指導内容を精選し、指導の効果をたかめる。

(イ) 授業研究を行い、指導法の研究を実践する。

イ 道徳

学校の教育目標と道徳との関連をはかり、効果的な指導を行なう。

ウ 特別活動

(ア) 活動している諸領域を統合し、学級指導の時間に生かし、人間関係を深める。

(2) 生活指導・進路指導の重点

ア 学校における基本的行動様式を身につけさせる。

イ 安全指導を計画的に行なう。

(3) その他の配慮事項

ア 計画を密にし、手だては簡明具体的にし、全職員がとりくみ易いように努力する。

イ チームワークを主体とした指導を行ない、協力的な指導に努める。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	4	3	3	4	3	3	20
男	76	68	61	60	64	62	391
女	74	55	60	78	61	45	373
計	150	123	121	138	125	107	764

7. 教職員氏名

番号	氏名	年令	担任	本校就任年月	研究教科	その他
1	安 横 利 治	57.7	校長	47. 4. 1	経 営	
2	近 内 信 輝	50.3	教 頭	47. 4. 1	経 営	
3	倉 石 桂	64.4	専 科	40. 4. 1	理 科	教 務
4	松 井 慶 吾	50.11	2 - 1	46. 4. 1	国 語	教 務 主 任
5	赤 石 亨	50.1	5 - 1	42. 4. 1	国 語	研 究 部 主 任
6	高 島 和 子	47.1	1 - 1	45. 4. 1	国 語	函 書 館

番号	氏名	年令	担任	本校就任年月	研究教科	その他
7	石岡 信行	49.1	3 - 1	45. 4. 1	算 数	指導部主任
8	石原 八重子	44.11	4 - 4	47. 4. 1	道 徳	教育相談
9	峰 岸 サヨ	47.9	4 - 2	42. 4. 1	国 語	生活指導主任
10	亀 山 恵之助	44.6	6 - 1	47. 4. 1	社 会	特活主任
11	川 崎 照子	46.1	3 - 3	47. 4. 1	算 数	給食主任
12	大 場 とみ	42.4	専 科	48. 4. 1	音 楽	視 聴 覚
13	田 村 利 樹	39.7	4 - 1	44. 4. 1	国 語	備 品
14	河 島 努	39.3	6 - 3	46. 4. 1	体 育	特 活
15	鶴 田 久美子	38.5	専 科	45. 4. 1	図 工	生活指導
16	宮 坂 恵美子	31.1	2 - 3	49. 4. 1	社 会	図 書 館
17	塚 本 喜美子	30.11	1 - 4	49. 4. 1	算 数	生活指導
18	芳 賀 アサ子	26.2	5 - 2	46. 4. 1	算 数	特 活
19	島 田 美代子	26.2	6 - 2	46. 4. 1	算 数	視 聴 覚
20	田 中 容子	25.5	3 - 2	47. 4. 1	算 数	特 活
21	佐々木 正典	24.0	5 - 3	49. 4. 1	算 数	特 活
22	森 谷 静江	23.4	4 - 3	49. 4. 1	体 育	生活指導
23	高 橋 淑子	22.6	2 - 2	49. 4. 1	社 会	特 活
24	佐 藤 恵子	21.9	1 - 3	49. 4. 1	音 楽	特 活
25	佐 多 千鶴子	21.0	1 - 2	49. 4. 1	体 育	特 活
26	倉 林 紀子	34.6	養 護	46. 9. 1	養 護	保 健
27	伊 藤 功	29.1	事 務	48. 4. 1	事 務	事 務

#### 8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	生活指導の研究
昭和41年度	道徳の指導計画の作製
昭和42年度	道徳の指導計画の作製
昭和43年度	国語科における読解教材の効果的な指導法
昭和44年度	教材教具の効果的な整備と活用
昭和45年度	学級会活動における児童の自主性の育成
昭和46年度	学級会の話し合いの指導, 国語科における読速力の指導
昭和47年度	鉄棒運動の段階的指導, 数と計算領域の指導
昭和48年度	数と計算領域の指導, 器械運動の段階的指導
昭和49年度	国語科における説明的文章の読解指導の研究

9. 本校の特色

- 児童の体位は標準程度であるが体力に優れる。このことは地域の自然環境および家庭の協力によるものと考えられる。
- また児童の心情はすなおであり、態度もまじめである。

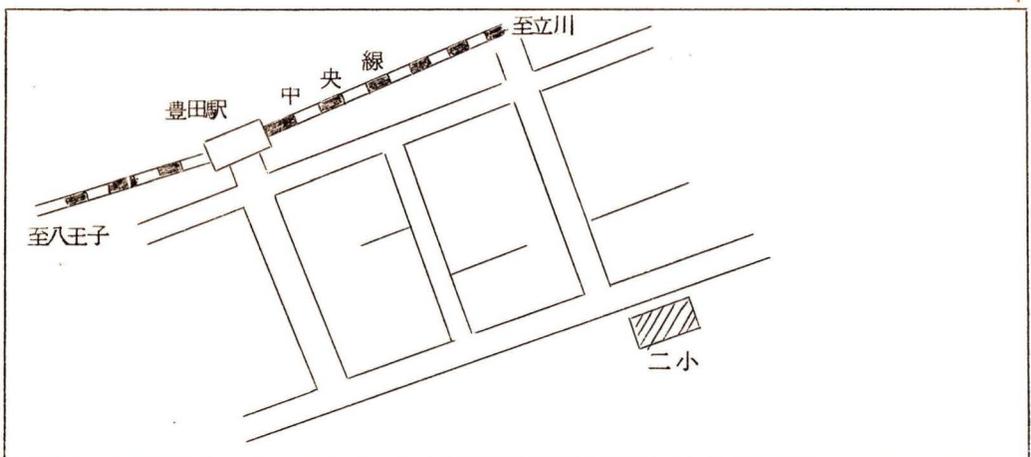
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員，研究生別
昭和43年度	赤 石 亨	給 食	研 給 員
昭和44年度	石 井 三 士	国 語	研 究 員
"	小 林 繁 人	学級経営	研 究 生
昭和46年度	亀 山 恵之助	特別活動	研究員(日野四小)
昭和36年度	近 内 信 輝	社 会	研究生(小平四小)

11. 保護者の職業一覧

職 種	家 庭 数	%	職 種	家 庭 数	%
企業経営者	14	2	労務的従業者	56	9
専門技術的職業	110	18	サービス従業員	30	5
管理的職業	56	9	農林漁業従事者	21	4
小 企 業 者	58	10	そ の 他	22	4
事務的職業	236	39	計	604	100

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立第三小学校  
所在地 日野市日野台2丁目1番地1号  
電話 0425-81-0101  
順路 中央線 日野-徒歩15分-学校

校長氏名 岩井庄三

教頭氏名 多昌直之

### 1. 沿革の概要

- 昭23. 4. 1 日野小学校日野台分校とさて設置される。児童1~3年340名、教室4、全学年2部授業。
- 昭25. 6.10 日野台小学校として独立する。児童数696名、教室9、4年生迄2部授業
- 昭25. 7.18 校章制定
- 昭25. 9.19 4教室増築、教室数133年まで2部授業
- 昭27. 4.15 4教室増築、教室数172年まで2部授業
- 昭27. 6.10 校歌制定
- 昭28. 6.10 校地850坪拡張、6教室増築、教室数23、2部授業解消される。
- 昭30. 4. 1 日野第三小学校と校名を変更
- 昭32. 3. 4 旧教室4を取除き6教室を増築、教室数25、児童数869名
- 昭33. 8. 3 給食調理室完成
- 昭33. 8. 3 大小プール落成
- 昭34. 3. 校地1100坪拡張
- 昭34. 5.11 34年度東京都小学校理科教育研究協力学校に指定される。
- 昭35. 4. 1 日野町特殊学級が併置される。

- 昭35. 6.10 開校10周年記念日を迎え記念式、祝賀会を催す。
- 昭37. 4. 5 校門完成
- 昭38.1.1. 3 日野市制施行に伴い日野市立日野第三小学校と校名を変更。
- 昭39. 6. 2 放送室、用務員室完成
- 昭42. 4. 7 防音校舎新築起工式
- 昭42. 9. 1 3年以上新校舎使用開始、順次に木造旧校舎解体
- 昭43.1.1.5 校地地番変更、日野市日野台2丁目1番地1号
- 昭44.1.2.20 学校北側の外柵落成
- 昭45. 6. プレハブ2教室落成
- 昭46. 2.16 体育館落成成式、校章制定
- 昭46. 4.2.0. プレハブ2教室増設
- 昭47. 3. プレハブ2教室増設
- 昭48. 3. 鉄筋新校舎9教室増築落成  
プレハブ4教室撤去

### 2. 歴代校長

氏名	年月 ~ 年月
高野 忠正 (事務取扱)	昭25. 6.10~26. 3.12
高野 忠正 (校長)	昭26. 3.13~27. 9.30
尾崎 半次郎	昭27.10. 1~34. 3.31
五十嵐 光	昭34. 4. 1~37. 3.31
塚本 正	昭37. 4. 1~41. 3.31
池田 瑞男	昭41. 4. 1~47. 3.31
岩井 庄三	昭47. 4. 1 着任

### 3. 地域の環境

東京都の南西多摩川の兩岸，甲州街道沿いに位置し，海拔800mの日野台地及び多摩川沿いに平地を含む地域である。

日野自動車工場とともに発展した地域であり，台地のため公害も少ない。

日野台地（学区域）の北部は多摩川へだて立川市，南は多摩丘陵，西部は八王子が眺望できるとすぐれた環境に恵まれている。

### 4. 教育目標

本校の教育は，憲法及び教育基本法の本質に基づいて，民主的な社会人としての人間形成の基礎作りにある。

### 5. 本年度指導の重点

#### (1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

##### ア 各教科

主体的に考え，学習にとりくむこどもの育成

- 意欲をたかめる発問や課題をあたえる指導
- 教材教具や機器の活用をくふうした指導

##### イ 道徳

道徳的判断が行動に結びつくこどもの育成

- 生きた実践事例から学ばせる指導
- 心情に訴え，情操をゆたかにさせる指導
- 資料をとり入れ，これを生かした指導

##### ウ 特別活動

主体的に行動し，特性をもったこどもの育成

- こどもの要求をよくみつめ，活動の場をできるだけ広げてやる指導
- こどもの創意くふうを大事にとりあげてやる指導

#### (2) 生活指導・進路指導の重点

社会生活のきまりを身につけ，主体的に実践できるこどもの育成

- 月目標を生活の中の実践と結びつけた指導
- 特別活動との関連を密にして，こどもの主体的参加を大事にする指導

#### (3) その他の配慮事項

- 特殊教育及び教育相談活動の充実をはかり，特に人権尊重の教育の推進をはかる。
- 授業研究を継続し，さらに研究を深める。
- 校舎増築工事が予定される中で，環境整備，児童の健康，安全への配慮を一層高める。
- 教務部，特活部，校内生活部，校外生活部，保健部，給食部等の活動を充実させ，全校へのはたらきかけを活発する。

## 6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特 殊	計
学級数	6	5	5	4	3	4	2	29
男	113	105	101	77	63	71	6	536
女	113	79	92	95	51	68	10	508
計	226	184	193	172	114	139	16	1,044

## 7. 教職員 ※ 年令は、昭和50.3.現在

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	岩 井 庄 三	57	校 長	昭47. 4. 1	学 校 経 営	
2	多 昌 直 之	46	教 頭	48. 4. 1	学 校 経 営	
3	戸 塚 春 男	51	専 科	41. 4. 1	図 工	生活指導主任、給食事務
4	増 田 喜 美 子	49	特 殊	49. 5. 1	家 庭	保健指導と事務
5	山 内 春 美	48	2 - 1	42. 4. 1	算 数	教育相談、給食事務
6	松 日 楽 敬 治	48	専 科	45. 4. 1	理 科	教務主任
7	森 甫	47	専 科	43. 4. 1	音 楽	教務、校具
8	落 合 茂 子	47	4 - 3	42. 4. 1	音 楽	教育相談、校具
9	橋 本 美 千 代	46	1 - 1	42. 4. 1	家 庭	P T A 書記
10	井 上 保	45	5 - 1	44. 4. 1	図 書	教務
11	藤 本 憲 康	45	6 - 1	47. 4. 1	社 会	教務
12	本 保 陽 子	45	4 - 4	44. 4. 1	道 徳	校外補導、庶務
13	大 上 琢 磨	43	3 - 3	40. 4. 1	体 育	教務、校具
14	高 野 浩	43	4 - 1	42. 4. 1	国 語	給食指導、庶務
15	安 斎 満 里 子	42	6 - 4	41. 4. 1	社 会	教務、庶務
16	種 田 嘉 子	40	2 - 5	49. 4. 1	算 数	交通安全指導、保健事務
17	川 原 田 和 子	31	5 - 2	49. 4. 1	算 数	交通安全指導
18	吉 川 郁 子	31	3 - 1	42. 4. 1	算 数	教科書関係
19	中 原 正 子	30	3 - 2	49. 4. 1	算 数	清掃指導、給食事務
20	有 馬 由 紀 子	30	5 - 2	48. 4. 1	国 語	清掃指導
21	飯 田 国 代	29	2 - 2	48. 4. 1	国 語	教務事務
22	西 川 征 矢	29	6 - 2	48. 4. 1	体 育	特活、校具
23	矢 野 百 合 子	29	1 - 4	49. 4. 1	体 育	校内生活指導、庶務
24	森 田 隆 子	28	特 殊	46. 4. 1	家 庭	給食指導、福祉
25	西 山 伸	28	特 殊	48. 4. 1	図 工	校外生活指導、福祉

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
26	石田悦代	27	3-5	昭49.4.1	体育	特活, 保健事務
27	長沼良子	26	1-6	48.4.1	図工	校内生活指導, 給食事務
28	山田一夫	26	6-2	47.4.1	音楽	特活, 庶務
29	銀鏡明子	25	1-3	47.4.1	図工	保健指導と事務
30	中村美子	25	4-2	47.4.1	図工	清掃指導
31	渡辺静枝	25	特殊	48.4.1	社会	特活, 保健事務
32	浜野美広	25	2-3	48.4.1	社会	特活, 校具
33	林和子	25	2-4	48.4.1	算数	校外生活指導
34	高野ちひろ	25	3-4	49.4.1	国語	保健指導, 教務事務
35	天野正枝	24	専科	46.4.1	家庭	校内生活指導, 福祉
36	佐藤民男	24	1-5	49.4.1	理科	特活, 校具
37	天花寺敬子	23	1-2	49.4.1	体育	給食指導と事務
38	関口真理	22	養護	48.4.1	体育	保健指導と事務
39	石川聖子	26	事務	47.4.1	事務	一般事務

#### 8 本校研究主題の推移

昭和40年度	道徳
昭和41年度	児童の思考を高めるための授業の進め方を国語科, 理科を通して究明し, 学力の充実を期す。
昭和42年度	児童の思考を高めるための授業の進め方を究明し, 学力の充実を期す。
昭和43年度	情緒の安定をはかり, 基礎的生活態度を育成する。
昭和44年度	情緒の安定をはかり, 基本生活態度を育成する。
昭和45年度	情緒の安定をはかり, 基本生活態度を育成する。
昭和46年度	情緒の安定をはかり, 基本生活態度を育成する。
昭和47年度	主体的に勉強や仕事にとりくむこどもの育成をはかる。
昭和48年度	主体的な学習態度や生活態度の育成をはかる。そのための適切な指導内容・指導方法等について研究を深める。
昭和49年度	主体的に考え行動するこどもの育成をめざす授業のすすめ方

9. 本校の特色

- 児童は明るくすなおで、決まったことや言われたことはよくするが、やや主体性を欠き、ねねばり強くやりぬこうとするたくましさがない。
- 校内研修で、市教委の委託研究を受け、児童の主体性を高める授業研究を実施している。また、特殊学級があり、教育相談の研修に力を入れている。
- 多摩川をのぞみ、たんぼ、はたけ、丘陵などの緑にかこまれた自然環境に恵まれている。
- 父母は、教育に対する関心が深く、PTAは自主的に活発に活動している。住宅は個人住宅が約7割を占め、近年、団地などが建設され、児童数も増加しつつある。

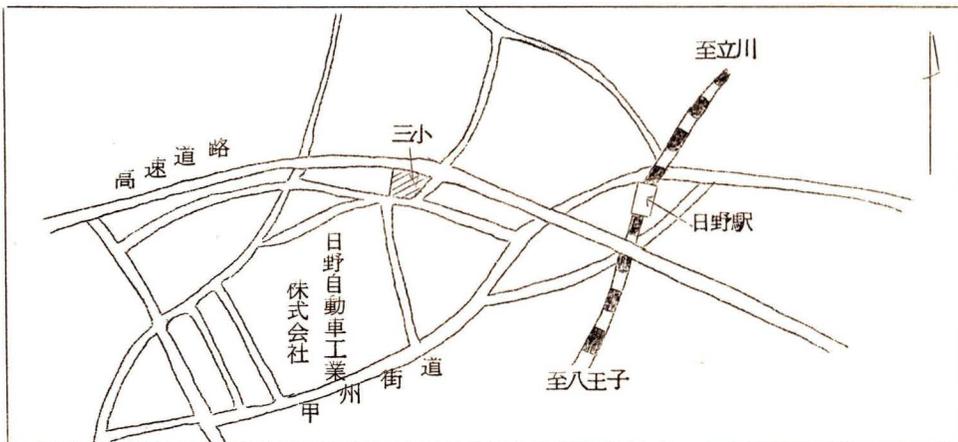
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員, 研究生別
昭和33年度	松村典孝	国語	研究員
昭和37年度	溝呂木桂次	理科	〃
昭和37年度	広瀬邦夫	社会	研究派遣生
昭和38年度	原田成大	特殊	研究員
昭和41年度	松日楽敬治	理科	〃

11. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
会 社 員	514	65.1	教 職 員	14	1.8
公 務 員	62	7.8	建 築 業	10	1.3
自 宅 商	51	6.5	医 師	4	0.5
自 宅 工	46	5.8	無 職	4	0.5
運 輸 交 通 業	32	4.1	そ の 他	34	4.3
農 業	18	2.3	計	789	100.0

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立第四小学校  
所在地 日野市石田430番地  
電話 0425-81-0038  
順路 日野駅から立川行バス南詰下車徒歩7分  
立川駅北口から多摩動物園行バス 四小前  
下車 徒歩2分

校長氏名 内藤達夫

教頭氏名 大島昭子

### 1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 5. 下田学舎  
21.1.1. 下田小学校  
41. 3. 日野小学校下田分校場  
29. 8.18 校地決定 4259.14坪  
30. 4. 4 落成式並開校式 この日を開  
校記念日とする。  
昭 30.1.2.2.2 校章制定  
30.1.2.2.5 第三期校舎竣工  
31. 3. 5 校旗完成  
32.1.1.2.0 学校給食開始  
35. 7.2.0 プール落成式並祝賀会  
36. 3.2.6 第三期校舎落成式  
36.1.1. 1 校歌発表会、以後この日を開  
校記念日とする。  
39. 6.1.0 校地拡張及防音校舎に改築が  
決定  
40. 3.3.1 防音校舎9教室完成  
41. 3.3.1 防音校舎第2期工事完了  
14教室完成  
41. 7. 9 防音校舎落成、独立11周年  
下田学舎創立92周年記念式  
典  
43.1.1.2.7 統計教育研究指定校として研  
究発表会をする。(都、市指  
定校)  
45. 3.3.1 体育館落成  
防音校舎7教室増築完成  
46. 7. 5 遊び開放用物置、便所設置  
46. 8.3.1 理科室給排水、配電設備設置  
47. 6.3.0 裏庭花だん新設

- 昭 47. 9.3.0 体育倉庫新設  
校長室、保健室移転  
印刷室新設  
49. 2. 7 事務室設置、飼育舎新設

### 2. 歴代校長

氏名	年月	～	年月
浦上 増太郎	昭30. 3.29	～	36. 3.31
田中 善次	36. 4. 1	～	44. 3.31
森 巖	44. 4. 1	～	47. 3.31
内藤 達夫	47. 4. 1	～	現在

### 3. 地域の環境

市の東端、多摩川と浅川のおちあう三角  
地帯、9地区1900戸である。甲州街道か  
ら約1km南にへだたった多摩川あたりにく  
らいし、田畑に囲まれ、前面に中央高速道  
路が走っている。米どころ日野の田園地帯  
と多摩川梨の産出地域である。  
万願荘の集団住宅を始め近年宅地化が漸次  
進められ田園地域より住宅地化しつつある。

### 4. 教育目標

#### (1) 学校の教育目標

地域社会の特性を活かし、児童の実態  
を把握し、個性と能力に即し、児童の日  
常生活を基盤として次の事項を目標とする。

1. 丈夫な身体で 健康安全教育
2. いつも元気に 明朗で活動的な人  
間の育成
3. 何事も自分で考え 真実を求め科学す  
る心の育成
4. 仲よく 人間尊重と協力奉  
仕する民主的社會  
人の育成
5. 学びましょ5 自主的学習態度の養  
成と基礎学力の充実

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア 学年会を研究的に進め、教師間の共通理解を深めながら指導性を高め目標の達成を図る。
- イ あらゆる生活場面で、教師と児童との心の交流を図りながら児童の自主的な学習意欲を高めていく。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

自主的学習態度を重視して学力の向上をはかる。

イ 道徳

(ア) 生命を尊重し健康の増進と安全の保持につとめることができるようにする。

(イ) よいと思ったことは進んで実行し、強い意志と責任感をもって最後までやり通すようにする。

ウ 特別活動

各種の活動計画と実践のくふうをはかり、連帯感、所属感を育てる。

- ・児童活動……児童の自主的、実践的な態度を育て個性の伸長をはかる。
- ・学級指導……統一ある指導計画に基づき、学級の実態に即した指導を徹底させる。
- ・学校行事……行事内容の精選と効果的な運営により集団への連帯感や規律ある行動の実践をはかる。

(2) 生活指導の重点

集団生活をとおして個々の児童の生活態度の向上を図りながら教育課程が能率的、効果的に実施されるように努める。

〔具体目標〕 学校生活を楽しくするために、学級、学校のきまりをたいせつに考え行動する子どもを育てる。

ア 個々の児童の能力、特性に応じた個別指導に力を入れる。

イ 学級、学校集団の質を高めるための集団指導に力を入れる。

(3) その他の配慮事項

ア 日課時程の一単位時間を40分とする。

イ 朝の児童集会活動を充実し、教師と児童、児童間の心の結びつきと体力の向上に努める。

ウ 児童とともに環境の美化につとめる。

エ 本年度の研究主題

子どもが生き生きと学習に参加できる授業の研究

## 6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	4	3	3	3	3	3	19
男	70	65	54	66	75	52	382
女	72	49	67	61	55	55	359
計	142	114	121	127	130	107	741

## 7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月	研究教科	そ の 他
1	内 藤 達 夫	54	校 長	47. 4. 1	経 営	
2	大 島 昭 子	48	教 頭	49. 4. 1	経 営	
3	堀 内 弘	29	1 - 1	43. 4. 1	理 科	視 聴 覚, 管財
4	越 村 あや子	26	1 - 2	49. 4. 1	体 育	生活指導, 教務
5	柏 谷 敏	46	1 - 3	46. 4. 1	図 工	特 活, 管財
6	古 谷 二三子	47	1 - 4	39. 4. 1	家 庭	図 書 館, 庶務
7	志 賀 定 一	25	2 - 1	48. 4. 1	体 育	生活指導, 教務
8	遠 藤 綾	49	2 - 2	48. 4. 1	算 数	給 食, 庶務
9	川 崎 愛 子	25	2 - 3	47. 4. 1	算 数	保 健, 庶務
10	杉 本 瑛 之	48	3 - 1	44. 4. 1	体 育	教育相談, 教務
11	色 川 和 代	28	3 - 2	47. 4. 4	社 会	視 聴 覚, 庶務
12	窪 田 正 子	29	3 - 3	43. 4. 1	国 語	図 書 館, 教務
13	上 野 森 良	44	4 - 1	43. 4. 1	道 徳	教育相談, 管財
14	飯 田 竹	31	4 - 2	48. 4. 1	国 語	保 健, 教務
15	斎 藤 弥 生	28	4 - 3	47. 4. 1	体 育	視 聴 覚, 教務
16	渡 辺 世 津子	26	5 - 1	49. 4. 1	音 楽	図 書 館, 教務
17	高 倉 教 行	46	5 - 2	45. 4. 1	国 語	生活指導, 教務
18	日下部 芳 子	54	5 - 3	43. 4. 1	家 庭	給 食, 庶務
19	仲二見 洋 子	47	6 - 1	42. 4. 1	算 数	特 活, 教務
20	佐々木 茂 登	50	6 - 2	48. 4. 1	道 徳	特 活, 管財
21	地 主 敏 江	26	6 - 3	48. 4. 1	社 会	視 聴 覚, 教務
22	鹿島田 恭 江	37	理 科	40. 4. 1	理 科	保 健, 教務
23	村 田 那 智子	36	音 楽	46. 4. 1	音 楽	給 食, 教務
24	渡 辺 芳 郎	52	図 工	39. 4. 1	図 工	特 活, 管財
25	能 登 久 子	28	養 護	42. 4. 1	保 健	保 健, 教務
26	大 淵 隆 夫	29	事 務	48. 4. 1	事 務	
27	高 橋 始 江	25	休 職	46. 4. 1		

## 8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	教育技術の研究（研究授業年8回実施）
昭和41年度	研究授業の励行，指導案作成の研究
昭和42年度	都，市研究協力校，統計教育
昭和43年度	同上
昭和44年度	国語科を中心とした読解力指導の充実をはかる
昭和45年度	読み，解く力をつけるための基礎的指導をどのように進めたらよいか。
昭和46年度	児童の自主性を生かした学習指導
昭和47年度	子どもが生き生きとした学習をするくふう→算数（計算，文章題）
昭和48年度	子どもが生き生きと学習に参加できる授業の研究→国語（かん字の指導）

## 9. 本校の特色

本校は過去数年，統計教育に取り組んできた。その成果を更に深化拡充するため，昭和46年より子どもの自主性を生かす授業の研究を進めている。

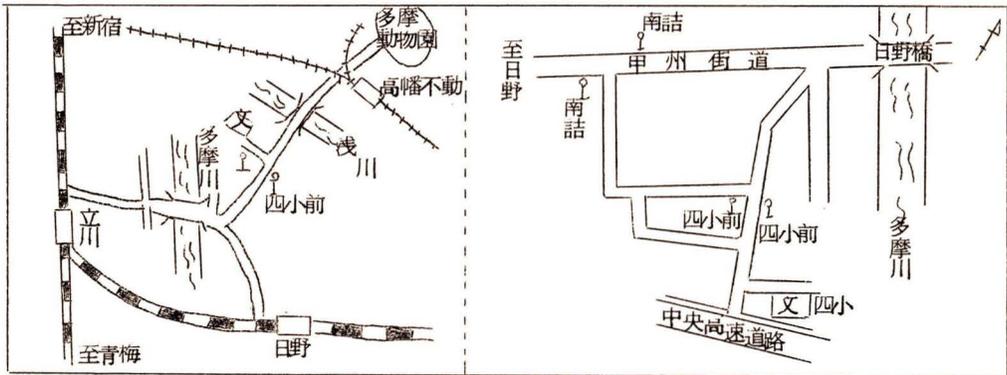
## 10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員，研究生別
昭和32年度	高 瀬 三 郎	算 数	研 究 員
昭和32年度	新 井 忠三郎	音 楽	＼
昭和37年度	井之下 茂	体 育	＼
昭和38年度	加 藤 隆 輔	図 工	＼
昭和42年度	渡 辺 芳 郎	図 工	＼
昭和46年度	亀 山 恵之助	特 活	＼
昭和48年度	上 野 森 良	国 語	＼

11. 保護者の職業 (昭和49年度5月調)

	会 社 員	公 務 員	教 員	交 通 ・ 運 輸	土 建 業	農 業	工 員	自 宅 工	自 宅 商	そ の 他	無 職	合 計
1年	37	6	2	5	0	0	9	6	3	2	0	70
2年	33	4	1	3	7	1	4	5	2	3	1	64
3年	36	7	1	2	0	3	13	8	7	4	0	81
4年	40	5	2	5	0	6	12	10	8	10	0	98
5年	49	7	3	6	4	6	16	11	10	13	0	125
6年	46	10	4	5	0	9	8	11	4	6	0	105
合計	241	39	13	26	11	25	62	51	34	38	2	543
%	44.1	7.1	2.4	4.8	2.0	4.6	11.4	9.4	6.3	7.0	0.6	100

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立第五小学校  
 所在地 日野市多摩平6-21-1  
 電話 0425-81-0445・0407  
 順路 豊田駅北口より京玉バス、日野駅行き五小前  
 にて下車  
 甲州街道を通るバス(京玉・都)に乗り日野  
 自動車工場前下車

校長氏名 三井知夫

教頭氏名 深次真人

1. 沿革の概要

昭34. 4. 1 日野市立日野第五小学校開  
 校。初代校長に増島光一就  
 任  
 昭34. 4. 6 日野第二小学校の3教室  
 (児童73名)日野第三小  
 学校の5教室(児童169  
 名)を借用して授業開始  
 昭34. 6. 8 第1期工事完成(鉄筋コン  
 クリート2階建, 普通教室  
 10, 特別教室3, 管理室  
 5)9学級274名新校舎  
 に移る。  
 昭35. 9.13 第2期工事完成(鉄筋コン  
 クリート平家建, 普通教室  
 8, 小講堂1)2部授業解  
 消  
 昭36. 4. 1 増島光一校長定年勇退。浦  
 上増太郎第二代校長に就任  
 昭36. 5.31 第三期工事完成(鉄筋コン  
 クリート2階建, 普通教室  
 6, 特別教室1)  
 昭36. 8.28 大プール, 小プール竣工  
 昭38. 2.20 校章制定  
 昭38. 4. 4 仮教室1完成  
 昭39. 3.11 校歌発表会  
 昭39. 3.25 卒業記念として校旗寄贈を  
 受く

昭39. 4. 1 浦上増太郎校長定年勇退, 福寿  
 文雄第三代校長に就任  
 昭39. 4. 6 芝山分校7学級(1~3年)  
 263名で発足  
 昭40. 4. 1 芝山分校は日野市立第六小学校  
 として独立  
 昭41. 4. 1 仮教室2完成  
 昭42. 2.23 都・市研究協力校発表会  
 昭42. 4. 1 福寿文雄校長転出, 星野正男校  
 長就任  
 昭43. 3.20 校舎改修工事着工  
 昭43. 5.20 体育館, 新校舎増設(2階建  
 10教室)  
 昭44. 3. 3 創立10周年記念式典  
 昭47. 4.11 星野正男校長転出, 荒井一男校  
 長就任  
 昭49. 4. 1 荒井一男転出, 三井知夫校長就  
 任

2. 歴代校長

氏名	年月	～	年月
増島光一	昭34. 4. 1	昭36. 3. 31	
浦上増太郎	昭36. 4. 1	昭39. 3. 31	
福寿文雄	昭39. 4. 1	昭42. 3. 31	
星野正男	昭42. 4. 1	昭47. 3. 31	
荒井一男	昭47. 4. 1	昭49. 3. 31	
三井知夫	昭49. 4. 1	現在	

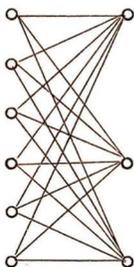
### 3. 地域の環境

昭和33年日本住宅公団により日野台地が切り開かれ、多摩平団地誕生。この中に第五小学校がある。南は中央線、北は国道20号線(甲州街道)にはさまれ、バス網が発達して交通は便利である。

団地の住宅以外に分譲住宅、都営住宅などがかかえ、付近には日野自動車など4つの大会社があり近代工業地域に接している。

団地内は公園、緑地、広場など整備され、立木、芝生にかこまれた空間は静かな住宅地としてよい教育環境となっている。

### 4. 教育目標

心身ともに強健で		心とからだをきたえます
自主性と創造性に富み		
勤労と責任を重んじ		
規律正しく協力して		よく考えて学びます
社会生活に貢献する		
児童の育成を期する		なかよく力を合わせます

5.

### 5. 指導の重点

#### (1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

##### ア 各教科

児童の思考過程を重視した指導法の研究を通して、児童の思考力の伸長を期する。

##### イ 道徳

授業を通して、年間指導計画の検討と改善をはかり、児童の道徳的心情を豊かにし、実践意欲を高める。

##### ウ 特別活動

本校の特別活動の年間指導計画に基づき、児童の望ましい集団活動を通して、実践的態度を育てる。

#### (2) 生活指導・進路指導の重点

学校生活における基本的行動様式、望ましい生活習慣を実践指導を通して身につけさせる。

## 6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	5	4	5	5	4	5	28
男	109	91	102	103	74	103	582
女	103	77	93	95	88	90	546
計	212	168	195	198	162	193	1,128

## 7. 教職員

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
1	三井知夫	49	校長	4 9. 4. 1	学校経営	
2	深沢真人	50	教頭	4 6. 4. 1	学校経営	
3	井尻武子	45	1-1	4 1. 4. 1	音楽	生活指導
4	西川朝子	28	1-2	4 6. 4. 1	社会	施設
5	逸見黎子	31	1-3	4 7. 4. 1	体育	保健
6	高田真澄	23	1-4	4 9. 4. 1	理科	給食
7	長沢佳郁子	39	1-5	4 9. 4. 1	特活	生活指導
8	白井啓子	25	2-1	4 7. 4. 1	図工	生活指導
9	中川金作	49	2-2	4 4. 4. 1	特活	教務
10	塩津孝子	27	2-3	4 7. 4. 1	図工	保健
11	松村タケ子	48	2-4	4 6. 4. 1	道徳	保健
12	海野とし子	26	3-1	4 6. 4. 1	算数	図書
13	前川花子	47	3-2	3 9. 4. 1	国語	給食
14	岡田充生	29	3-3	4 3. 4. 1	理科	施設
15	小俣政治	60	3-4	4 2. 4. 1	特活	施設
16	福地保	45	3-5	4 1. 4. 1	理科	教務
17	佐々木守夫	44	4-1	4 6. 4. 1	体育	保健
18	松田貴美子	26	4-2	4 6. 4. 1	理科	教務
19	大竹三郎	48	4-3	4 5. 4. 1	国語	教務
20	前川せつ	47	4-4	4 7. 4. 1	社会	生活指導
21	渡辺久子	27	4-5	4 7. 1. 1	特活	視聴覚
22	藤崎健児	46	5-1	4 5. 4. 1	算数	教務
23	中村大	43	5-2	4 5. 4. 1	理科	生活指導
24	田中博	26	5-3	4 7. 4. 1	体育	視聴覚

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
25	長井千代子	25	5-4	49. 4. 1	特活	図書
26	内藤まつ代	46	6-1	45. 4. 1	道徳	教務
27	河津正幸	26	6-2	46. 4. 1	体育	図書
28	藤村三治	33	6-3	46. 4. 1	理科	生活指導
29	赤池正人	38	6-4	43. 4. 1	特活	教務
30	関根敦子	42	6-5	43. 4. 1	家庭	給食
31	厚坊ヒデ子	40	音楽	47. 1. 1	音楽	視聴覚
32	浜野優子	30	音楽	46. 4. 1	音楽	生活指導
33	本荘正雄	61	図工	41. 4. 1	図工	施設
34	林茂子	29	家庭	43. 4. 1	家庭	給食
35	富慳容子	25	養護	46. 4. 1	養護	保健
36	川崎浩	29	事務	46. 4. 1	事務	事務

#### 8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	自主的生活態度の完成と実践化(市)教材教具資料の収集と活用,基礎学力の充実
昭和41年度	学校と家庭の教育上の協力(都)(市)花壇の整備(都)
昭和42年度	道徳の指導計画の作成,指導内容の精選
昭和43年度	道徳の指導法のくふうと資料整備,基本的行動様式の実践,体力増強のための計画と実践
昭和44年度	生活指導における基本的行動様式の実践指導 特に特別教育活動との関連で計画の再検討と特活の年間計画の作成
昭和45年度	学力の定着をめざした指導法のくふうと指導の実践
昭和46年度	各教科の学習における児童の思考力の伸長をはかるくふうと指導の実践
昭和47年度	特別活動の年間指導計画に基づき児童の望ましい集団生活を通して実践的態度を育てる。
昭和48年度	思考力を伸長するための教材教具の活用法の研究
昭和49年度	思考力を伸長するための指導法の研究

#### 9. 本校の特色

本校は公団住宅のこの地への進出に伴い設立され,新しい学校建築の様式をとり入れて建てられた学校である。当時の五小は少人数で静かな環境の中で広い校庭を使い理想的教育活動をめざしていた。その後児童の増加にともない,8回にわたる増改築を繰り返えし,創立当時の意図とは違った様相を呈すようになった。しかし校地内には手入れのゆきとどいた樹木が多く,静かな環境の中で学習ができるようにと環境の整備ができている。

児童は身長が高く胸囲が狭いという都市型の体位体格のものが多く,肥満児は最近減少してき

ている。

学校では地域や児童の実態を考え別掲のような教育目標をたて、この目標を学年相応にかみくだき、学年会を中心にして、創意工夫を凝らした日々の教育実践をして、成果をあげ父母の信頼を得ている。

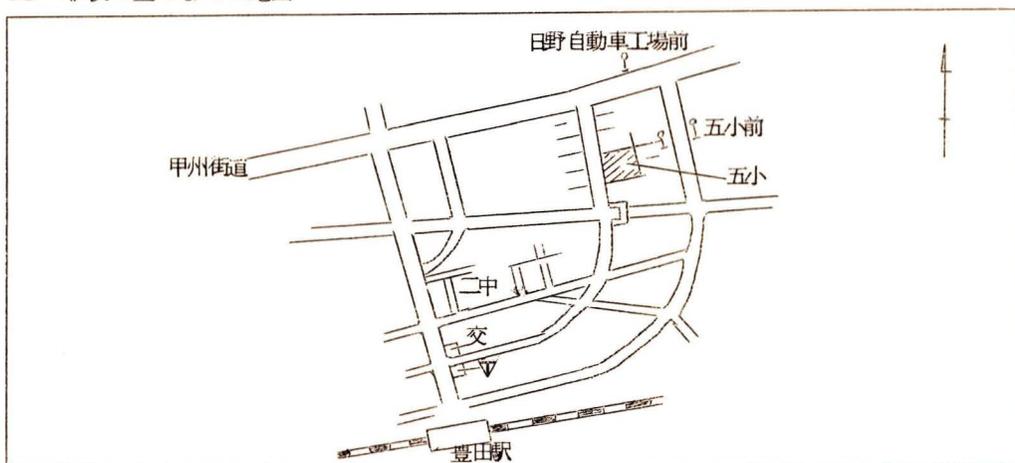
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員，研究生別
昭和36年度	石川 実	国 語	研 究 員
昭和39年度	黒 沢 保 雄	社 会	〃
昭和39年度	堀 フサ子	給 食	〃
昭和40年度	関 口 忠 子	家 庭	〃
昭和41年度	渋谷 義 一	理 科	〃
昭和45年度	小坂橋 五佐男	算 数	〃
昭和45年度	三 浦 勝 也	特 活	〃
昭和47年度	藤 崎 健 児	算 数	〃
昭和39年度	大 熊 喜 一	算 数	研 究 生
昭和42年度	渋谷 義 一	理 科	〃

11. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
会 社 員	565	65.8	自 宅 工	17	1.9
公 務 員	83	9.7	そ の 他	77	9.0
教 職 員	56	6.5	無 職	5	0.6
自 宅 商	56	6.5	計	856	100.0

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立第六小学校  
所在地 日野市多摩平3丁目21番地  
電話 0425-81-4868・0366  
順路 中央線豊田駅北口下車徒歩12分  
京王バス小西六裏門下車3分

校長氏名 新海 圭 三

教頭氏名 小野寺 東 雄

### 1. 沿革の概要

- 昭39. 4. 1 日野第五小学校芝山分校として設置 児童1年～3年7学級 263名
- 昭40. 4. 1 日野第六小学校として開校  
初代校長として平山小学校長加々美良英就任  
14学級 児童数515名  
教職員21名
- 昭40. 9. 6 プール完成(6コース25m)
- 昭42. 2.21 校歌の発表会
- 昭43. 2.22 児童の体力づくりの研究発表会
- 昭43. 3.31 校長加々美良英退職
- 昭43. 4. 1 国立市国立第一小学校長峰岸敬次郎2代校長として就任
- 昭43. 6.19 南校舎(普通教室11.職員室校長室)完成
- 昭43.1. 6 第13回学研教育賞を受ける。
- 昭44. 3. 校地の土どめ工事完成
- 昭45. 2.28 屋内体育館完成
- 昭45. 3.16 落成式挙行(学校, PTA共催)
- 昭46. 3.31 校長峰岸敬治郎滝合小学校長として転出
- 昭46. 4. 1 中野区上高田小学校新海圭三第三代校長として就任
- 昭46. 4. 1 日野市科学センター校
- 昭47. 2.28 正門前舗装, 北西門取付

- 昭47. 3. 児童の社会性育成の実践指導(市研究協力校)
- 昭47. 5. 6 日野市科学センター校
- 昭47. 6.10 校庭東側に自然林造成
- 昭48. 3. 「考えさせる授業への手だて」研究
- 昭49. 4. 南校舎3階増築(普通教育5音楽室, 校長室, 保健室, 教育相談室, 用務員室)

### 2. 歴代校長氏名

氏名	年月	～	年月
加々美良英	昭40.4.1	～	昭43.3.31
峰岸敬次郎	昭43.4.1	～	昭46.3.31
新海圭三	昭46.4.1	～	現在

### 3. 地域の環境

多摩平の台地に位置し, 公団住宅と分譲住宅よりなり, 近くに小西六, 富士電機, 帝人, 千代田自動車等の工場がある。飛行機の騒音はあるが教育的環境は比較的よい。最近学校の西の旭ヶ丘地区に住宅が増加しつつある。

### 4. 教育の目標

本校の教育は法規に基づき, 地域社会の特性をふまえ, 児童の個性と能力に即して次のことを目指して行なう。

- (1) たくましい身体と心をきたえる。
- (2) がんばりぬく心を養う。
- (3) 考えながら学ぶ。
- (4) しっかり働く。

(5) みんなと仲よく。

(6) 生きものを育てる。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

- 目標の明確化, 内容の精選, 指導法のくふうにより「考えさせる授業への手だて」を一層深める。
- 教育機器等教材, 教具, 資料の活用により効率的な指導方法の充実を図る。
- 学習環境をかえ, 児童が自然から学びとることにつとめる。

イ 道徳

- 児童の心にゆさぶりを深め, 人間尊重の精神を計画的に指導する。
- 各教科・領域との連けいを深め, 実践化をはかる。

ウ 特別活動

- 実践活動をとおして, 児童の自発性, 協調性を培い, 好ましい集団をつくる活動を積極的に進める。
- 児童活動・学級指導の内容の明確化, 効率化を図る。

(2) 生活指導, 進路指導の重点

- 「学校のきまり」をたいせつにする子どもの指導
- 「けがのない日」への指導のくふう。

(3) その他の配慮事項

- 40分授業の効率を高めるための生活時程と日課表のくふう。
- 教師, 児童, 父母相互の信頼と尊敬を高めるためのくふう。

6. 児童数 (49.5.1)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	6	5	5	5	5	5	31
男	132	92	88	89	112	91	604
女	94	100	97	112	101	90	594
計	226	192	185	201	213	181	1,198

## 7. 教職員一覧

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
1	新海圭三	55	校長	46. 4. 1	経営	経営
2	小野寺東雄	48	教頭	49. 4. 1	理科	経営
3	佐藤和子	25	1-1	47. 4. 1	算数	くらし委員
4	今野すみ子	42	1-2	47. 4. 1	社会	社会科主任・図書・つどい委員
5	高橋孝子	31	1-3	48. 4. 1	図工	給食・からだづくり委員
6	岡茂美	24	1-4	49. 4. 1	体育	環境委員
7	比田井茂子	25	1-5	49. 4.16	国語	給食・くらし委員
8	秋永悦郎	44	1-6	49. 4. 1	国語	研究委員・学年主任
9	当間糸子	44	2-1	40. 4. 1	道徳	つどい委員・学年主任
10	鶴留節子	28	2-2	48. 4. 1	社会	教育扶助・環境委員
11	草刈喜一	40	2-3	46. 4. 1	体育	からだづくり委員長・体育主任
12	福田いづみ	27	2-4	45. 4. 1	国語	くらし委員
13	広沢フサ子	36	2-5	43. 4. 1	道徳	道徳主任・研究委員・教育相談
14	野口昭平	48	3-1	49. 4. 1	理科	つどい委員・学年主任
15	高橋寿美子	47	3-2	40. 4. 1	図工	くらし委員・PTA
16	原田美智子	29	3-3	47. 4. 1	国語	研究委員
17	落合貴美江	28	3-4	49. 4. 1	理科	環境委員
18	青柳礼子	28	3-5	49. 4. 1	家庭	家庭科主任・からだづくり委員
19	塩浦玲子	28	4-1	44. 4. 1	国語	環境委員
20	上條浩子	29	4-2	44. 4. 1	国語	からだづくり委員
21	小野博子	47	4-3	44. 4. 1	社会	つどい委員・学年主任
22	阪本緑	35	4-4	45. 4. 1	国語	研究委員
23	清水辰己	37	4-5	49. 4. 1	体育	くらし委員長
24	斎藤八重子	45	5-1	43. 4. 1	体育	つどい委員・学年主任
25	西條淑子	54	5-2	42. 4. 1	家庭	生活指導主任・くらし委員
26	山添邦男	31	5-3	47. 4. 1	社会	研究委員長
27	長田正夫	34	5-4	45. 4. 1	社会	環境委員長
28	来間志信	33	5-5	43. 4. 1	国語	国語主任・からだづくり委員
29	藤田孝彦	41	6-1	47. 4. 1	道徳	つどい委員・学年主任
30	老沼義晴	25	6-2	47. 4. 1	算数	算数主任・からだづくり委員
31	清水しずか	43	6-3	40. 4. 1	算数	視聴覚・くらし委員
32	林克己	24	6-4	49. 4. 1	理科	理科主任・環境委員
33	永見明子	24	6-5	48. 4. 1	家庭	研究委員

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
34	曾我哲夫	43	5・6年	43. 4. 1	算数	教務主任・研究委員
35	曲田春子	23	音楽	49. 4. 1	音楽	環境委員
36	坪井しづか	32	音楽	48. 4. 1	音楽	音楽主任・つどい委員
37	長沢和子	51	図工	46. 4. 1	図工	つどい委員長・図工主任・補教
38	上山美智子	38	養護	40. 4. 1	保健	保健・からだづくり委員
39	伊東淳司	27	事務	49. 4. 1	事務	事務
40	乙坂寿男	25	事務	49. 4. 1	事務	事務

#### 8. 本校における研究主題の推意

昭和40年度	児童と父母を対象とした実態調査
昭和41年度	児童の「たくましい身体をきたえる」ための実践について
昭和42年度	児童のたくましい身体をきたえるための指導の具体化と実践について 市指定
昭和43年度	各教科道徳の教材配列及び教科内容の充実
昭和44年度	自ら考える意欲を高め思考力を伸す学習指導について
昭和45年度	児童の社会性育成の実践指導 学級指導と関連して
昭和46年度	児童の社会性の育成 学校教育目標の達成をめざして(市研究協力校)
昭和47年度	考えさせる授業への手だて
昭和48年度	# (継続研究)
昭和49年度	# (継続研究)

#### 9. 本校の特色

- (1) 多摩平団地の造成に伴って新設された団地校であり、大規模校である。
- (2) 児童は細長型、都会型の体位をしめし、ねばり強さに欠け、父母への依頼心が強い。
- (3) 父母の教育的関心は高く、父母会の出席状況はよい。
- (4) 児童、教職員一体となって、花だん、自然林、情操池を作成し学校緑化と環境整備に効果をあげている。
- (5) 「考えさせる授業への手だて」を主題に、校内研修活動に力を入れている。市協力校を関連的に3年間引受けている。
- (6) 「ふれあう授業」として、全校で交換授業をしている。

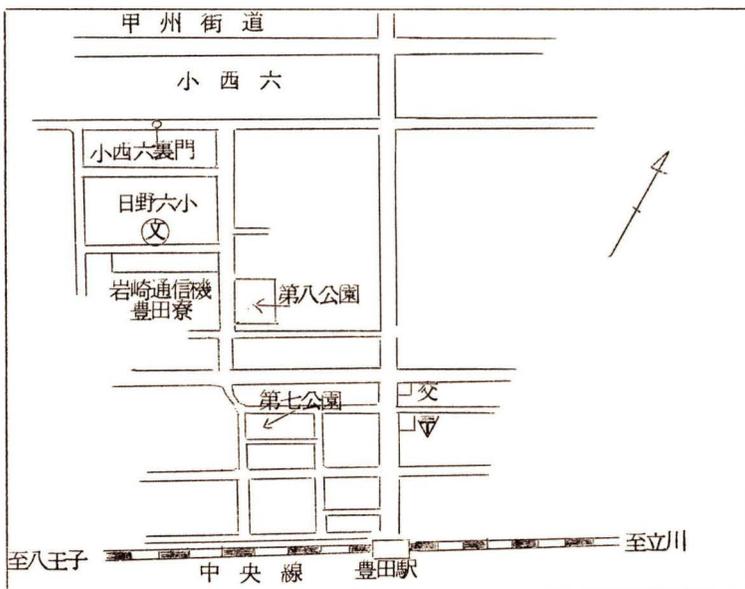
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員，研究生別
昭和35年度	黒 沢 保 雄	社 会	研究生(教育大)
昭和39年度	"	社 会	教 育 研 究 員
昭和43年度	岩 尾 照 夫	算 数	研 究 生(学大)
昭和43年度	上 山 美 智 子	養 護	教 育 研 究 員
昭和45年度	高 田 敏	給 食	"
昭和48年度	藤 田 孝 彦	特 活	"
昭和42年度	小野寺 東 雄	理 科	教 育 研 究 員
昭和45年度	秋 永 悦 郎	国 語	"
昭和40年度	野 口 昭 平	道 徳	教 育 研 究 員

11. 保護者の職業一覧

職 業	家 庭 実 数	%	職 業	家 庭 実 数	%
農 業	0	0.0	団 体 職 業	35	3.9
工 業	24	2.6	会 社 員	589	65.0
商 業	59	6.5	医 師	6	0.7
運 輸 交 通 業	22	2.4	そ の 他	58	6.4
国 家 公 務 員	40	4.4	無 職	5	0.6
地 方 公 務 員	68	7.5	計	906	100

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立潤徳小学校  
 所在地 日野市高幡402番地  
 電話 0425-91-0409・0410  
 順路 京王線高幡不動駅下車 北へ徒歩4分

校長氏名 星野正男

教頭氏名 梅田 茂

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 三沢医王寺本堂を仮校舎として開校，潤徳学舎と称す。
- 明 11.1.1 三沢701番地に移転し，潤徳学校と称し校舎を新築する。
- 明 20. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
- 明 26. 4 校名を潤徳尋常小学校と変更
- 明 34. 4 校名を尋徳尋常高等小学校と変更
- 明 42. 5 昭栄尋常小学校を廃止し，落川分校とする。
- 昭 16. 4 校名を潤徳国民学校と変更
- 昭 22. 4 校名を七生村立潤徳小学校と変更
- 昭 27. 5 創立80周年記念として，白鳥省吾作詩，信時潔作曲の校歌を作成す。
- 昭 30.1.0 学校保健委員会が都教委及び都学校保健会より表彰さる。
- 昭 33. 2 校名を日野町立潤徳小学校と変更
- 昭 38.1.1 校名を日野市立潤徳小学校と変更（90周年記念式典挙行，記念事業として水棲動物園，河川模型完成）
- 昭 40.1.2 安全教育優良校として都教委

- 及び都学校保健会より表彰さる。
- 昭 41. 3 現在地に鉄筋コンクリート三階建防音校舎完成，落川分校廃止
- 昭 44. 2 屋内体育館落成
- 昭 44. 9 日野市立第八小学校分離
- 昭 44.10 百草台分校併設
- 昭 45. 4 百草台分校独立日野市立百草台小学校となる。
- 昭 46. 2 日野市研究協力校として「学級指導の計画と実践」の主題のもとに研究発表協議会を開催。
- 昭 46. 4 普通教室9教室，学校図書館2教室分）増築
- 昭 47. 4 プレハブ教室増築
- 昭 48. 4 プレハブ教室増築（4教室）
- 昭 48. 5 開校百年記念式典挙行記念碑・植樹完成
- 昭 49. 4 日野市立南平小学校分離

2. 歴代校長

氏名	年月	～	年月
初代 大塚四郎右衛門	創	立	
2代 覚井 諦 暁	明19.12	～	明11.1.1
3代 和田 作太郎	明11.1.1	～	明15.1.1
4代 土方 喜久太郎	明15.1.1	～	明17. 2
5代 宮 倉 保五郎	明17. 2	～	明19.1.0
6代 小 宮 太之助	明19.1.0	～	明20.1.0
7代 須 崎 和 蔵	明20.1.0	～	明31. 2
8代 小 宮 弥一郎	明31. 2	～	明34. 4
9代 加 藤 菊次郎	明34. 4	～	明36. 1
10代 佐 藤 良 輔	明36. 1	～	明42. 4
11代 沖 倉 与 一	明42. 4	～	明43. 4

- 12代 荒木 田大夫 明43.5~明45.3  
 13代 小宮 弥一郎 明45.4~大12.3  
 14代 平 杉 蔵 大12.4~大13.3  
 15代 矢沢 久司 大13.3~大14.9  
 16代 小泉 栄一 大14.10~昭3.3  
 17代 広井 博 昭3.4~昭7.9  
 18代 重松 正 顕 昭7.9~昭14.7  
 19代 鈴木 慶 蔵 昭14.7~昭22.2  
 20代 赤坂 元 春 昭22.2~昭27.9  
 21代 塚本 正 昭27.10~昭37.3  
 22代 尾崎 半次郎 昭37.4~昭41.3  
 23代 塚本 正 昭41.4~昭43.3  
 24代 溝呂木 桂 次 昭43.4~昭47.3  
 25代 星野 正 男 昭47.4~現在

### 3. 地域の環境

南に多摩丘陵が連なり、北には浅川が流れ、東西に田園が広がり、自然環境には恵まれていたが、最近急激に丘陵地帯には公団住宅や分譲住宅の造成が盛んに行なわれ、田園にも都営団地や住宅がふえ、過密化の傾向にあり、農業に従事する保護者の割合は約3%である。東西に走る川崎街道の交通量も激増し、交通事故もふえている。休日には、高幡不動尊、多摩動物公園、多摩テック等に行楽客も多い。

### 4. 教育目標

- |   |   |        |               |
|---|---|--------|---------------|
| 敬 | 愛 | 健康・安全  | ・心とからだをきたえます。 |
|   |   | 自由・責任  |               |
| 自 | 由 | 明明・快活  | ・仲よく力を合わせます。  |
|   |   | 不撓・不屈  |               |
| 勤 | 労 | 創意・くふう | ・よく考えて学びます。   |

### 5. 指導の重点

#### (1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

##### ア 各教科

指導内容を精選し、学習の効果を高める。

- ・学習過程を重視し、児童の思考力を伸ばす。
- ・教材・教具の活用をはかる。

##### イ 道徳

児童の実態に応じて、道徳性を高める。

- ・公共心を培い、協力し合う心情を高める。
- ・進んで、物事をやりぬく態度の育成をはかる。

## ウ 特別活動

組織と運営を確立する。

- ・代表委員会と各種委員会の常時活動をととして、児童の自主性を高める。
- ・学校行事を精選し、児童の心身の健全な発達を図る。
- ・学級指導をととして、好ましい人間関係を育てる。

### (2) 生活指導・進路指導の重点

学年・学級における生活指導の充実と徹底をはかる。

- ・児童ひとりひとりを見つめ教師と児童との心の交流をはかる。
- ・学校生活のきまりなどの規律を守る習慣をつける。
- ・安全教育の徹底をはかる。

### (3) その他の配慮事項

1. 40分授業を考慮し、ゆとりのある生活時程を設定し、教育的に有効に活用する。
2. 望ましい学習環境の整備に努力する。
3. 学年を中心とした授業研究を重視し、併せて普通学級における心身障害児の問題解決にあたる。

## 6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	6	5	5	5	5	4	30
男	114	107	108	97	90	85	601
女	113	115	92	112	91	74	597
計	227	222	200	209	181	159	1,198

## 7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	星 野 正 男	59	校 長	4 7. 4. 1	経営国語	
2	梅 田 茂	48	教 頭	4 7. 4. 1	道 徳	
3	竹 内 ふ み	51	1 - 1	4 8. 4. 1	家 庭	P T A会計
4	高 橋 茂 子	31	1 - 2	4 9. 4. 1	算 数	
5	川原田 和 子	30	1 - 3	4 6. 4. 1	体 育	教育相談主任
6	秋 間 美 恵子	25	1 - 4	4 7. 4. 1	理 科	
7	土 方 淳 子	28	1 - 5	4 5. 4. 1	理 科	
8	天 野 七 郎	49	1 - 6	4 5. 4. 1	算 数	教務主任
9	茅 野 とめ子	29	2 - 1	4 6. 4. 1	算 数	
10	小 村 満紀子	37	2 - 2	4 8. 4. 1	音 楽	特活主任

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
11	斎藤 己吉	45	2-3	49. 4. 1	特活	保健主任
12	小笠原 康夫	28	2-4	44. 4. 1	体育	
13	高井 くめ子	31	2-5	48. 4. 1	国語	
14	小川 雪子	48	3-1	47. 4. 1	図工	図書主任
15	石原 美代	27	3-2	47. 4. 1	体育	
16	後藤 楚子	37	3-3	45. 4. 1	図工	
17	間瀬 悦子	25	3-4	47. 4. 1	音楽	
18	小山 節子	31	3-5	46. 4. 1	国語	
19	青木 良子	53	4-1	48. 4. 1	図工	P T A庶務
20	松田 英明	26	4-2	49. 4. 1	社会	
21	伊藤 清子	44	4-3	45. 4. 1	算数	給食主任
22	中島 ちよ子	24	4-4	48. 4. 1	算数	
23	渡辺 みち子	24	4-5	48. 4. 1	国語	
24	中野 弥生	28	5-1	47. 4. 1	理科	
25	小竹 章	49	5-2	49. 4. 1	特活	生活指導主任
26	佐藤 ユウ	40	5-3	42. 4. 1	社会	P T A庶務
27	大浦 真知子	28	5-4	44. 9. 1	算数	
28	河野 千秋	38	5-5	48. 4. 1	社会	視聴覚主任
29	古谷 孝太	45	6-1	48. 4. 1	道徳	研究主任・道徳主任
30	三浦 みのり	46	6-2	49. 4. 1	国語	
31	大石 年志	29	6-3	49. 4. 1	体育	体育主任
32	川井 矩子	34	6-4	48. 4. 1	特活	
33	森 清晃	48	理科	47. 4. 1	理科	理科・学校行事主任
34	小堀 こうこ	26	音楽	47. 4. 1	音楽	音楽主任
35	小口 清一	37	図工	47. 4. 1	図工	管材主任
36	石川 成子	35	家庭	45. 9. 16	家庭	家庭科主任
37	松井 玉江	46	養護	49. 4. 1	保健	
38	橋田 晟	38	事務	46. 4. 1	事務	庶務会計主任

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	学校における望ましい習慣形成のあり方
昭和41年度	基礎学力の充実 授業研究をとおしての教材研究
昭和42年度	徒手体操の系統的指導法の研究
昭和43年度	体育の効果的な指導法 器械運動について
昭和44年度	系統性を重視したボール運動 社会的態度の育成をめざした集団行動
昭和45年度	学校生活における基本的行動様式の実践 学級指導を通して
昭和46年度	学級指導の計画化に基づく指導実践
昭和47年度	学習効果をたかめるための教材教具の整備と活用
昭和48年度	各教科の指導内容を精選し、指導課程をくふうして思考力を伸ばす

9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和35年度	斎 藤 宏	社 会	研 究 員
昭和38年度	斎 藤 イ ク	学校給食	〃
昭和38年度	天 野 七 郎	〃	〃
昭和42年度	天 野 七 郎	算 数	〃
昭和43年度	坂 井 和 子	教育方法	〃
昭和45年度	村 上 悦 子	音 楽	〃
昭和46年度	な し		
昭和47年度	清 水 七 郎	教育方法	研 究 員
〃	新 沼 英 樹	理 科	〃
昭和48年	な し		

10. 本校の特色

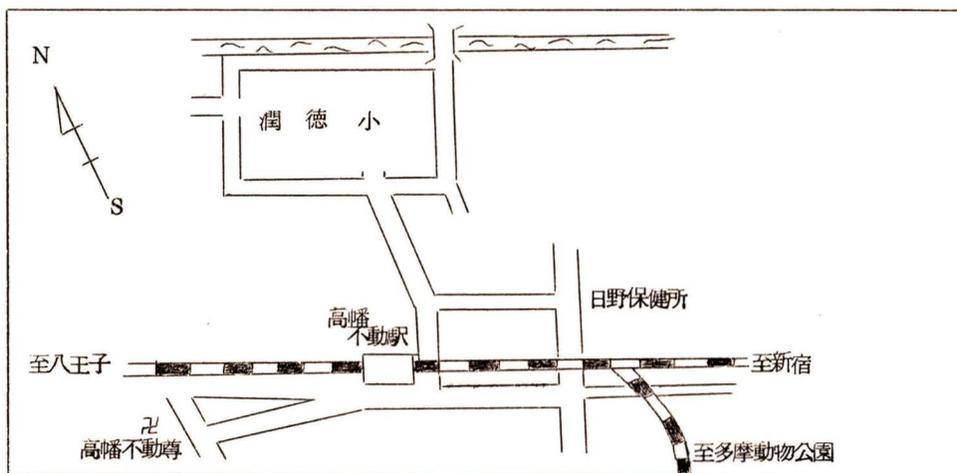
本校は明治6年5月12日に開校以来本年をもって百周年を迎え輝かしい伝統と歴史にはぐくまれ、また多摩丘陵の宅地造成にもなうベツタウンとしての新興住宅地として転入の児童・父母との融和のなかに、新しい時代に即応した社会人の育成にあたっている。

本市第二の大規模校として、さまざまな困難な条件のなかで全職員一丸となって真の教育の理念達成をめざし邁進している。

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
専門的・技術的職業	212	23.1	サービス従事者	35	3.8
管理的職業	89	9.8	農林, 漁業従事者	21	2.3
事務的職業	226	24.6	そ の 他	39	4.2
自 営 業	69	7.5			
労 務 従 事 者	227	24.7	計	918	100

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立平山小学校  
所在地 日野市平山4-8-6  
電話 0425-91-4123・0512  
順路 京王線 平山城祉公園下車 徒歩8分  
▽191

校長氏名 小野 晁 教頭氏名 石井 富蔵

### 1. 沿革の概要

- 明 6. 5 宗印寺を仮校舎として開校  
(真心学舎といい修業年限は8ヵ年)
- 明17. 平山598番地に新築移転
- 明20 校名を平山尋常小学校と改める
- 明35. 5 校名を平山尋常高等小学校と改める。
- 明41 尋常科を6ヵ年, 高等科を2ヵ年とする。
- 昭16. 4 国民学校令の施行により七生村立平山国民学校と改める。
- 昭22. 4 新学校教育制度の実施により七生村立平山小学校と改める。
- 昭32. 2 日野町, 七生村合併により日野町立平山小学校と改める。
- 昭37. 2 東京都給食研究協力校として研究発表
- 昭38.1 1 市制施行により日野市立平山小学校と改める。
- 昭42. 5 鉄筋防音校舎および屋内体育館の落成により, 平山4-8-6に移転する。
- 昭44 日野市 研究協力校として「児童の体力の向上」について研究発表。
- 昭45. 3 防音鉄筋校舎9教室および機械室工事完成。
- 昭46. 3 滝合小の新設に伴なう学区変

更, 平山小学区は浅川の南側の地区となる。

### 2. 歴代校長

氏名	年月 ~ 年月
梁 義 伯	明 6. 5 ~ 明 12. 1
大 沢 教之助	明 12. 1 ~ 明 20. 3
石 井 芳 丸	明 20. 4 ~ 明 30. 5. 5
吉 永 信 丸	明 30. 6 ~ 明 35. 5
小 宮 弥一郎	明 35. 6 ~ 明 45. 3
古 谷 障 司	明 45. 4 ~ 大 2. 5
勝 又 房太郎	大 2. 5 ~ 大 4. 5
平 杉 蔵	大 4. 6 ~ 大 9. 3
上 田 富 弥	大 9. 4 ~ 大 15. 3
杉山 喜知太郎	大 15. 4 ~ 昭 6. 3
石 川 雄 丸	昭 6. 4 ~ 昭 11. 2
鳥 羽 照 司	昭 11. 2 ~ 昭 13. 3
石 谷 倉太郎	昭 13. 4 ~ 昭 21. 3
飯 塚 節 三	昭 21. 3 ~ 昭 22. 3
田宮五郎右衛門	昭 22. 4 ~ 昭 28. 3
森久保 惣 次	昭 28. 4 ~ 昭 34. 3
高 橋 本 義	昭 34. 4 ~ 昭 37. 3
加々美 良 英	昭 37. 4 ~ 昭 40. 3
後 藤 正 太	昭 40. 4 ~ 昭 42. 3
安 積 利 治	昭 42. 4 ~ 昭 47. 3
小 野 晁	昭 47. 4 ~ 現 在

### 3. 地域の環境

- (1) 浅川と多摩丘陵に挟まれた西は八王子市に接する平地, 田んぼ, 畑等の農地も残っており, 自然に恵まれた環境である。
- (2) 近年, 団地, 都営住宅, 造成地住宅等市街化されつつあり, 他地域からの転入

者が多く、児童数も急激に増加しつつある。

4. 教育目標

- ① 健康安全教育の充実 (1) 健康で 明るい子ども
- ② 学力の充実 (2) よく考えて さいごまでやりぬく子
- ③ 自主性の育成 (3) 進んでよいことをする子ども
- (4) 力を合わせて働く子ども

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

- 指導の効率を高めるため、指導内容の精選、教材教具のくふう、指導事例の交換を重視し、学年会の研修活動を中心としてすすめる。
- さらに校内研修活動の体制を確立し、より効率化をはかる。

イ 道徳

- 日常生活の望ましい行動様式を育てる。
- 自主性の育成につとめ、教材教具を整備し、機器を活用して実態に即した徳目を精選して指導する。

ウ 特別活動

- 行事・学級指導をととし、交通安全教育の指導を徹底する。
- 児童会活動・係活動を通して自主性や協力のしかたを学ばせる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

- 日々の学校生活を通して、教師対児童・児童対児童がひとりひとりを理解し、尊重し合うようつとめる。
- 安全教育にとくに留意して、児童ひとりひとりが自覚するよう指導する。

(3) その他の配慮事項

- 前年に引き続き、児童にゆとりある学校生活を送らせ、教師対児童・児童対児童の心の交流をはかる。
- 放課後の時間をくふうし、教材研究・学年会等にあてて指導の効率化をはかる。さらに年間10回の授業研究を実施し研究をすすめる。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	わかき	計
学級数	4	3	4	4	3	3	1	22
男	82	67	66	74	57	56	3	405
女	76	53	70	62	39	43	6	349
計	158	120	136	136	96	99	9	754

## 7. 教職員

(年令は50.3月末現在)

番号	氏名	年令	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
1	小野 晁	56	校長	47.4.1	経営	
2	石井 富蔵	58	教頭	46.4.1	経営	
3	月成 カズ子	25	1-1	47.4.1	算数	図書館指導
4	小林 和子	31	1-2	49.4.1	図工	保健部
5	岩井 豊子	54	1-3	41.4.1	家庭	渉外部主任
6	高橋 史郎	26	1-4	48.4.1	体育	教務部
7	関 恒夫	46	2-1	45.4.1	体育	生活指導主任
8	赤松 紀子	33	2-2	44.4.1	国語	図書館
9	長尾 節子	55	2-3	45.4.1	図工	給食事務部主任
10	安達 美武	29	3-1	44.4.1	社会	校外指導
11	会田 尚子	37	3-2	44.4.1	算数	安全教育
12	雨宮 政子	27	3-3	45.4.1	図工	校内生活指導
13	加藤 千恵子	25	3-4	49.4.16	音楽	教務部
14	吉川 郁子	39	4-1	44.4.1	体育	視聴覚指導
15	信夫 清彦	30	4-2	48.4.1	体育	保健部主任
16	落合 陽子	26	4-3	48.4.1	図工	給食指導
17	領 みよの	23	4-4	49.4.1	国語	教務部
18	溝江 恵美子	33	5-1	39.4.1	家庭	代表委指導
19	川上 昇一	30	5-2	45.4.1	道徳	視聴覚指導
20	和田 文雄	41	5-3	43.4.1	体育	研究部主任
21	白川 茂一	39	6-1	44.4.1	国語	代表委指導
22	河野 珠恵	27	6-2	47.4.1	家庭	教務部
23	柳 英司	28	6-3	47.4.1	社会	校外指導
24	大鳥 ルミ子	37	わかくさ	48.4.1	図工	心障児教育
25	仁木 清江	23	わかくさ	49.4.1	音楽	心障児教育
26	堀越 邦昌	47	理科	44.9.1	理科	教務主任
27	内山 美知子	43	音楽	39.4.1	音楽	給食事務・視聴覚
28	藤田 富治郎	29	図工	48.4.1	図工	クラブ・部担当
29	甘利 信子	27	体育	49.5.1	音楽	教務部
30	小林 ふと子	27	養護	49.4.1	養護	保健・養護
31	小島 義之	28	事主事	44.4.1	事務	庶務経理部主任
32	安藤 晴代	24	わかくさ	49.6.1	体育	心障児教育

## 8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	理科(すじ道をたてて考える学習)
昭和41年度	同 上
昭和42年度	道徳(道徳指導計画の改訂)
昭和43年度	道徳, 体育(道徳, 体育を中心に資料の充実と視聴覚教材の活用)
昭和44年度	体育(体育活動を中心に体力の向上をはかる) 市研究協力校
昭和45年度	体育(体力の向上をはかる体育学習)
昭和46年度	生活指導(自主性を育てる)
昭和47年度	同 上
昭和48年度	同 上
昭和49年度	交通安全教育・安全対策の推進(地域の実態に即した)

## 9. 本校の特色

- 教育目標第一の柱「健康安全教育の充実」に重点をおき、地域の実態に即し交通安全教育の推進をはかっている。昨年度に引き続き東京都教育委員会より交通安全推進地区推進学校の指定をうけ、その研究に取りくんでいる。環境は約131㎡の大花壇・教材園、約100㎡の芝生園があり、児童の心情を暖める場を形成している。また、職員の手になる、タイヤ山・電柱利用の固定平均台等の遊具施設がある。なお、本年度から特殊学級1学級が併設された。

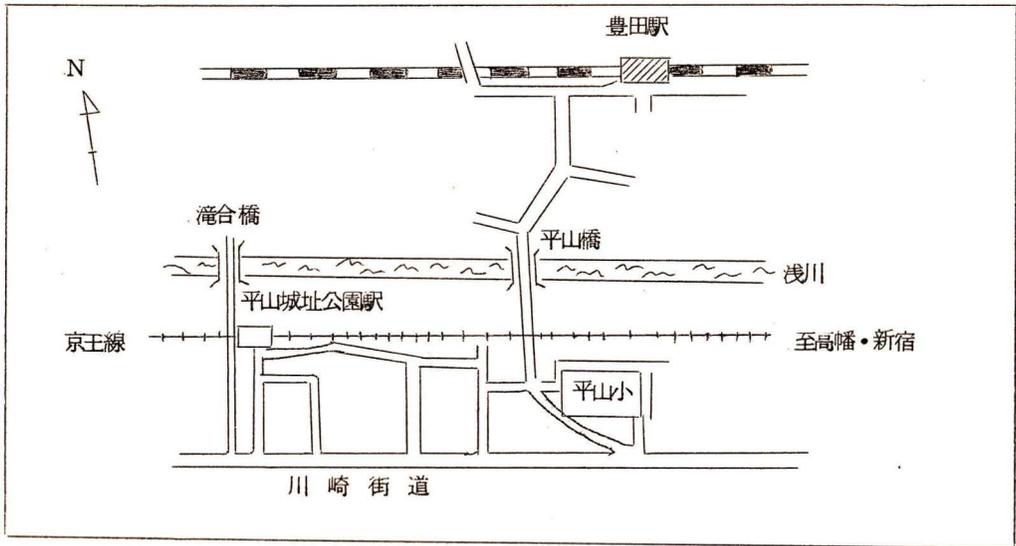
## 10. 都教育研究員, 研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員, 研究生別
昭和40年度	堀 越 邦 昌	学校給食	都 研 究 員
昭和40年度	小 野 晁	道 徳	都 研 究 員
昭和49年度	和 田 文 雄	体 育	都 研 究 員

## 11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
企 業 経 営 者	1 8	3	労 務 従 従 者	8 0	1 3
専 門・技 術 的 職 業	6 5	1 2	サ ー ビ ス 従 事 者	7 7	1 3
管 理 的 職 業	3 8	7	農 林 漁 業	1 8	3
小 企 業 者	3 5	6	そ の 他	1 8	3
事 務 的 職 業	2 1 8	3 8	無 職	7	2

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立第七小学校  
所在地 日野市神明上区画整理地域内106街区  
電話 0425-83-3907・3908  
順路 国電中央線日野駅下車 徒歩約10分  
▽191

校長氏名 星野武之 教頭氏名 大熊喜一

### 1. 沿革の概要

昭46.12・七小開校促進委員会を、第五小学校PTAを母体として発足。以後、小委員会を14回にわたって開催し、七小開校に伴う諸問題について協議。

昭47.3・市議会において、七小建設に伴う案件承認。

昭48.4・日野市立日野第七小学校として開校。日野第一小学校および日野第七小学校の学区を定め、児童数384名、12学級の規模で開校。

- ・トラックをのぞく運動場全面にティフトワーフ(洋芝)の植付け完了。

昭48.5・プール建設工事着工

昭48.6・校章制定『ひの七小』を、いちよしの葉で図案化したものである。植樹計画にいちよしの木を多く入れ、将来、いちよしの木が七小のイメージに合致することを夢見たものである。

昭48.7・体育館建設工事着工

昭48.8・プール建設工事完了。10日プール開き、水泳指導開始。体育倉庫も完成

- ・フェンス建設工事着工。

昭48.9・校旗制定。校章を金糸、銀糸で表示。紫の布地にはえてあざやか。

昭48.11・第1次植樹計画完了。いちよしの並木、さくら、とうじゅうろ、ヒマラヤすぎ、つつじ、さつきなど。学校らしくなる。

昭48.12・ブルーのフェンス完成。

- ・校歌制定。作詩、作曲、国立音楽大学教授 岡本敏明先生。

昭49.2・体育館建設工事完了。体育倉庫を付設。

昭49.3・日野市立日野第七小学校『校舎および体育館の落成記念式』と『校歌発表』

- ・3月1日を開校記念日に制定。校舎および体育館の落成記念式を記念。

- ・第1回、卒業証書授与式。卒業生、2学級、45名。(男24、女21)

昭49.4・開校2年日、入学児77名、児童数398名、12学級の規模で始業。

## 2. 歴代校長

初代 星野武之 昭和48年4月～現在

## 3. 地域の環境

本校は、中央線日野駅から線路ぞいに徒歩10分。二つの坂を登りつめた高台に位置している。坂を登りながら眺められる校舎は、周囲にさえぎられることなく自然と調和して、環境のよさに心をひかれる。

本校所在地の、日野市神明上区画整理地域内の呼称が示すように、校舎の北側に少々住宅がたちはじめたほかは、東側、そして南側には、樹木、雑草、畑作物の緑が広がっている。

屋上に登ると、学区全体をくまなく見渡すことができる。本校児童の95%は、中央線の鉄路をへだてられた西側の台地に居住している。この地域は、ここ10余年の間に旧甲州街道ぞいに発達した新興住宅地帯である。都営住宅、さらに、分譲地住宅という順に急速にふくらんできた町である。あちこちに林があり、樹木が散在するこの地域は、児童の成長にとってすこぶる好ましい状況にある。

現在、本校の南側0.5kmのところの日野消防署がある。将来、日野市の庁舎をこの地に建て市の中心街とする青写真ができていくと聞く。また、現在整理中の宅地造成の作業が、ここ数年のうちに完了するとも聞いている。

校舎の東側校地に、これからの人口増を予想した校舎増築の構想もできあがっている。

## 4. 教育目標

生命の尊重を基調とし、仲よく健康で豊かな個性と能力をもった子どもを育成する。

- みんなと仲よく がんばります。
- 心とからだを きたえます。
- 深く考えて、学びます。
- いきものを、だいにそだてます。

## 5. 本年度の指導の重点

### (1) 各教科

- ムリ、ムダ、ムラのない授業の創造をはかる。(授業の効率化を目ざして～第1段階)
- 学習過程をとおして、児童の主体性を育て、思考を高める。(学習～教授過程の改善とくふう)

### (2) 道徳

- 指導法にくふうを加えながら、児童の道徳心情と態度の向上をはかる。
- 特に、本校児童の表態から、自主、自律の心、動植物愛護の心、向上心、努力心の向上に重点をおく。

### (3) 特別活動

- 児童の自主的、自発的活動の場を設定し、自主、自発の心を育てる。

- 集団活動に、積極的に参加する態度を育てる。

(4) 生活指導

- 安全指導の徹底をはかる。
- 望ましい生活習慣の育成に努める。
- 望ましい友だち関係の育成に努める。

6. 児童数 (昭和49年5月1日現在)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	2	2	2	2	2	2	12
男	39	38	32	38	28	31	206
女	39	27	40	30	27	33	196
計	78	65	72	68	55	64	402

7. 教職員一覧

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	星 野 武 之	50	校 長	48. 4. 1	経営・国語	
2	大 熊 喜 一	46	教 頭	"	経営	
3	斎 藤 イ ク	65	1 - 1	"	算数・家庭	給食主任
4	小 室 恒	29	1 - 2	"	国語・社会	視聴覚主任
5	栄 久 子	27	2 - 1	"	算数・特活	施設
6	成 井 朝 雄	46	2 - 2	"	体育・理科	施設主任
7	西 田 悦 子	23	3 - 1	49. 4. 1	図工・道徳	施設・給食
8	小 板 橋 五 佐 男	46	3 - 2	48. 4. 1	算数・特活	教務主任
9	嶋 貴 博	28	4 - 1	"	社会・体育	施設
10	舞 田 章 子	45	4 - 2	"	体育	生活指導主任・保健主任
11	土 田 憲 二	27	5 - 1	"	理科・特活	視聴覚
12	堀 内 美 恵 子	29	5 - 2	"	国語・特活	教 務
13	田 森 佈 詮	46	6 - 1	"	国語・道徳	図書主任・教務(研修)
14	加 藤 美 知 子	24	6 - 2	"	家庭・特活	生活(教育相談)給食
15	池 田 宏 子	29	音 楽	"	音 楽	図書
16	岩 崎 正	34	図 工	"	図 工	生活(安全教育)教務
17	佐 藤 麻 砂 子	24	養 護	"	養 護	保健
18	吉 村 達 也	27	主 事	"	事 務	庶務主任

※ 年令は、昭和50年3月現在。

○印は、主任

8. 研究主題の推移

昭和48年度	学習環境の整備 ～学級経営の創意くふう～
昭和49年度	学習環境の整備 ～効率を高めるためのむだのない授業～

9. 本校の特色

(1) 小規模校の特性を生かした学校づくりを進めている。

開校2年め。児童数402名、12学級、1学級平均約34名という本校は、日野市における最小規模の学校である。開校後1年間で、校庭の芝、プール、フェンス、植樹、体育館と、施設・設備のほとんどが完成した。これから、その充実・活用の年にはいる。

小さな学校でも大きく見えるように、児童・父母・教職員がひとかたまりになって学校づくりに励んでいる。

(2) 自然環境に恵まれている。

学校周辺は、区画整理進行中のため住民が少なく、畑地が点在し、灌木の群れも見られ緑が多い。児童朝会するとき、耳をすますと野鳥のさえずりがさわやかに聞こえてくる。南には多摩丘陵、西には奥多摩の山並、富士山なども眺められるすぐれた自然環境である。

(3) 校庭緑化の一環として、校庭に芝が植えられている。

この芝は、ティフトーフとって、校庭用としてきわめて適切な洋芝だといわれている、さか立ちする子、でんぐりかえしをする子、寝ころんで天を仰ぐ子、走っても歩いてもふわっとしたソフトな感触が返ってくる。緑のフットとなり、時には、緑のじゅうたんとなって子どもたちの心まで育んでくれる。

将来を見とおして、校庭に整然と植えられた、いちょう、さくら、ひまらやすぎ、とうじゅろ、つつじ、さつき、たまいぶきといった樹木と調和して、体育面ではもちろんのこと、情操面でのすぐれた環境となっている。

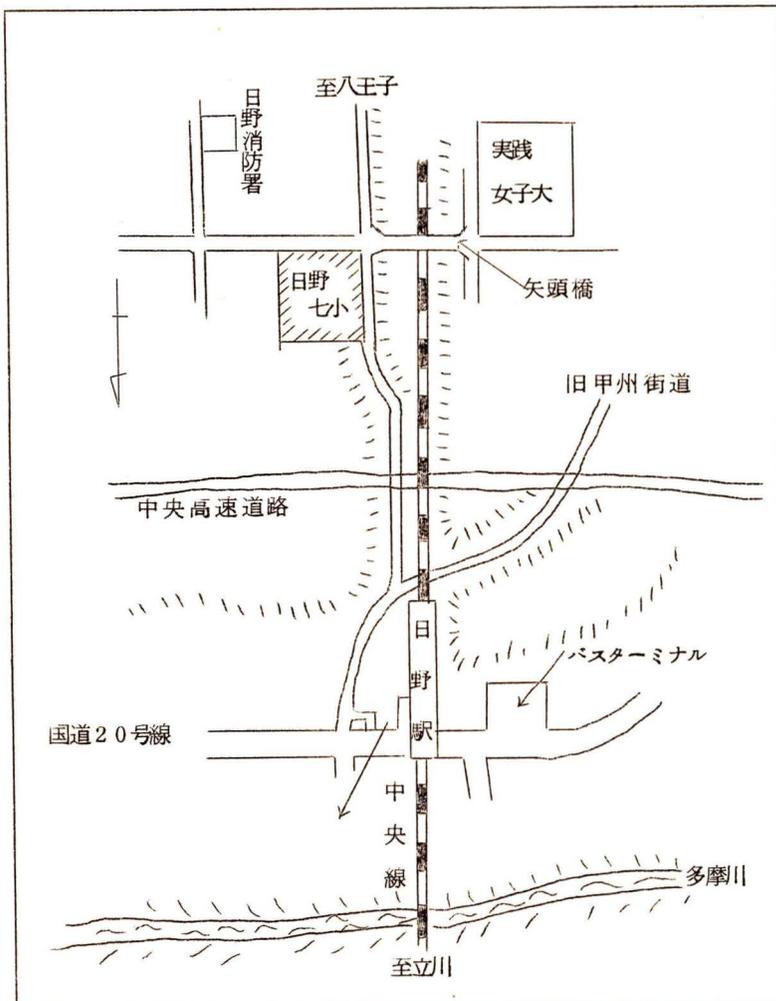
10. 都教育研究員・研究生出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和48年度	田 森 脩 詮	国 語	研 究 員
昭和45年度	小坂橋 五佐男	算 数	＼
昭和38年度	斎 藤 イ ク	学校給食	＼
昭和36年度	星 野 武 之	生活指導	研究生(東京大学)
昭和39年度	大 熊 喜 一	生活指導	＼ ( 〃 )

11. 保護者の職業一覧 (昭和48年5月1日調査)

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
企業経営者	2	0.7	労務従事者	59	20.6
専門・技術的職業	61	21.3	サービス業従事者	21	7.3
管理的職業	33	11.5	農林漁業	0	0
小企業者	28	9.8	その他	9	3.1
事務的職業	74	25.4	無職	1	0.3

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立第八小学校  
所在地 日野市三沢200  
電話 0425-91-2411・2412  
順路 京王線高幡不動駅より東へ15分

校長氏名 岡本省吾

教頭氏名 佐藤勝次

## 1. 沿革の概要

### 昭和44年度

- 44. 1. 2 潤徳小学校の児童激増に伴い第八小学校開設が決定し、工事に着手した。
- 44. 4. 1 第八小学校の開設を9月1日と予定し、潤徳小学校において八小関係の教員並に児童を分離して編成し授業を開始した。
- 44. 8. 1 日野第八小学校が開設され金子武夫初代校長と長井新次郎教頭の二名が着任した。
- 44. 8.16 教員16名と事務職員1名が八小教諭ならびに事務主事に補せられた。
- 44. 9. 1 日野第八小学校が開校となり、八小関係児童に入学通知が出され、415名の児童が潤徳小より転入した。しかし校舎未完成のため移転できず、そのまま潤徳小で授業を行なう。
- 44.11. 1 開校式挙行 11月1日開校記念日と決定。
- 44.11.25 第八小学校落成式祝賀式挙行。
- 45. 1.15 公募により八小の校章決定
- 45. 3.25 第一回卒業式挙行  
56名の卒業生を送る。

### 昭和45年度

- 45. 4. 1 学級増の14学級となりプレハブ2教室増築。
- 45. 4. 6 第1回入学式を挙行し、94名の一年生を迎えた。
- 45. 5.28 PTA奉仕により校庭の植樹作業を行なう。
- 45. 6.15 今年度の校内研究の重点教科を体育と定め、毎月研究授業並びに研究会を行なった。
- 45. 7.15 日野第八小学校の校旗ができた。
- 47. 7.16 25m6コースの新プールが完成し、落成式並びにプール開きを行なう。
- 45. 9. 7 新校歌が完成し秋の大運動会で披露した。なお作詩は米津千之、作曲は渡辺浦人によるものである。
- 45.12.20 校地のまわりの棚が完成した。
- 46. 3.25 第2回卒業式挙行  
67名の卒業生を送る。

### 昭和46年度

- 46. 4. 6 第2回入学式を挙行し、109名の一年生が入学した。  
学校全体では1学級増の15学級となり、教師は1名増員となった。教室不足のため校舎東側

にプレハブの教室を増築した。

- 46. 4.10 本年度より水、木の2日間を40分授業とし、業間体育並びに集会を行なうことにした。
- 46. 6. 4 本年度中に校舎施設、体育研究等に関する他県より本校参観は7件にのぼった。
- 46. 7.21 市の社会教育のための校庭解放が本年度より実施されることになった。
- 46. 9.15 体育館工事が開始され、47年1月31日に完成した。
- 46.12. 3 日野市教育委員会研究協力校として「授業の効率を高める体育指導」というテーマで、練習カードの活用を中心に体育研究発表会を行なう。市及び市外の参会者約100名で盛会裡に終了した。
- 47. 2.15 体育館落成式並びに祝賀会を挙行了した。
- 47. 3. 6 来年度の学級増に伴うプレハブ2教室が完成した。
- 47. 3.25 第3回卒業式を新体育館において挙行し、五学年以上が参加した。59名の卒業生を送る。

#### 昭和47年度

- 47. 4. 6 第3回入学式を行ない、159名の一年生が入学した。1学級増の4学級となる。全校児童数は681名で、昨年より3学級増の18学級となった。プレハブ5教室使用。
- 47. 5. 9 今年度の研究テーマに「教材教具の活用」と「体育の練習カードの利用」をとりあげ、年間15回の研究会をもった。
- 47. 6.20 南側丘陵地に600世帯の西武百草園団地ができたため、児童数が急増、年間約250名の転入者があった。
- 47. 9. 1 本校舎8教室の増築工事が開始され48年3月に完成した。
- 47.10.20 本校南側の程久保川(4m)の改修工事がはじまり、48年5月に完成した。(巾13.5m)
- 48. 3.24 第4回卒業式を挙行し、94名の卒業生を送る。

#### 昭和48年度

- 48. 4. 6 第4回入学式を行ない146名入学、学級数25
- 48. 6.20 日野市教育委員会の授業研究委託研究校となり、本年度の研究の中心を「授業の記録と分析」におき、研究校参観や校内研究等を実施する。
- 48.11.19 創立後初めての学芸会を体育館で開催した。
- 49. 3. 1 人、車道をわけたモダンな校門が完成した。
- 49. 3.25 第5回卒業式を挙行し、105名の卒業生を送る。

#### 2. 歴代校長

氏名	年月	～	年月
金子武夫	昭和44.8	～	昭和48.3
岡本省吾	昭和48.4	～	現在

### 3. 地域の環境

- 本校は京王線の高幡不動駅と百草駅のほぼ中間の北側にある。校舎は田園の真中にあり、大自然の中で子どもたちは自由にはばたいている。

通学区の最も遠いところは学校まで40分以上もかかる。

- 4ヶ所の京王線踏切、年々交通量の増す川崎街道をかかえ、交通禍の危険にさらされているため、特に交通指導に力を入れ、地域でも事故防止に全力をあげている。
- 父母の70%がサラリーマンで学校に協力的である。

### 4. 教育目標

個性が豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざして、つぎのような子どもを育成する。

- (1) 健康でたくましい子
- (2) 美しく、ゆたかな心の子
- (3) 深く考え、やりぬく子
- (4) 力を合わせ、はげみあう子

### 5. 本年度の努力点

- (1) きれいな学校
- (2) 明るいあいさつ
- (3) 正しいことば

### 6. 本年度指導の重点

#### ○ 学習指導

- (1) 児童の発達段階、能力に応じた学習形態をくふうし、ひとりひとりに目標をもたせ意欲的に活動させる。
- (2) 考えさせるための効果的な発問をくふうする。
- (3) 教材、教具の活用を図る

#### ○ 生活指導

- (1) 職員が協力して全児童の生活指導に関心をもち、生活目標の徹底を図る。
- (2) 学校内外における安全指導を徹底し、無事故を目標として努力する。

### 7. 児童数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
学級数	5	4	5	4	3	4	25
男	95	88	94	79	61	74	491
女	96	79	88	72	65	63	463
計	191	167	182	151	126	137	954

## 8. 教職員一覧

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	教科	その他
1	岡本省吾	54	校長	48. 4. 1	経営	
2	佐藤勝次	50	教頭	49. 4. 1	経営	
3	三浦光子	31	1-1	48. 4. 1	国語	図書
4	石川耀子	41	1-2	49. 4. 1	体育	校内研修
5	市川忝子	45	1-3	47. 4. 1	道徳	庶務主任
6	中川元美	32	1-4	47. 4. 1	理科	準要保護
7	長浜和子	32	1-5	44. 8.16	図工	教育相談
8	飯田幸次	52	2-1	44. 8.16	算数	教務主任
9	村越千恵子	27	2-2	48. 4. 1	算数	庶務
10	秋山照子	32	2-3	46. 4. 1	図工	校外指導(子ども会)
11	渡辺和子	32	2-4	48. 4. 1	家庭	給食
12	水谷辰夫	23	3-1	48. 4. 1	社会	安全教育
13	高野博子	24	3-2	48. 4. 1	社会	視聴覚
14	佐藤章吾	49	3-3	44. 8.16	社会	生活指導主任
15	渥美秀子	30	3-4	49. 4. 1	道徳	視聴覚
16	酒井道子	25	3-5	48. 4. 1	音楽	掲示
17	中島寿子	31	4-1	48. 4. 1	体育	給食
18	平山毅	41	4-2	45. 4. 1	道徳	安全教育, 道徳主任
19	矢作道子	26	4-3	49. 4. 1	家庭	校内美化
20	池田康雄	24	4-4	48. 4. 1	体育	校内研修
21	柳沼敏男	48	5-1	44. 8.16	理科	研究主任
22	伊藤フサ子	35	5-2	48. 4. 1	国語	給食主任
23	間瀬静子	27	5-3	48. 4. 1	体育	体育主任
23	橋本允子	33	6-1	45. 4. 1	体育	図書
25	近藤正晴	45	6-2	44. 8.16	国語	保健主任
26	安室清治	26	6-3	46. 4. 1	算数	特活
27	松崎千恵子	48	6-4	49. 4. 1	音楽	学校行事
28	北原恒雄	24	音楽	49. 9. 1	音楽	集会
29	小島シツ	61	図工	44. 8.16	図工	環境整備
30	長田裕子	38	家庭	44. 8.16	家庭	校内放送
31	伊佐弘江	39	養護	44. 8.16	保健	保健出欠
32	内藤康	40	派遣	44. 8.16	体育	
33	郷原敦	30	主事	44. 8.16	学校事務	事務主任(財務・経理)

## 9. 本校研究主題の推移

昭和44年度	体育科の効果的指導法の研究
昭和45年度	授業の効率を高める体育指導
昭和46年度	日野市研究協力校をうけ、45年度の研究のまとめを行う。 研究テーマ 「授業の効率を高める体育指導」 “機械運動を中心にカードの作成と活用”
昭和47年度	○ 教材教具の効果的な活用 ○ 授業の効率を高める体育指導 練習カードの作成と活用
昭和48年度	○ 教材教具を効果的に活用する授業研究
昭和49年度	○ こどもがよろこんで楽しく学習するように指導するにはどうしたよいか (授業分析)

## 10. 本校の特色

- (1) 「きれいな学校」これが本校の努力目標である。「環境は人をつくる」といわれるが、特に環境づくりに力を入れている。校草をかたどった花壇、顔がうつるくらいに磨きあげられた床などは自慢できる特色である。
- (2) みどりに包まれたすばらしい環境の中でありながら、体位体力は全国平均より劣っていた。そこで創立以来、「たくましいからだづくり」を目標にかかげ、体育の授業、業間体育などの研究に力を入れ、年々向上している。
- (3) 600世帯の西武団地の完成に伴ない、年間200名あまりの転入生があった。児童数は創立当時の2倍になり、なお増加中である。

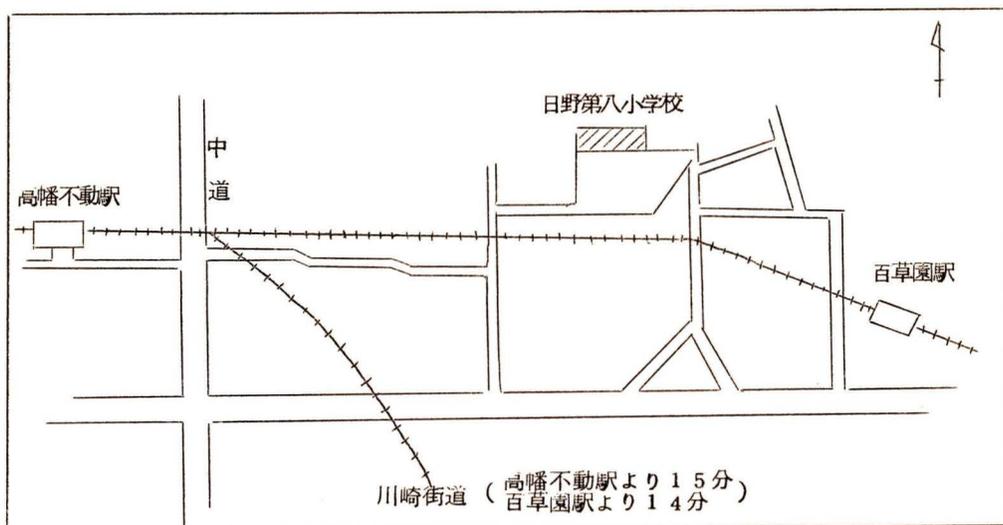
## 11. 都教育研究員

45年度	内 藤 康	「授業の効率を高める体育指導」
47年度	近 藤 正 晴	「疑問をもちながら読む読書指導」
48年度	平 山 毅	道 徳
49年度	内 藤 康	「体育」研究派遣生

12. 保護者の職業一覧

職業分類	家庭実数	%	職業分類	家庭実数	%
専門的技術者	47	6.5	商工業従事者	47	6.5
経営管理者	90	12.5	農林漁業従事者	13	1.8
一般事務従事者	336	46.6	サービス業	18	2.5
公務員	66	9.2	その他	12	1.7
保安サービス業	6	0.8	無職	3	0.4
運輸業	31	4.3			
技術従事者	52	7.2	計	721	100

13. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立百草台小学校  
所在地 日野市百草999  
電話 0425-91-0998  
順路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて  
5分 百草センター下車

校長氏名 村田 安 正

教頭氏名 寺 崎 秋 光

### 1. 沿革の概要

- 昭44. 8. 校舎新築起工
- 44.12. 1 日野市立潤徳小学校百草台分校として潤徳小校内で授業開始。
45. 4. 1 日野市立百草台小学校として新校舎に移転開校する。学級数8, 児童数118, 教職員16, 市職員3
45. 6. 1 開校式挙行, 6月1日を開校記念日とする。
45. 9. 1 高幡台団地の入居により児童数増加296名となり, 学級数11. 教職員17となる。
46. 3. 8 校旗, 校歌発表会を開き3月8日を制定記念日とする。
46. 3.25 第一回卒業式挙行  
卒業生 34名
46. 4. 1 社会増による教室不足のためプレハブ6教室増設
46. 4. 6 児童数604, 学級数16, 教職員23, 市職員3となる。
46. 4.30 校地北側の埋立工事完了
46. 7.31 プール工事完了, 大プール小プール, シャワー, 更衣室, 機械室等竣工
- 46.12.15 体育館新築工事着工
47. 1.31 給食調理室および周辺の舗装工事竣工
47. 2.12 調理室火入れ式挙行, 調理開始

- 昭47. 3.25 第二回卒業式挙行  
卒業生 44名
47. 3.31 高幡台小学校の新設にともなう学区変更により高幡台団地および周辺の児童は高幡台小学校へ転校。
47. 4. 1 高幡台小学校の新設により児童数416, 学級数12, 教職員18となる。
47. 6.17 体育館落成式挙行
48. 1.31 図工室南側と北側に花だん竣工
48. 2. 1 投てき板が完成
48. 3.17 校庭雨の土手つつじ園が完成
48. 3.24 第三回卒業式挙行  
卒業生 43名
48. 4. 6 児童数463, 学級数13
48. 9.26 校舎増築工事開始
49. 3.25 第4回卒業式挙行  
卒業生 39名
49. 3.31 増築7教室竣工
49. 4. 6 児童数541, 学級数16  
教職員数24名

### 2. 歴代校長

	氏 名	年 月	～	年 月
初代	岡本省吾	45.4.1	～	48.3.31
2代	村田安正	48.4.1	～	現 在

### 3. 地域の環境

日野市の南東部にあって、多摩丘陵に造成された百草団地がおもな学区域である。団地の内外とも起伏が多く、まわりにはまだ緑も多く、静かで変化に富んだ高台である。

眼下には浅川がゆっくりと流れ、その向うには日野市街に続いて立川まで一望に見渡すことができる。近くには多摩動物公園や百草園等があり、日曜日などは都塵をさけたリクリーションの人々でにぎわう。

自然にいだかれたよい環境といえよう。

### 4. 教育目標

- 元気で じょうぶな子ども
- 進んで 働く子ども
- よく考え 正しいことをやりぬく子ども
- 思いやりがあり 助け合っていく子ども

### 5. 指導の重点

- 各教科  
考える力をつけるための授業に重点をおく。
- 道徳  
利己的なせまい考えをすてて、他人のことを思いやる精神を養い、その実践化をはかる。
- 特別活動  
児童活動と学級指導に重点をおき指導計画の実践につとめる。
- 生活指導
  - ・ 集団生活のエチケットをきびしく教え、社会生活の秩序と協力の精神を養う。
  - ・ 学校美化、清掃をとおして、公共物愛護と勤労の精神を養う。

### 6. 児童数 (49.5.1現在)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	4	3	3	2	2	2	16
男	83	49	62	35	35	25	289
女	63	42	41	44	26	23	239
計	146	91	103	79	61	48	528

## 7. 教職員

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
1	村田 安正	52	校長	48. 4. 1	経営	
2	寺崎 秋光	50	教頭	45. 4. 1	経営	
3	幸野 嘉子	48	1-1	46. 4. 1	算数	教務, P T A 担当
4	若月 美登里	23	1-2	49. 4. 1	理科	教務
5	田中 鈴子	26	1-3	48. 4. 1	家庭	教育相談
6	中川 和代	25	1-4	48. 4. 1	社会	準保護関係
7	阿部 二三子	26	2-1	46. 4. 1	国語	庶務
8	千台 健治	23	2-2	49. 4. 1	理科	視聴覚
9	菊池 悦子	33	2-3	45. 9. 1	国語	学校環境
10	信夫 頼子	29	3-1	46. 4. 1	図工	図書館
11	村松 徹二	47	3-2	46. 4. 1	道徳	教務主任
12	東 かほる	26	3-3	49. 4. 1	国語	給食
13	荻沢 モト子	47	4-1	45. 4. 1	図工	給食主任
14	佐藤 昭彦	39	4-2	49. 4. 1	体育	備品
15	鈴木 淳子	23	5-1	49. 4. 1	社会	清掃
16	肥高 重男	47	5-2	45. 4. 1	社会	生活指導主任
17	三浦 勝也	45	6-1	49. 4. 1	特活	研修主任
18	根上 節子	27	6-2	45. 4. 1	国語	特活
19	永井 一郎	38	理科	49. 4. 1	理科	教務, 学校環境
20	飯島 睦子	33	音楽	49. 4. 1	音楽	視聴覚
21	佐藤 カズ子	28	図工	45. 4. 1	図工	入退事務
22	佐々木 加津子	42	養護	45. 4. 1	保健	庶務主任
23	浜田 洋一	33	事務	48. 4. 1		管財事務
24	斎藤 茂	43	組合専従	45. 4. 1		

## 8. 本校研究主題の推移

昭和46年度………作文指導の系統

昭和47年度………作文の力をのばす指導

昭和48年度………考える力をつけるための授業

昭和49年度………授業を通して思考力を高める

## 9. 本校の特色

在学児童のおよそ95パーセントが住宅公団百草団地から通学する児童であり、いわゆる団地学校である。そのため通学路は整備され、専用の遊歩道が通学路となり、安全性は極めて高い。しかし反面学区域がせまく、変化をもとめ、土のにおいに無限の魅力を感じているのが本

校児童の実態である。

開校以来4年を経過したが、児童数の増加がはげしく、すでに高幡台小を分離し、さらに毎年3学級増の見込みで、数年先には、30学級から36学級で、児童数1300人をこえる大規模校となる見通しである。激変する本校では、教育上の内容、環境ともに数年先を見こした教育計画（長期計画とよんでいる）の充実が急務となっている。

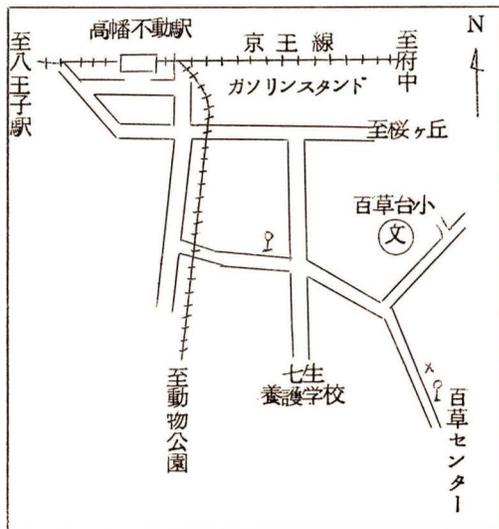
10. 都教育研究員、研究生歴

区分	年度	教科・領域	氏名	場所
研究員	37年度	社会	村田 安正	都研
派遣生	37年度	理科	永井 一郎	学大
研究員	41年度	理科	村松 徹二	都研
研究員	45年度	特活	三浦 勝也	都研
研究員	49年度	保健	佐々木 加津子	都研

11. 保護者の職業一覧

職業	自由業				勤め人				無職
	商業	工業	自由業	その他	会社員	公務員	各種法人	その他	
%	1.2	0.6	3.3	0.9	67.6	15.4	6.0	4.7	0.3

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立滝合小学校  
所在地 日野市西平山2の3の1  
電話 0425-83-5172・5173  
順路 京王線 平山城址公園駅下車徒歩10分

校長氏名 峰岸 敬次郎

教頭氏名 磯川 豊一

### 1. 沿革の概要

昭46.4.1 平山2720番地に開校  
( 学校長 峰岸敬次郎  
児童728人 20学級 )

46.6.1 開校記念日

46.12.1 校章, 校歌制定

47.2.25 落成式挙行

### 2. 歴代の校長

峰岸 敬次郎 昭46.4 ~ 現在

### 3. 地域の環境

(1) 浅川の北側に点在する静かな農家をはさんで浅川より平山団地, 中央線沿いに鉄道官舎がならび, 新旧入りみだれた景観をもっているのが本校の学区である。

(2) 中央線北側の住宅地域も1部分学区域に加わり, 田んぼに囲まれた学校付近とは相対した様相をなしている。しかし, 学校西側には宅地造成も始まり, やがて住宅に囲まれた学校に生まれ変わるであろう。

### 4. 教育目標

- (1) 健康でたくましい子ども
- (2) 勉強に努力する子ども
- (3) 進んで協力し実行する子ども
- (4) 生きものをたいせつにする子ども

### 5. 本年度指導の重点

#### (1) 各教科

ア 特別教室, 資料室等の利用を有効に教材教具を効果的に使用する指導法の研究をする。

イ 授業研究を自主的におし進め, 特に

体育の授業を重点的にとりあげ, 児童ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた質の高い授業をめざす。

#### (2) 道徳

ア 人命はもちろん, 動植物の生命を尊重し, それに基づく, 健康の増進と安全教育に努力する。

イ たがいに信頼し, 協力し合い, 実践活動を重視する。

ウ やさしい心をもって, 動物や植物を愛護する。

#### (3) 特別活動

ア 生活指導, 保健, 給食指導等と密接な連絡のもと, 職員共通理解の上に立って活動を進める。

イ 「生きものをたいせつにすることも」「健康でたくましい子ども」の教育目標を達成するための活唐を特に重視して行なう。

#### (4) 生活指導の重点

ア 日々の授業はもちろん, 各種の集会等において, 時間を守る。すなわち時をたいせつにすることを身につけさせる。

イ 学校と家庭の連絡を密にして, 安全対策, 生活指導を進める。

ウ 自分の所有物をはじめ学校の公共物や建築物等にいたるまで, ものをたいせつにする習慣の形成をはかる。

## 6. 児童数と学級数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	5	5	5	5	4	3	27
男	110	108	111	91	86	62	568
女	84	97	104	94	66	65	510
計	194	205	215	185	152	127	1078

## 7. 教職員一覧

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	峰 岸 敬次郎	60	校 長	4 6. 4. 1	経 営	
2	磯 川 豊 一	60	教 頭	4 6. 4. 1	経 営	
3	石 井 和 子	47	1 - 1	4 9. 4. 1	道 徳	給 食
4	秋 野 美津子	28	1 - 2	4 6. 4. 1	音 学	児 童 活 動
5	小笠原本江	33	1 - 3	4 6. 4. 1	理 科	教 育 相 談
6	伊 礼 道 子	33	1 - 4	4 6. 4. 1	図 工	家 庭 通 信
7	岩 尾 照 夫	46	1 - 5	4 8. 4. 1	算 数	生 活 指 導
8	鈴 木 ナヲ	54	2 - 1	4 7. 4. 1	算 数	出 席 簿
9	野 村 るり子	24	2 - 2	4 8. 4. 1	社 会	生 活 指 導
10	内 藤 洋 子	31	2 - 3	4 8. 4. 1	図 工	教 育 調 査
11	熊 谷 三 起	51	2 - 4	4 6. 4. 1	図 工	教 科 書
12	横 圭 子	28	2 - 5	4 8. 4. 1	国 語	学 級 指 導
13	西 田 敦 子	36	3 - 1	4 6. 4. 1	国 語	図 書 館
14	矢 島 道 子	31	3 - 2	4 9. 4. 1	理 科	施 設
15	清 水 輝 夫	58	3 - 3	4 6. 4. 1	道 徳	教 務
16	小 林 桂 子	24	3 - 4	4 8. 4. 1	算 数	校 具
17	芦 沢 美知子	24	3 - 5	4 9. 4. 1	算 数	給 食
18	橋 本 清	49	4 - 1	4 6. 4. 1	理 科	視 聴 覚
19	赤 松 昭 子	31	4 - 2	4 6. 4. 1	図 工	児 童 厚 生
20	渡 辺 かほ	39	4 - 3	4 6. 4. 1	国 語	保 健
21	柿 沢 鎮 子	45	4 - 4	4 6. 4. 1	道 徳	教 科 書
22	愛 甲 秀 人	27	4 - 5	4 7. 4. 1	理 科	視 聴 覚
23	伊 藤 恵 造	49	5 - 1	4 6. 4. 1	社 会	教 務
24	小 田 切 みさき	23	5 - 2	4 9. 4. 1	算 数	保 健
25	土 屋 正 邦	26	5 - 3	4 9. 4. 1	体 育	生 活 指 導

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
26	川上美穂子	38	5-4	46.4.1	国語	図書館
27	山口武彦	43	6-1	46.4.1	社会	施設
28	溝口達男	27	6-2	46.4.1	体育	校具
29	川井龍介	31	6-3	46.4.1	体育	児童活動
30	鳥飼政喜	51	図工	46.4.1	図工	施設
31	村越正	39	理科	46.4.1	理科	視聴覚
32	岡田あつ子	25	音楽	47.4.1	音楽	公文書
33	野崎賛	28	家庭	49.9.1	家庭	施設
34	田島佳子	33	保健	46.4.1	養護	保健
35	藤井悦子	27	事務	47.4.1	事務	事務

## 8. 研究主題の推意

### 昭和46年度

教材教具を授業にもっとも有効適切に生かすには、その整備及び活用をどうしたらよいか。

### 昭和47年度

特別教室、資料室等の利用を有効に、教材教具を有効的に使用するよう指導法の研究をする。

### 昭和48年度

授業研究を自主的におし進め、児童ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた質の高い授業をめざす。

### 昭和49年度

授業研究を自主的におし進め、特に体育の授業を重点的にとりあげ、児童ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた質の高い授業をめざす。

## 9. 本校の特色

- (1) 校地面積2,139.1㎡という中学校なみの広さに、二の字型のA棟B棟と音楽、図工室は各2を備え、市のモデル校的存在になっている。
- (2) 健康でたくましい子ども、生きものをたいせつにする子ども、の二つを重点教育目標としてとりあげ、前年度体力測定2回、児童1鉢栽培等を行ない、本年度もこの線にそって研究を進めようとしている。
- (3) 児童は全般的に素朴、純情、素直さ等の美点をもつ反面、粗野、粗雑な面があり、物をこわしたり、草花をいためたりすることをあまり気にしない児童もいる。

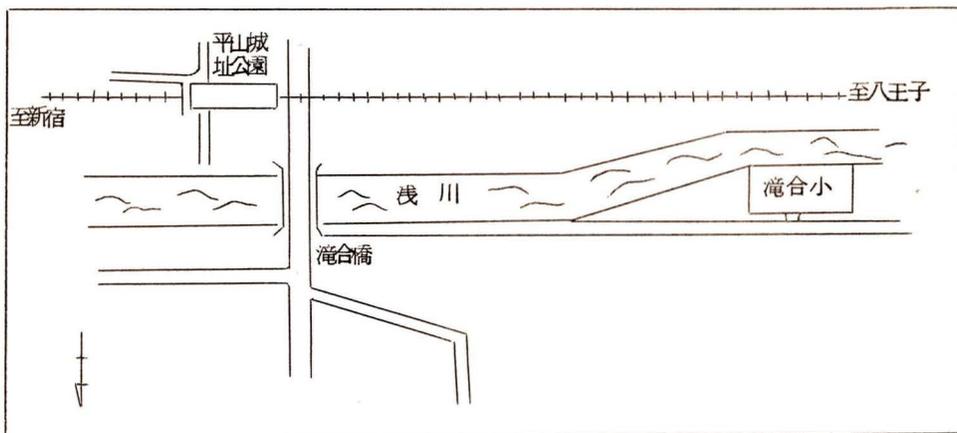
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和46年度	山 口 武 彦	社 会	都研究員
昭和47年度	山 口 武 彦	社 会	都研究生(都研究所)
昭和43年度	岩 尾 照 夫	算 数	都研究生(学芸大)

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭数	%	職 業	家庭数	%
農 業	4	0.5	会 社 員	501	60.9
工 業	11	1.3	医 師	5	0.6
商 業	3.6	4.4	公 社 職 員	84	10.2
運 輸 交 通 業	3.7	4.5	そ の 他	43	5.2
国 家 公 務 員	1.5	1.8	無 職	9	1.1
地 方 公 務 員	78	9.5	計	823	100

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立高幡台小学校  
所在地 日野市保久保550  
電話 0425-91-7011  
順路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて  
5分 高幡台団地下車

校長氏名 平松 健太郎

校頭氏名 渋谷 義一

### 1. 沿革の概要

- 昭46. 8. 7 校舎新築工事起工  
47. 3.10 校舎完成  
47. 4. 1 日野市立高幡台小学校として開校。  
鉄筋三階建校舎 普通教室12  
特別教室4, 特別室9,  
学級数12, 児童数402名,  
教職18名, 市職員2名  
47. 5.27 高幡台小学校PTA設立総会  
47. 6.24 開校式  
本日を開校記念日とする。  
47. 8. 1 プール完成, プール開き挙行  
48. 2.24 校旗, 校歌制定  
第1回卒業式  
卒業生 男18, 女15,  
計33  
48.10. 6 体育館落成式, 体育選手模範  
演技  
49. 3.25 第二回卒業式  
卒業生 男18, 女28,  
計46

### 2. 歴代校長

氏名 年月 ~ 年月  
平松 健太郎 昭47.4.1 ~ 現在

### 3. 地域の環境

日野市の南東部の多摩丘陵に造成された高幡台団地がおもな学区である。高幡台団地は5階~11階の高層鉄筋住宅で、歩行者通路と車道が分けられていたり、郵便局、ショッピングセンターが住宅内にあるなど住み良く作られている。団地のまわり

には緑の森林をめぐらし、西方には丹沢、関東山地の山々を越えて富士が望まれ、北西方には日野市街、日野台、八王子市街から遠く秩父の山々が連っている。学校および団地から眺められる景観はまことに美しくかつ壮大である。

近くには、多摩動物園、百草園、高幡不動があり、都民に親しまれている。住宅街の近くには田畑も残っていて、農耕にいとむ農家の人々もあり、静かなよい環境といえる。

### 4. 教育目標

#### (1) 学校の教育目標

個性豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざしてつぎのような子どもを育成する。

- あたたかい心で 助け合う子ども
- よく考え、自分からやりぬく子ども
- 働くことのすばらしさを身につけた子ども
- 健康で明るい子ども  
た すけあう子  
か んがえる子  
は たらく子  
た くましい子

#### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

学校の教育目標を児童の発達段階にあわせて、学年(学級)目標におろし、日々の学習が学校の教育目標に効果的に結びつくよう計画実践する。

指導の重点を「あたたかい心で助け合

う子ども」とし、昨年の研究の成果と反省の上にたち、特別委員会を組織し研究実践につとめる。事務の合理化をはかり、職員研修につとめる。

5. 指導の重点

○ 教 科

ひとりひとりがわかり学習に興味をもてる指導法をくふうする。  
みんなが助け合って楽しく学習できるよう学級経営をくふうする。

○ 道 徳

「あたたかい心で助け合う子ども」をつくる主題に重点をおき指導する。

○ 特別活動

クラブ活動、児童会活動等の児童活動において、他学年と交流し、助け合う心を育てる。  
学級会活動および学級指導で協調性を育てるようくふうをする。

○ 生活指導

情操豊かな子どもを育てるための方法を検討し、実践につとめる。  
休み時間、放課後などの集団の遊びの中で、助け合う子どもをつくる方法を考え実践する。  
る。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	4	4	3	3	2	2	18
男	75	70	47	53	33	29	307
女	83	67	45	48	30	26	299
計	158	137	92	101	63	55	606

7. 教 職 員

＊ 年令は50.3.31 現在

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校務分掌
1	平 松 健太郎	50	校 長	47. 4. 1	社 会	
2	渋谷 義 一	47	教 頭	47. 4. 1	理 科	
3	村 越 裕 子	38	1 - 1	47. 4. 1	国 語	給 食
4	佐 藤 慎 一	24	1 - 2	48. 4. 1	社 会	生 活 指 導
5	鈴 木 園 子	25	1 - 3	47. 4. 1	算 数	図 書 館
6	安 西 利 江	31	1 - 4	47. 4. 1	算 数	図 書 館
7	末 継 逸 夫	49	2 - 1	47. 4. 1	社 会	教 務
8	渋谷 範 子	27	2 - 2	47. 4. 1	音 楽	教 育 相 談
9	本 間 幸 子	25	2 - 3	48. 4. 1	図 工	給 食
10	青 柳 佳 子	29	2 - 4	47. 4. 1	社 会	図 書 館
11	岡 善 実	44	3 - 1	48. 4. 1	社 会	給 食
12	赤 井 光 子	28	3 - 2	47. 4. 1	国 語	教 務
13	増 田 静 香	25	3 - 3	47. 4. 1	算 数	教 務
14	川 上 卓 一	28	4 - 1	49. 4. 1	理 科	教 務
15	貝 澤 道 子	24	4 - 2	49. 4. 1	社 会	生 活 指 導
16	佐久間 久美子	42	4 - 3	49. 4. 1	理 科	庶 務

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教科	校務分掌
17	中村 笙子	32	5-1	47.4.1	図書館	図書館
18	須藤 貞雄	50	5-2	49.4.1	体育	教務
19	土方 邦男	29	6-1	47.4.1	体育	生活指導
20	松澤 千枝子	24	6-2	49.1.1	国語	給食
21	江口 耕一	41	理科	49.4.1	理科	生活指導
22	河原田 桂子	42	音楽	47.4.1	音楽	生活指導
23	辻田 六郎	60	図工	47.4.1	図工	保健
24	細井 聖子	49	保健	47.4.1	保健	保健
25	石田 義一	40	事務	47.4.1	事務	事務
26	岡江 フミ子	25	休職	47.4.1		

#### 8. 研究主題の推意

昭和47年度	資料の整備と活用
昭和48年度	「あたたかい心で助け合う子ども」の育成について
昭和49年度	・「あたたかい心で助け合う子ども」の育成について ・授業研究

#### 9. 本校の特色

- ・団地校であることから、家庭の生活程度が平均していた。児童の知能程度も比較的高い。反面閉鎖的で協力的な面が欠けるので「あたたかい心で助け合う子ども」の育成を旨として研究を進めようとしている。
- ・開校三年目で整備されていない面が多く、将来の校舎増築などとも関連して、継続的、計画的な校内の環境整備が望まれている。一つずつ整備につとめている。

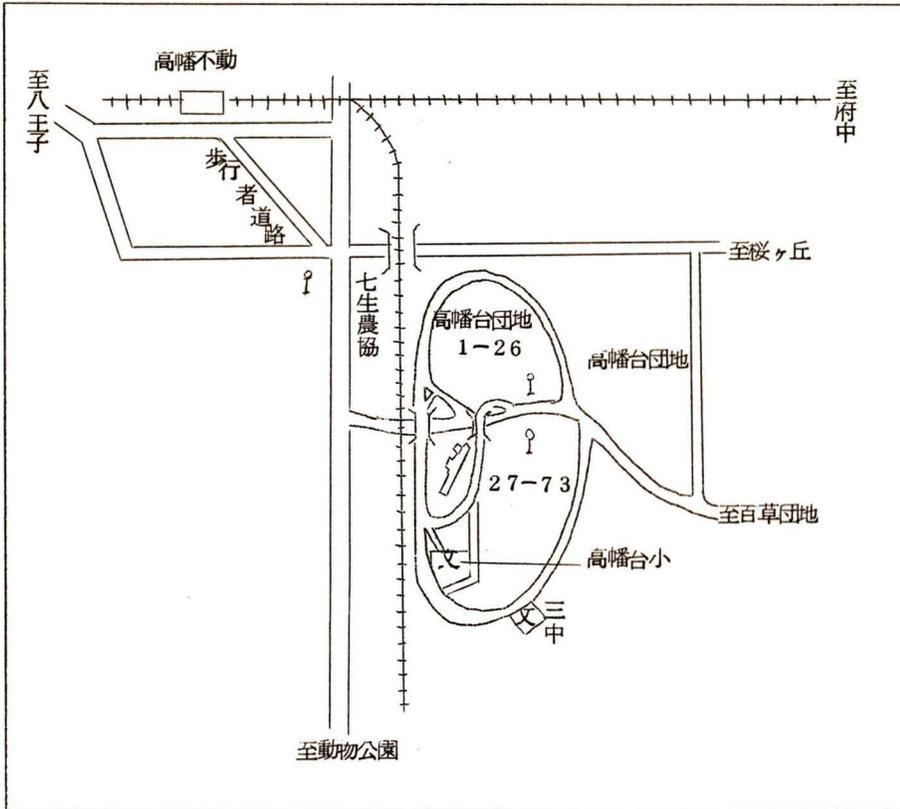
#### 10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年度	氏名	教科領域	研究員、研究生別
昭和40年度	末継 逸夫	特殊教育	研究員
昭和41年度	渋谷 義一	理科	研究員
昭和42年度	渋谷 義一	理科	研究生

#### 11. 保護者の職業一覧

職業	家庭数	%	職業	家庭数	%
会社員	333	68.2	各種技師	18	3.7
公務員	39	8.0	会社役員	18	2.2
教員	15	3.1	団体職員	9	1.8
運輸	22	4.5	その他	9	1.8
工員	5	1.0	計	488	100
自宅商・自宅工	14	2.9			
報道道関係	13	2.7			

12. 学校に至るまでの地図



学校名 日野市立南平小学校  
 所在地 日野市高幡547 (10月末迄の予定)  
 電話 0425-92-2021-2  
 順路 京王線高幡不動駅より徒歩3分  
 潤徳小西隣り

校長氏名 黒沢保雄

教頭氏名 古谷洋太

### 1. 沿革の概要

- 昭48.1.2.17 日野市教育委員会において南平小学校設置を決定。
- 48.1.2.26 日野市議会において、南平小学校設置を可決。
- 48.1.2 ~ 仮称「南平小学校」開設準備委員長に潤徳小星野正男校長以下11名の委員を決定。潤徳小PTAと協力し、小委員会を20教回にわたり開催開校諸準備をすすめる。
- 49.2.19 仮設校舎の建設着工
- 49.3.25 仮設校舎完成。プレハブ教室11、音楽室1、校長・事務室1、職員室1、教材室1。他に潤徳小新館に4教室。更に保健室、用務員室をクラブハウスに設置。
- 49.4.1 日野市立南平小学校開校。学級数15、児童数535名、教職員22名、市職4名
- 49.4.5 仮設校舎校地整理完了。
- 49.4.6 第1学期始業式。第1回入学式挙行。新1年122名

### 2. 歴代校長

黒沢保雄 昭49.4.1 ~ 現在

### 3. 地域の環境

本校の学区は、日野市の南部に位置し、前面に多摩丘陵をきりひらいた南平台(なんぺいだい)、鹿島台、川崎街道をはさんで

南平中(なか)、下(しも)(昔からの唯一の集落)、京王線と浅川ぞいにはさまれた向島の五地区で構成され、比較的まとまった学区であり地区の把握がしやすい。南平中、下をのぞき何れも新興の分譲住宅地であり、父母の社会的、経済的地位は比較的安定している。従って学校教育による関心も高く、学校に協力的である。学区には、自然材あり、田畑、果樹園等自然条件にめぐまれ、西方に丹沢連峰から秀麗富士を仰ぎ見、教育的環境としては最高の条件を具備している。

### 4. 教育目標

#### (1) 学校の教育目標

本校の教育は、憲法、教育基本法の精神に基づき、地域の特性をふまえ、児童の個性、能力の伸長と自然性・創造性を重視し、調和と統一のある教育をめざして行なう。

- 心身ともにたくましい子ども
- 考えながら学ぶ子ども
- 最後までやりぬく子ども
- おもいやりのある仲よい子ども

#### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 教職員の学校経営への積極的参加をとおして、教師、児童の自然性、創造性を高め、よい校風づくりをはかる。
- たくましい心身を育てる教育環境づくりをはかる。
- たくましい心身を育てる教育環境づ

くりをすすめる。

- 「考えさせる授業」をととして、教育内容・方法の現代化をはかる。
- 教師、児童の心の交流をととし、情操豊かで、最後までやりぬく子どもの育成をはかる。

#### 5. 指導の重点

##### (1) 各教科

- 教材、教具の整備と活用を活発にし、基礎学力の充実をはかる。
- 「考えさせる授業」の指導法をくふうし、目標、内容、方法の一貫化をはかる。
- 児童の自発的学習意欲を高めるくふうをする。

##### (2) 道徳

- 人間尊重の精神を根本におき、おもいやりの心をたいせつにする指導を計画的にすすめる。
- 各教科、領域との連けいを深め、内面化、実践化をはかる。

##### (3) 特別活動

- 実践活動をととして、よい校風づくりに児童の自発性、創造性をうながす指導をすすめる。
- 児童が積極的に楽しく参加できる特別活動の全体計画を樹立する。

##### (4) 生活指導

- 明るい学校、清潔な学校をめざした指導を重視する。
- 「学校のやくそく」をみんながたいせつにし、楽しい学校生活がおくれるくふうをする。
- 安全生活に心がけ、けがのない日、事故のない日をめざしたくふうをする。

#### 6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	3	2	3	3	2	2	15
男	66	43	58	53	28	35	283
女	56	33	43	51	37	33	253
計	122	76	101	104	65	68	536

#### 7. 教職員

番号	氏名	年令	担任	本校就任年月日	研究教科	校務分掌
1	黒 沢 保 雄	49	校 長	4 9. 4. 1	社 会	
2	古 谷 洋 太	48	教 頭	4 9. 4. 1	理 科	
3	金 井 信 房	59	1 - 1	4 9. 4. 1	図 工	保 健 主 任
4	高 橋 昭 子	48	1 - 2	4 9. 4. 1	音 楽	給 食 主 任
5	坂 本 友 子	27	1 - 3	4 9. 4. 1	国 語	教 務
6	清 水 征 子	30	2 - 1	4 9. 4. 1	理 科	図 書
7	坂 井 和 子	50	2 - 2	4 9. 4. 1	社 会	図 書 主 任
8	清 井 七 郎	43	3 - 1	4 9. 4. 1	国 語	生 活 指 導 主 任
9	杉 田 佳 代 子	23	3 - 2	4 9. 4. 1	家 庭	視 聴 覚
10	河 村 令 子	26	3 - 3	4 9. 4. 1	算 数	図 書
11	宮 田 光 義	25	4 - 1	4 9. 4. 1	体 育	財 務

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教科	校務分掌
12	坂本富子	27	4-2	49.4.1	算数	教務
13	和田国平	47	4-3	49.4.1	道徳	研究主任
14	逸見政一	36	5-1	49.4.1	体育	生活指導
15	宇土悦子	30	5-2	49.4.1	理科	給食
16	進真郎	47	6-1	49.4.1	体育	教務主任
17	和田いさを	32	6-2	49.4.1	理科	視聴覚主任
18	村上悦子	37	音楽	49.4.1	音楽	視聴覚
19	加納博之	46	図工	49.4.1	図工	財務主任
20	塚本純子	30	家庭	49.4.1	家庭	給食・転出入・教科書
21	土屋良子	21	養護	49.4.1	保健	保健
22	田辺正志	27	事務	49.4.1	事務	事務

### 8. 研究主題の推意

昭和49年度

### 9. 本校の特色

- (1) 仮設校舎であり、潤徳小と隣接し、チャイム、給食を共にしている。
- (2) 11月校舎完成後日課表等の変更も認められるが、教職員が新設校づ
- (3) 児童、父母ともに学校を信頼し、協力的である。
- (4) 児童、父母の経済的、社会的地位が比較的安定しており、要、準家庭がすくない。

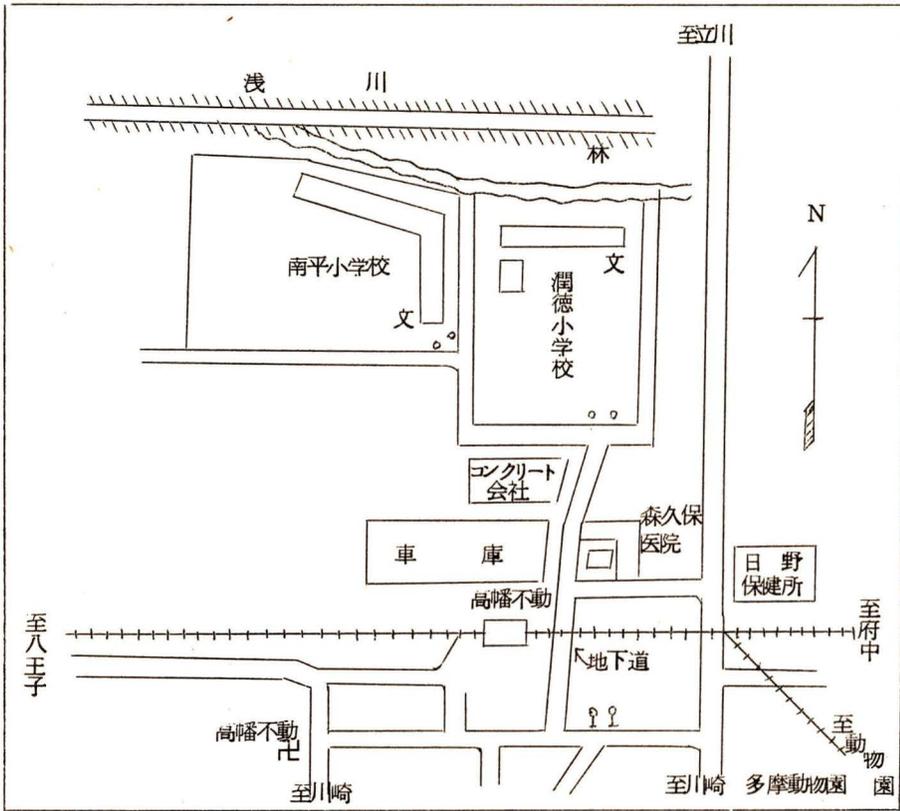
### 10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和35年度	黒 沢 保 雄	社 会	研 究 生
昭和39年度	黒 沢 保 雄	社 会	研 究 員
昭和42年度	坂 井 和 子	教育方法(図書館)	研 究 員
昭和45年度	村 上 悦 子	音 楽	研 究 員
昭和47年度	清 水 七 郎	特 活	研 究 員
昭和45年度	古 谷 洋 太	図 工	研 究 員

### 11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭数	%	職 業	家庭数	%
会 社 員	217	54	各 種 技 師	12	3
公 務 員	41	10	会 社 役 員	16	4
教 員	13	3	団 体 職 員	7	2
運 輸	18	4	農 業	9	2
工 員	5	1	建 設 業	16	4
自 宅 商・工	33	8	そ の 他	9	2
報 導 関 係	9	2			
サ ー ビ ス 業	3	1	合 計	408	100

12. 学校に至るまでの地図



京王線高幡不動駅下車徒歩3分

中央線日野駅・豊田・立川各駅よりバス(高幡不動・多摩動物園行)高幡不動下車



学校名 日野市立七生中学校  
所在地 日野市豊田1944  
電話 0425-91-0174・0157  
順路 南平駅(京王線)下車 徒歩7分

校長氏名 高橋太一

主任氏名 田中弘明

### 1. 沿革の概要

- 昭22. 4. 1 学制改革により七生村立中学校を役場庁舎内に設置
- 昭22. 5.15 七生村役場庁舎を仮校舎として開校式挙行2部授業で発足
- 昭23. 2.15 七生村南平1944番地に七生中学校敷地決定、地鎮祭を挙行
- 昭23. 9. 4 新校舎完成。本日より授業開始
- 昭32.12. 1 PTA結成第1回総会を挙行
- 昭32.12. 1 創立十周年の記念式典及び校歌制定の発表会を挙行
- 昭36. 7.15 プール新設工事着工(東京都費による)
- 昭37. 7.31 プール開きを挙行
- 昭41. 7. 1 体育館落成
- 昭41. 1.31 鉄筋コンクリート防音校舎改築はじまり現在にいたる。
- 昭45. 3.31 鉄筋コンクリート防音校舎九教室完成する。
- 昭45. 4. 1 七生中学校三中分校設置
- 昭45. 9.30 日野第三中学校開校につき七生中学校三中分校廃止
- 昭46. 3.31 第二期防音鉄筋校舎完成
- 昭46. 5.27 防音校舎落成記念式典挙行
- 昭46. 8.24 プール浄化装置、更衣室完成
- 昭47. 3.20 観察用水槽完成
- 昭47. 5.22 訪問学級開級式

### 2. 歴代校長

氏名	年月	～	年月
飯塚節三	昭22. 4.	～	昭25. 9
増山恒	昭25.10	～	昭30.10
飯島一吉	昭30.10	～	昭37. 3
木村巧	昭37. 4	～	昭40. 3
芳西幸三	昭40. 4	～	昭44. 3
羽崎一男	昭44. 4	～	昭47. 3
高橋太一	昭47. 4	～	現在

### 3. 地域の環境

学校は京王線より徒歩7分、中央線豊田駅より南へ20分、浅川にそよやかな位置にある。学区は京王線に沿って東西に長く、平担部と多摩丘陵からなり、急速に都市化が進みつつある。生活環境がよく、生活指導には恵まれている。

学区内に百草園、高幡不動等があり、また多摩動物園、平山城址等の文化施設がある。

### 4. 教育目標

教育基本法および学校教育法の定めるところに基づき、自主、敬愛、勤勉、責任、健康の五つの教育目標を定め、これを身につけた人間の育成に努める。

### 5. 本年度指導の重点

- 学習指導  
基礎学力の向上  
自主的学習態度の養成
- 生活指導  
上記教育目標を身につけた中学生らしい生活態度の育成。生徒の非行化防止と善導、道徳、特別活動の効果的運営。

・進路指導

進学・就職の両面にわたり、自己の適性を考えて進路を決定するよう指導する。

・その他

健康の保持増進、交通に対する安全教育の推進。

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計
学級数	7	6	7	20
男	147	148	148	443
女	137	109	123	369
計	284	257	271	812
訪問学級	1 年	2 年	3 年	計
男	1	1	2	4
女			1	1
計	1	1	3	5

7. 職員数

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	高 橋 太 一	55	校 長	47. 4. 1	理 科	
2	田 中 弘 明	54	教 頭	49. 4. 1	英 語	
3	大 藪 和 子	49	1 - A	49. 4. 1	数 学	
4	大 串 美根子	24	1 - B	49. 4. 1	音 楽	
5	新 井 教 且	37	1 - C	46. 4. 1	数 学	
6	阿 部 晃 一	42	1年主任	42. 4. 1	美 術	
7	釣 晃 敏	32	1 - E	49. 4. 1	社 会	
8	猪 井 詔 子	29	1 - F	43. 4. 1	英 語	
9	佐 藤 栄	31	1 - G	49. 4. 1	社 会	
10	成 舞 京 子	39	1年所属	46. 4. 1	理 科	
11	山 辺 文 男	52	1年所属	43. 4. 1	国 語	
12	加 藤 邦 子	35	1年所属	41. 4. 1	保 体	
13	中 村 剛 紀	32	2 - A	46. 4. 1	美 術	
14	山 川 昭 子	42	2 - B	48. 4. 1	数 学	
15	荒 井 式 子	43	2 - C	48. 4. 1	社 会	
16	海 谷 幸 子	34	2 - D	47. 4. 1	英 語	
17	伊 藤 秀 則	38	2 - E	49. 4. 1	保 体	
18	大 宅 寛	40	2 - F	48. 4. 1	音 楽	
19	戸 川 二美子	27	2年所属	45. 4. 1	国 語	
20	赤 木 清 福	50	2年所属	39. 4. 1	国 語	
21	田 中 憲 助	47	2年所属	37. 4. 1	理 科	
22	大 塚 和 子	27	養護 2年所属	44. 5. 16	数 学	

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
23	明石敏春	45	3年主任 3-A	4 1. 4. 1	数 学	
24	石井幸男	42	3 - B	4 1. 4. 1	理 科	
25	鈴木達夫	25	3 - C	4 7. 4. 1	保 体	
26	松本節子	35	3 - D	4 2. 4. 1	家 庭	
27	三浦義次	38	3 - E	4 9. 4. 1	技 術	
28	山田葉子	25	3 - F	4 7. 1 0. 1 6	英 語	
29	小松文木	43	3 - G	4 8. 4. 1	理 科	
30	佐藤良枝	52	3年所属	4 2. 4. 1	国 語	
31	木下満子	43	3年所属	4 5. 4. 1	社 会	
32	内藤由紀子	38	3年所属	4 9. 4. 1	英 語	
33	安藤ゆき江	35	3年所属	4 9. 4. 1	保 体	
34	御子柴昭治	48	訪問学級	4 7. 4. 1	特 殊	
35	榎沢日出子	30	訪問学級	4 9. 4. 1	特 殊	
36	志村嘉信	40	内地留学	4 8. 4. 1	技 術	
37	田村詠子	24	産 補	4 9. 2. 1 4	国 語	
38	飯キミ	62	事務主事	2 2. 4. 3 0	事 務	

#### 8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	学校行事等の基本的考え方について	
昭和41年度	学校行事等の調査検討	
昭和42年度	学校行事等の指導計画作成について	(市)
昭和43年度	学校と家庭の協力について(特に家庭訪問)	(市)
昭和44年度	効率を高める学級経営のすすめ方について	(市)
昭和45年度	生徒の自主性を高めるための生徒会活動のあり方について	(市)
昭和46年度	効率をたかめるための指導のあり方について	
昭和47年度	学級経営の効率的運営について	
昭和48年度	ひとりひとりを生かす学級経営について	
昭和49年度	ひとりひとりを生かす学級活動について	

#### 9. 本校の特色

本校は浅川と四季それぞれ変化を見せる多摩丘陵にはさまれ、自然環境には恵まれた位置にある。昭和35年頃までは、純農村であったが、現在は農業経営の子弟は4.4%、ほとんどがサラリーマンの子弟で、急速に生徒数も激増しつつある。

生徒は明かるく、素直であり、父母も教育熱心である。PTA活動も、伝統と新しさをうまく調和して建設的で意欲的である。

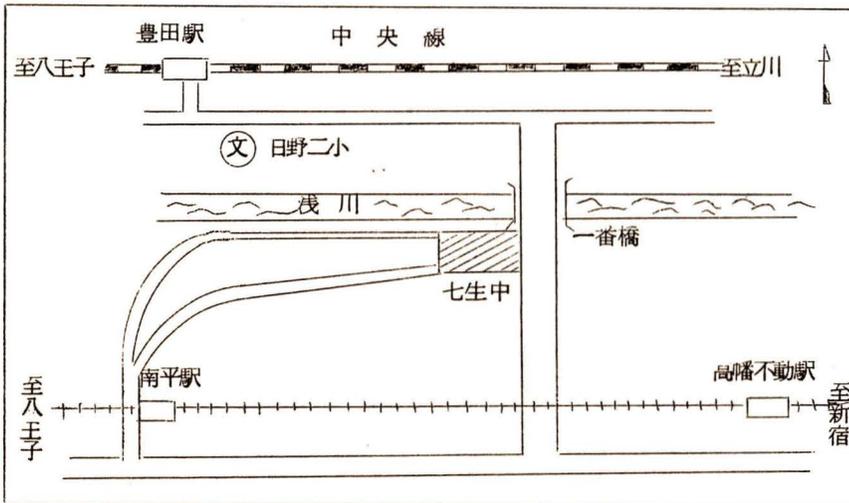
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員，研究生別
昭和34年度	出 水 操	美 術	研 究 員
昭和41年度	城 所 富 子	技術家庭	"
昭和43年度	阿 部 晃 一	美 術	"
昭和49年度	山 川 昭 子	数 学	"

11. 保護者の職業一覧

職 業 名	家庭実数	%	職 業 名	家庭実数	%
会 社 員	4 2 7	5 5.6	自 営 商 業	4 8	6.3
公 務 員	7 0	9.1	" 農 業	3 3	4.3
学 校 職 員	2 0	2.6	自 由 業	3 6	4.7
鉄 道 関 係 職 員	3 9	5.1	無 職	1 3	1.7
公 団 職 員	7	1.0	そ の 他	3 0	3.9
自 営 工 業	4 5	5.9	計	7 6 8	

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立第一中学校  
所在地 日野市日野2614  
電話 0425-81-0009  
順路 国電日野駅下車 徒歩10分

校長氏名 東 恭 朝 教頭氏名 佐 野 和 夫

### 1. 沿革の概要

- 昭22. 4.30 公立中学校として設置認可、  
日野中学校と称する。
23. 3.24 第一回卒業式挙行（卒業生  
43名）
24. 4. 1 校歌制定
29. 4. 1 校名を日野第一中学校と改称
32. 3.22 校旗制定
37. 1.17 標準服実施の決定、37年度  
より実施
37. 9.17 新校舎（鉄筋防音）落成
38. 9. 9 プール落成
- 38.1.1. 3 日野市制施行、市立日野第一  
中学校となる。
39. 5. 1 特別教室完成
41. 7. 1 体育館落成
- 42.1.1. 4 二十周年記念式典挙行
- 44.10.19 救助袋5個取付
- 44.1.02.3 プレハブ校舎完成
46. 6.30 校庭夜間照明灯設置  
（社会教育）
47. 2. 4 井戸水を市水道に切替え
47. 2.29 体育館への渡り廊下建設
48. 3.10 校舎増築（普3,特別2）完成  
特別教室への渡り廊下完成
49. 3.18 第27回卒業式挙行  
（卒業生287名、通算7118名）

### 2. 歴代校長

- 初代 町田勤之助 昭22. 4~昭25. 9(死去)
- 2代 飯塚節三 25.10~37. 3
- 3代 大沢 彰 37. 4~40. 3
- 4代 大沢量作 40. 4~45. 3
- 5代 安部達郎 45. 4~49. 3
- 6代 東 恭朝 49. 4~現在

### 3. 地域の環境

日野市の東部、多摩川と浅川の合流する第四紀沖積層の低地に当り、水の便よく水田が発達し甲州街道ぞいの宿場野として栄えて来た。近年郊外の住宅、工場（羽田ヒューム管、雪印乳業、オリエント時計）、特に中小企業、家内工業、商業が多く、近郊農業もみられる。

なお、日野市の中心地区として、市役所警察署、郵便局、消防署等が置かれ、他に農林省、水産（漆水）研究所、蚕業研究所がある。

### 4. 教育目標

わたしたちは、ひとりひとりを尊重し、真理と平和を求める人間となるために学び、希望に満ちた社会をめざしてつぎの目標を定めます。

1. よく考え、やりぬく人（主体性）
2. 協力し、全体につくす人（連帯性）
3. 心豊かで、思いやりのある人（人間性）
4. 進んで、心身をきたえる人（健康）

5. 教育目標達成のための基本方針と指導の重点

(1) 基本方針

教育内容の組織 思考力や創造力の育成をめざし、基本事項の精選、集約化をはかる。  
 授業時数の配当 自主的な態度、社会連帯の精神、豊かな心情と積極的な体力の育成をめざし、特別活動、音楽、美術は、標準時数以上を実施する。  
 指導方法 自発的態度を助長し、思考力を育成するため、表現や発表の機会を常にとり入れる。  
 諸条件の整備 教育内容の組織化と効率化をめざし、教育機器の活用を検討する。

(2) 指導の重点

① 各教科

積極的に学習する姿勢を育てる。  
 発表の場や表現の機会を多くする。  
 学習の計画を立てさせ、復習、予習の習慣をつける。  
 よく考える態度を養い学力伸長をはかる。  
 指導内容の精選、指導法の改善に努める。

② 道徳

ひとりひとりを尊重する態度を養う。  
 きまりを守り行動する態度を伸ばす。  
 感謝する気持を育てる。

③ 特別活動 教師の指導態勢を十分整え、自発的、自律的活動を伸ばす。

生徒活動 ・クラブ活動に参加し、自主的な活動を伸長する。  
 ・学級の基盤に立った生徒会活動、委員会活動を重視し、自主的な活動を伸長する。  
 学級活動 ・望ましい人間関係を育て、健全な生活態度を形成する。  
 学校行事 ・活動の場を明確にし、自主性を育てる。

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	しあわせ学級			計
				1 年	2 年	3 年	
学級数	7	7	7	1			23
男	148	135	159	3	4	8	457
女	163	160	117	1	4	2	447
計	311	295	276	4	8	10	904

## 7. 教職員

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	担任教科	分掌・その他
1	東 恭 朝	50	校長	4 9. 4. 1		
2	佐 野 和 夫	47	教 頭	4 7. 4. 1	技 術	
3	大 山 正 昭	45	1 A	4 3. 4. 1	英 語	図書視聴覚部主任
4	福 井 温 子	48	1 B	4 2. 4. 1	国 語	教務部庶務係
5	星 貞 裕	25	1 C	4 8. 4. 1	理 科	研究部主任
6	設 楽 益 穂	38	1 D	4 9. 4. 1	社 会	生徒指導部生徒会係
7	蓑 輪 博 美	27	1 E	4 8. 4. 1	家 庭	事務部営繕係
8	立 川 泰 司	47	1 F	4 7. 4. 1	理 科	生徒指導部美化係
9	宮 田 隆	26	1 G	4 8. 4. 1	保健体育	教務部学籍記録係
10	山 浦 宏	50	1年所属	4 5. 4. 1	社 会	生徒指導部生徒会係 1年学年主任
11	山 本 節 子	35	"	4 1. 4. 1	数 学	教務部庶務係
12	土 屋 智 恵子	27	"	4 7. 4. 1	美 術	図書視聴覚部視聴覚係
13	真 船 治 美	40	"	4 5. 4. 1	保健体育	保健部保健係
14	森 田 寿 子	55	"	4 3. 4. 1	心障教育	保健部保健係
15	萩 原 晃	38	2 A	4 8. 4. 1	理 科	生徒指導部生活係
16	五十嵐 公 恵	43	2 B	3 8. 4. 1	国 語	図書視聴覚部、図書係
17	長谷川 忠 男	42	2 C	4 8. 4. 1	数 学	教務部時間割係
18	内 堀 範 子	29	2 D	4 7. 4. 1	英 語	研究部校内研究係
19	大 山 裕 子	28	2 E	4 6. 4. 1	社 会	生徒指導部生徒会係
20	山 賀 典 雄	46	2 F	4 7. 4. 1	技 術	教務部時間割係
21	筒 井 ハ ル	54	2 G	4 5. 4. 1	家 庭	教務部企画係
22	羽 生 幸 一	42	1年所属	4 5. 4. 1	国 語	生徒指導部生活係 2年学年主任
23	星 勝	37	"	4 6. 4. 1	音 楽	生活指導主任
24	伊 藤 利 子	30	"	4 6. 4. 1	保健体育	保健部給食係
25	黒 木 利 武	48	"	4 5. 4. 1	英 語	事務部営繕係
26	山 田 茂 徳	28	"	4 8. 4. 1	心障教育	生徒指導部安全係
27	逸 見 敏	38	3 A	4 6. 4. 1	美 術	生徒指導部安全係
28	阿 部 敬	47	3 B	4 3. 4. 1	音 楽	研究部校内研究係
29	阿 藤 貞 夫	38	3 C	4 4. 4. 1	保健体育	教務部時間割係
30	青 木 礼 子	39	3 D	4 1. 1 0. 1	英 語	保健部給食係
31	福 島 良 樹	27	3 E	4 7. 4. 1	理 科	教務部時間割係
32	宮 田 和 子	44	3 F	4 8. 4. 1	理 科	生徒指導部クラブ係
33	岡 田 文 彦	35	3 G	4 4. 4. 1	教 学	生徒指導部クラブ係

番号	氏名	年令	担 任	本年就任年月日	担任教科	
34	市 塚 正 史	43	3年所属	4 2. 4. 1	数 学	教務部学籍記録係 3年学年主任
35	宇津木 十四男	49	"	4 7. 4. 1	国 語	事務部主任
36	大 貫 米 子	43	"	4 4. 4. 1	国 語	図書視聴覚部図書係
37	天 野 義 雄	42	"	4 6. 4. 1	社 会	教務主任
38	笠 井 素 子	39	"	4 7. 4. 1	心障教育	事務部管轄係
39	小 谷 澄 江	26		4 5. 4. 1		養護担当教諭,保健主任
40	古 塚 淳 夫	31	主 事	4 9. 4. 1		事務室主任
41	長 沢 三 郎	49		2 7. 4.1 6		都研研修
42	五十嵐 邦 享	43		4 6. 4. 1		充当指導主事
43	後 藤 春 樹	68		4 9. 4. 1	技 術	非常勤講師
44	城 所 京 子	37		4 9. 4. 1	美 術	"
45	木 村 留美子	26		4 9. 4. 1	音 楽	"
46	田 本 徹	37		4 9. 4. 1	音 楽	"
47	平 野 保 英	23		4 9. 4. 1	保健体育	"
48	松 本 キミ子	34		4 9. 5. 1	美 術	"

#### 8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	本校生徒の学力と学習適応性
昭和42年度	基礎学力の充実とその効果的指導法
昭和43年度	小集団活動を通しての学級づくり
昭和44年度	小集団活動を通しての学級づくり
昭和45年度	新指導要領はどのように変わるか(教科について)
昭和46年度	新指導要領はどのように変わるか(教科以外について)
昭和47年度	特別教育活動の指導のありかた
昭和48年度	教科における指導法の改善について
昭和49年度	教科における指導法の改善について

#### 9. 本校の特色

掲げられた教育目標の具現化の一つとして、昨年度来、次の二点に特に意を用いている。

- (1) 教科における指導法の改善について 学習の意欲を高め、よく考える態度を養う  
をテーマに授業研究にとりくんで二年目。他校参観や校内での授業研究をもとに、資料の収集や整理につとめている。
- (2) 情操の育成を図るために、教室・廊下などの掲示指導に意を用い、また、校舎内外の美化のために全校いっせいに清掃を実施している。登下校時間の厳守には、教師・生徒会が一体となつてつとめている。

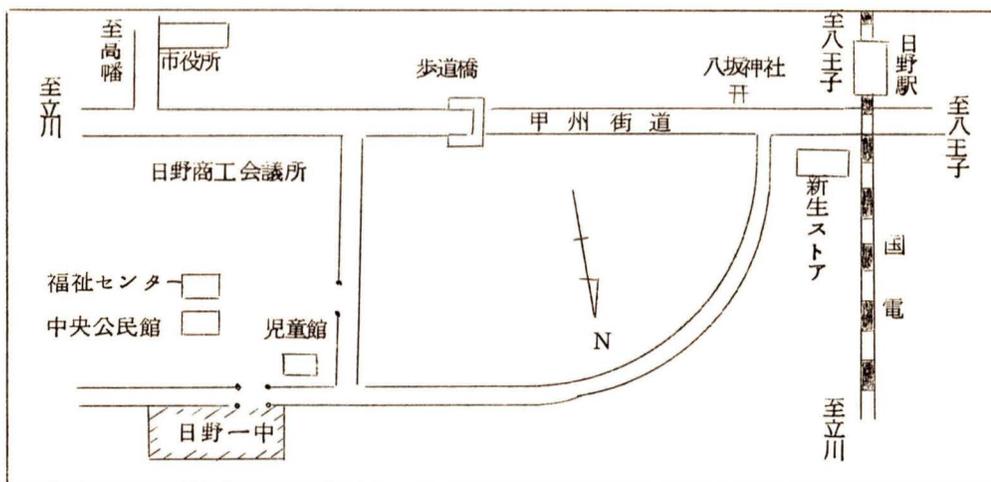
10. 都教育研究員・研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和35年度	佐野和夫	職 業	研究員(豊島区高田中)
昭和43年度	立川泰司	特 活	研究員(八王子市横山中)
昭和43年度	長谷川忠男	数 学	研究員(福生市福生一中)
昭和44年度	市塚正史	数 学	研究員
昭和46年度	岡田文彦	進路指導	研究員
昭和46年度	萩原 晃	特 活	研究員(墨田区両国中)
昭和47年度	市塚正史	教育方法	研究員
昭和48年度	阿藤貞夫	保 体	研究員
昭和49年度	天野義雄	特 活	研究員
昭和49年度	五十嵐公恵		(現代化委員)

11. 保護者の職業一覧

職 業	人 数	%	職 業	人 数	%
専門的、技術的職業	77	8.5	技能的職業	297	32.9
管理的職務	110	12.1	運輸・通信の職業	43	4.8
事務的職業	180	19.9	サービスの職業	54	6.0
販売的職業	55	6.1	無職・その他	32	3.5
農業・漁業	56	6.2	計	904	100.0

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立第二中学校  
所在地 日野市多摩平4丁目5の2  
電話 0425-81-0056  
順路 中央線豊田駅下車 徒歩10分

校長氏名 飯飯 田 卯 吉

教頭氏名 長谷川 辰 美

### 1. 沿革の概要

- 昭29年 設立認可, 開校式, 入学式  
(生徒200名)  
第二期工事八教室増築落成
- 昭31年 第三期工事竣工落成
- 昭32年 第一回卒業式(卒業生204名)
- 昭33年 校旗, 校歌制定
- 昭34年 産業教育研究校に指定される。
- 昭35年 特別教室(工作, 調理, 理科)  
竣工落成
- 昭36年 第二期特別教室竣工  
産業教育研究発表会, 修学旅行  
研究発表会
- 昭37年 プール竣工落成
- 昭38年 保健体育研究発表会
- 昭39年 普通教室3教室竣工, 創立10  
周年記念式典挙行
- 昭40年 体育館竣工
- 昭41年 防音校舎第一期工事完成(6教  
室)
- 昭42年 防音校舎第二期工事完成(18  
教室, プール用更衣室工事完成)
- 昭43年 南校舎前, 境栽花壇完成  
体育倉庫と校庭用便所完成
- 昭44年 プール専用便所一棟完成  
プレハブ棟(2室)増設
- 昭45年 プレハブ棟(2室)増設
- 昭46年 プレハブ棟(2室)増設
- 昭47年 プレハブ二棟(10棟)増設
- 昭48年 四中新設のため34学級より25  
学級に縮小

昭48年 創立20周年記念式挙行  
校舎改修工事(内装)

### 2. 歴代校長

- 初代 橋本 貫一 昭29. 3.31~30. 9.30  
二代 増山 恒 昭30.10. 1~41. 3. 1  
三代 飯田 栄一 昭41. 4. 1~46. 3.31  
四代 河村俊一郎 昭46. 4. 1~48. 3.31  
五代 飯田卯吉 昭48. 4. 1~現在

### 3. 地域の環境

学区は3,000世帯を収容する多摩平公団住宅を中心に日野五社勤務者の居住する住宅がこれを取りまき, 東南部になお農業地域を残し, 本校は多摩平公団住宅のほぼ中央に位置している。

### 4. 教育目標

人間尊重の精神を基本とし, 民主的な社会の形成者としてたくましく実践力のある人間をめざし,

- (1) 健康なからだ, 節度ある自主的精神を養う。
- (2) お互いに尊敬し合い, 奉仕の態度を身につける。
- (3) 高い知性と豊かな情操を養う。

### 5. 本年度指導の重点

- ・学習指導  
自ら学びとる学習の態度を育成し, 基礎学力の充実をはかる。
  - 自主的学習態度の育成
  - 指導法の研究
  - 教材の精選
- ・生活指導

組織，集団を通して自主的に判断し，行動する生活態度を養う。

○ 基本的習慣の確立

○ 生徒との交流

・進路指導

系統的指導計画の実践を通して，自己を理解し，将来の進路を選択する能力を育成する。

○ 教育相談の推進

○ 諸検査，諸調査の活用

6. 学校経営方針

創立20周年に際し，教育実績を謙虚に反省し，安住生臥することなく広い視野と未来の展望に立ち，自主健康，敬愛奉仕，知性の教育目標達成のため全職員協力してあたる。そのために次のことに重点をおく。

(1) 学校，学年，学級経営の創意工夫

(2) 授業研究

(3) 協力体制の強化

(4) 校内研究

7. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計
学級数	8	8	8	24
男	158	155	194	507
女	187	166	159	512
計	345	321	353	1,019

8. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
1	飯 田 卯 吉	59	校 長	4 8. 4. 1		経営管理
2	長谷川 辰 美	47	教 頭	4 8. 4. 1	英 語	校務一般
3	渡 辺 勉	49	1年主任 1 - 1	4 4. 4. 1	数 学	学習指導部（進路，視聴覚）
4	北 田 昇 司	26	1 - 2	4 7. 4. 1	理 科	学習指導部（視聴覚・教育機器）
5	大 石 幸 雄	35	1 - 3	4 6. 4. 1	保 体	学習指導部 （道徳・教育機器・図書館）
6	上 田 嘉 令	29	1 - 4	4 7. 4. 1	音 楽	保健指導部（清掃・安全教育）
7	安 原 実	27	1 - 5	4 8. 4. 1	社 会	生徒指導部（クラブ）
8	三 島 敏 史	25	1 - 6	4 9. 4. 1	理 科	生徒指導部（生徒指導）
9	高 崎 雅 子	39	1 - 7	4 6. 4. 1	国 語	生徒指導部（生徒指導）
10	森 川 亮	43	1年副主任 1 - 8	4 8. 4. 1	数 学	教務部（時間割・諸届・行事）
11	筆 吉 則 子	30	1 年	4 9. 4. 1	家 庭	教務部（教科書）

番号	氏名	年齢	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
12	石 渡 和 子	46	1 年	4 7. 4. 1	国 語	生徒指導部(本部・HR長会)
13	佐 藤 実 枝 子	52	1 年	4 8. 4. 1	英 語	教務部(転・出入)
14	山 村 泉 二	47	1 年	4 4. 4. 1	社 会	庶務部(就学援助)
15	千 田 正 之	36	2 - 1	4 3. 4. 1	保・体	生徒指導部(生徒指導)
16	西 村 敦 子	35	2 - 2	4 7. 4. 1	家 庭	学習指導部(学活・掲示・図書館)
17	渡 辺 恵 敏	39	2 - 3	4 6. 4. 1	理 科	生徒指導部(生徒会指導)
18	柳 井 佐 和 子	34	2 - 4	4 2. 4. 1	保・体	保健指導部長
19	北 野 義 昭	28	2 - 5	4 8. 4. 1	美 術	庶務部(営繕・施設・備品)
20	古 荘 斗 糸 子	35	2 - 6	4 5. 4. 1	数 学	教務部(時間割)
21	橋 本 紘 一	33	2 - 7	4 3. 4. 1	英 語	学習指導部長
22	永 谷 豊	41	2 - 8	4 7. 4. 1	技 術	生徒指導部(生徒指導・教育相談)
23	我 妻 要	50	2年主任	4 2. 4. 1	国 語	生徒指導部(HR長会)
24	神 保 美 智 子	28	2 年	4 8. 4. 1	音 楽	学習指導部(道徳・視聴覚)
25	武 藤 光 哉	47	2年副主任	4 7. 4. 1	社 会	教務部(諸届・行事・時間割)
26	小 松 豊 子	32	2 年	4 7. 4. 1	国 語	教養部(報時・補講)
27	飯 島 利 三	35	3 - 1	4 8. 4. 1	技 術	学習指導部(視聴覚・放送・進路)
28	石 田 洋 子	28	3 - 2	4 6. 4. 1	英 語	教務部(時数集計)
29	秦 好 一	50	3年副主任 3 - 3	4 2. 4. 1	社 会	保健指導部(安全教育・清掃)
30	和 田 啄 子	37	3 - 4	4 7. 4. 1	保・体	生徒指導部(HR長会)
31	内 田 耕 一 郎	43	3 - 5	4 8. 4. 1	教 学	学習指導部(図書館・道徳)
32	福 地 和 子	45	3 - 6	4 7. 4. 1	理 科	保健指導部(調査統計・清掃)
33	井 田 武	45	3 - 7	4 1. 4. 1	国 語	学習指導部(学活・図書館)
34	森 紀 子	33	3 - 8	4 5. 4. 1	社 会	生徒指導部(生徒会専門委員会)
35	原 島 弘	42	3年主任	4 6. 4. 1	保・体	生徒指導部(生徒指導)
36	村 上 敏 雄	39	3 年	4 7. 4. 1	音 楽	教務部(諸帳簿)
37	小 林 初 子	37	3 年	4 6. 4. 1	美 術	教務部(時間割)
38	広 瀬 昭	43	3 年	4 8. 4. 1	英 語	庶務部長
39	稲 川 正 義	46	3 年	4 4. 4. 1	理 科	生徒指導部長
40	須 藤 節 子	27	養護教諭	4 5. 4. 1	養 護	保健指導部(企画・応急・安全)
41	佐 藤 博 助	54	主 査	4 9. 4. 1	事 務	庶務部(営繕・施設・備品・購入) 事務部長
42	田 中 徳 松	45	非常勤 講師	4 9. 4. 1	理 科	
43	高 橋 光 子	45	"	4 9. 4. 1	国 語	
44	田 村 静 子	45	"	4 9. 4. 1	美 術	
45	山 科 敬 子	29	"	4 9. 4. 1	数 学	
46	本 間 慶 子	37	主 事	3 6. 4. 1	事 務	事務部

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教科	校務分掌
47	市川昌子	30	主事	48.10.15	事務	事務部
48	川村道雄	53	用務員	48.4.5		用務
49	星野正光	63	用務員	49.4.1		用務
50	小林政枝	49	P T A 事務員	42.9.25		P T A事務
51	小松真		校医	48.4.1		内科
52	堀田芳一		校医	48.4.1		内科
53	田中利彦		校医	48.4.1		眼科
54	清水淑郎		校医	48.4.1		耳鼻科
55	中安彰夫		歯科医	48.4.1		歯科
56	橋本仁		歯科医	48.4.1		歯科
57	池田亥重保		薬剤師	48.4.1		薬剤

9. 本校研究主題の推意

昭和40年度	教科の経営について	昭和45年度	基本的生活習慣の具体的指導 について
昭和41年度	目標の評価(初年度)		
昭和42年度	目標と評価(継続)	昭和46年度	性教育について
昭和43年度	環境整備について	昭和47年度	
	市美術教育研究協力校	昭和48年度	
昭和44年度	環境美化について(継続)	昭和49年度	授業研究

10. 都教育研究員, 研究生の出身歴

年度	氏名	教科領域	研究員, 研究生別
昭和36年度	松本利雄	社会	研究員
昭和36年度	中村忠男	数学	"
昭和37年度	照山宗一郎	技術・家庭	"
昭和37年度	榎本健三	学校行事	"
昭和38年度	本間トヨ	保健体育	"
昭和39年度	松本利雄	学校行事	"
昭和39年度	原島弘	保健体育	"
昭和39年度	村上利雄	音楽	"
昭和38年度	小林節夫	美術	"
昭和39年度	"	美術	"
昭和40年度	"	美術	"
昭和40年度	福田慶罔	英語	"
昭和44年度	小林節夫	美術	"
昭和45年度	西村美沙子	音楽	"
昭和46年度	高木宏文	数学	"

年 度	氏 名	教科領域	研究員, 研究生別
昭和46年度	中 村 功	理 科	研 究 員
昭和47年度	成 瀬 二 郎	理 科	〃
昭和47年度	橋 本 紘 一	英 語	〃
昭和48年度	原 島 弘	道 徳	〃
昭和49年度	村 上 敏 雄	音 楽	〃

### 11. 保護者の職業一覧

職 業	人 数	%	職 業	人 数	%
専門的・技術的職業	80	7.9	運輸・通信的職業	20	2.0
管理的 〃	50	5.5	サービス業	13	1.3
事務的 〃	680	66.7	無職・その他	32	3.1
販売的 〃	71	7.0			
農業	11	1.0			
技術的・ 〃	56	5.5	計	1,019	100

### 12. 本校の特色

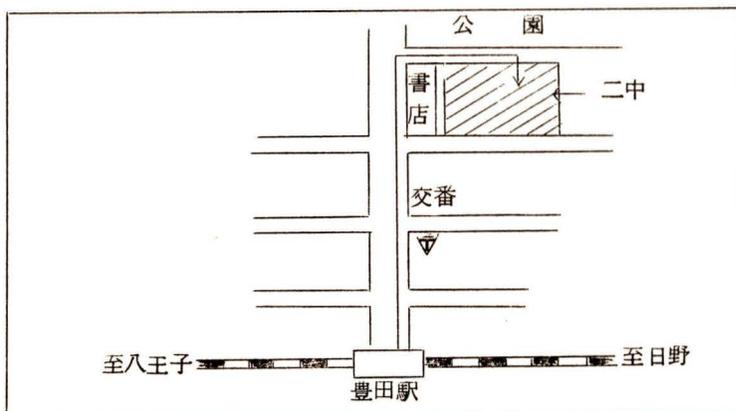
300世帯を収容する多摩平団地のはほぼ中央に位置する。東にけやきの大木、北に緑の中央公園に囲まれ、環境は良好。海拔105m。公害を知らない学校。

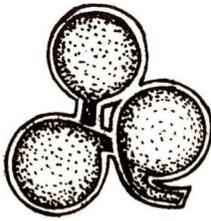
広い校庭に恵まれ、体育系のクラブ活動を活発である。校舎も整備、内装等美化につとめている。

生徒数は1,019名。市内五中学校で1,000名を超えるのは本校のみ。一昨年は34、昨年は25、今年は24学級数と適正規模になりつつあるが、今後また増加の見込みである。

出身小学校は、二小、三小、五小、六小、七小、一小のごく少数である。進路は就職者が34名で、他は全員進学者である。

### 13. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立第三中学校  
所在地 日野市程久保 650  
電話 0425-91-2228(代)  
順路 京王線高幡不動駅より百草団地行バスにて  
高幡台団地下車 徒歩5分

校長氏名 松延耕作

教頭氏名 小林節夫

### 1. 沿革の概要

- 昭45. 4. 1 日野市立七生中学校日野第三中分校として、七生中学校内で授業開始。生徒数26名、教職員数12名。
- 昭45. 7. 7 プール建設工事着工  
(日野市程久保650)
- 昭45. 9. 4 校舎新築工事着工。(同上)
- 昭45.10. 1 日野市立日野第三中学校開校、七生中学校内で授業。生徒数44名、教職員14名、百草団地、高幡台団地を学区とする。
- 昭45.10.28 プール工事竣工。
- 昭46. 3.27 校舎新築工事竣工。
- 昭46. 4. 1 学区変更、程久保地区全部三沢地区上中を加える。生徒数228名、学級数7、教職員16名、市職員3名。日野市程久保650番地の新校舎に移転。
- 昭46. 7. 1 学区変更、西武百草団地を加える。
- 昭46.10. 2 開校式挙行政。10月2日を開校記念日とする。校章、校歌を発表、制定記念日とする。
- 昭47. 4. 1 生徒数363名、学級数10、

教職員19名、市職員4名。

- 昭47. 8.11 体育館建設工事着工。
- 昭48. 1.31 体育館工事竣工。
- 昭48. 3.17 第2回卒業式挙行政。卒業生105名。(累計128名)
- 昭48. 4. 1 生徒数455名、学級数12、教職員22名。社会増による教室不足のためプレハブ2教室増設。
- 昭49. 3.15 プレハブ家庭科室工事着工
- 昭49. 3.18 第3回卒業式挙行政。卒業生144名(累計272名)

### 2. 歴代校長

- 初代 橋本敏一 昭45.9~48.3  
二代 松延耕作 昭48.4~現在

### 3. 地域の環境

本校の学区は、日野市南部の多摩丘陵地帯に位置し、日本住宅公団の百草団地、高幡台団地と民間分譲地の三井団地、電建団地、西武百草園団地および在来の集落である程久保、三沢をふくんだ人口急増のベッドタウンである。

起伏が多く林に囲まれた静かな高台で、眼下には浅川が流れ、はるかに武蔵野台地を一望に見渡すことができる。学区内に都立多摩動物公園、明星大学があり、よい環境である。住民の多くは各地より最近移

住した者で、その大半は都心へ通勤するサラリーマンである。

#### 4. 教育目標

自ら判断し、責任をもって実行する人となる。

- (1) 基礎学力を充実し、文化を創造する人となろう。
- (2) 豊かな心を養い、力を合わせて進もう。
- (3) 若人らしい気力、体力を養おう。

#### 5. 本年度指導の重点

##### (1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

###### ア 各教科

教材を精選するとともに、自主的学習を促進し、学習の効率化をはかる。

- イ 他領域との関連をはかりながら、豊かな心を養い、自主的判断のもとに責任ある行動ができるよう指導内容をくふうする。

###### ウ 特別活動

- ① 小集団を基礎に個人の自発的活動をうながし、学級集団の質を高める。
- ② 学級学年の活動を母体としての生徒会活動の充実をはかる。

##### (2) 生活指導・進路指導の重点

ア 生活指導——学級の基盤の上に立った生徒会活動を伸長させ、組織を通して自律ある生活態度を身につけさせる。

- イ 進路指導——教師・生徒・保護者の緊密な交流をはかり、各学年に応じた系統的指導を実践する。

#### 6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計
学級数	5	5	4	14
男	115	101	79	295
女	101	81	65	247
計	216	182	144	542

#### 7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
1	松 延 耕 作	53	校 長	48. 4. 1	学校経営	
2	小 林 節 夫	45	教 頭	49. 4. 1	美 術	
3	星 野 明	55		48. 4. 1	国 語	代表委員会, 学級会活動
4	長 島 寿 平	52		45.10. 1	理 科	教具機器, 修学旅行
5	鈴 木 信 一	48		47. 4. 1	数 学	図書, 道徳
6	綿 引 正 己	45		49. 4. 1	英 語	教務, 学級会活動

番号	氏名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
7	東 郷 隆 盛	48		4 5. 1 0. 1	国 語	図書・進路・生徒指導
8	志 茂 知 之	43		4 7. 4. 1	社 会	庶務・PTA・給食
9	大 塚 長 栄	45		4 9. 4. 1	国 語	進路・生徒会・卒業
10	鈴 木 幸 子	44		4 5. 1 0. 1	数 学	教具・生徒会・修学旅行
11	佐 藤 恒	43		4 5. 1 0. 1	美 術	校外・修学旅行
12	細 谷 洋 三	41		4 8. 4. 1	理 科	教務・増築
13	河 野 裕 香	41		4 5. 1 0. 1	音 楽	増築 代表委員会・生徒指導
14	持 田 友 宏	40		4 5. 1 0. 1	社 会	
15	北 原 景 昭	41		4 5. 1 0. 1	保 ・ 体	生徒指導主任・増築・代表委員
16	速 藤 仁	41		4 5. 1 0. 1	英 語	教務・学級会・代表委員
17	桜 井 絢 子	37		4 6. 4. 1	保 ・ 体	体育祭・校外指導
18	菊 地 貞 光	36		4 8. 4. 1	技 術	教務・庶務・卒業
19	佐 藤 寿 枝	35		4 5. 1 0. 1	家 庭	保健・給食
20	富 山 謙 一	29		4 9. 4. 1	社 会	教務・卒業
21	高見沢 文 男	25		4 8. 4. 1	数 学	生徒会・体育祭
22	鍛 冶 真 理	23		4 9. 4. 1	英 語	保健
23	小屋松 ゆ み	24	養護教諭	4 7. 4. 1	養 語	保健
24	阿比留 義 朗	29	事務主事	4 9. 4. 1	事 務	事務
25	中 井 芳 子	44	非常勤 講師	〃	国 語	
26	鈴 木 正 美	46	〃	〃	社 会	
27	丸 山 久 子	43	〃	〃	社 会	
28	内 田 功	35	〃	〃	理 科	
29	堤 保 子	43	〃	〃	理 科	
30	山 岸 香	25	〃	〃	音 楽	
31	古 川 善 夫	25	〃	〃	保 ・ 体	
32	瀬 戸 ケイ子	24	〃	〃	保 ・ 体	
33	鈴 木 康 夫	25	〃	〃	技 術	
34	篠 原 きよ子	23	〃	4 9. 5. 1	国 語	

#### 8. 本校研究主題の推移

昭和46年度 評価の改善について

学級活動の組織的研究

昭和47年度 評価について

教育活動(特活を中心としたもの)年間計画の検討

昭和48年度 視聴覚教育機器の取り扱いと利用法の研究

9. 本校の特色

本校は多摩丘陵の高台に位置し、南には雑木林が接し、四季おりおりの樹木、小鳥のさえずりを楽しむことができる。校舍落成3年目であるが、施設、設備は一応整って、その活用につとめている。

開校以来、「自ら判断し、責任をもって実行する人となる」の教育目標の具現をめざし、全教育活動を通じて、生徒の自主性の育成につとめている。

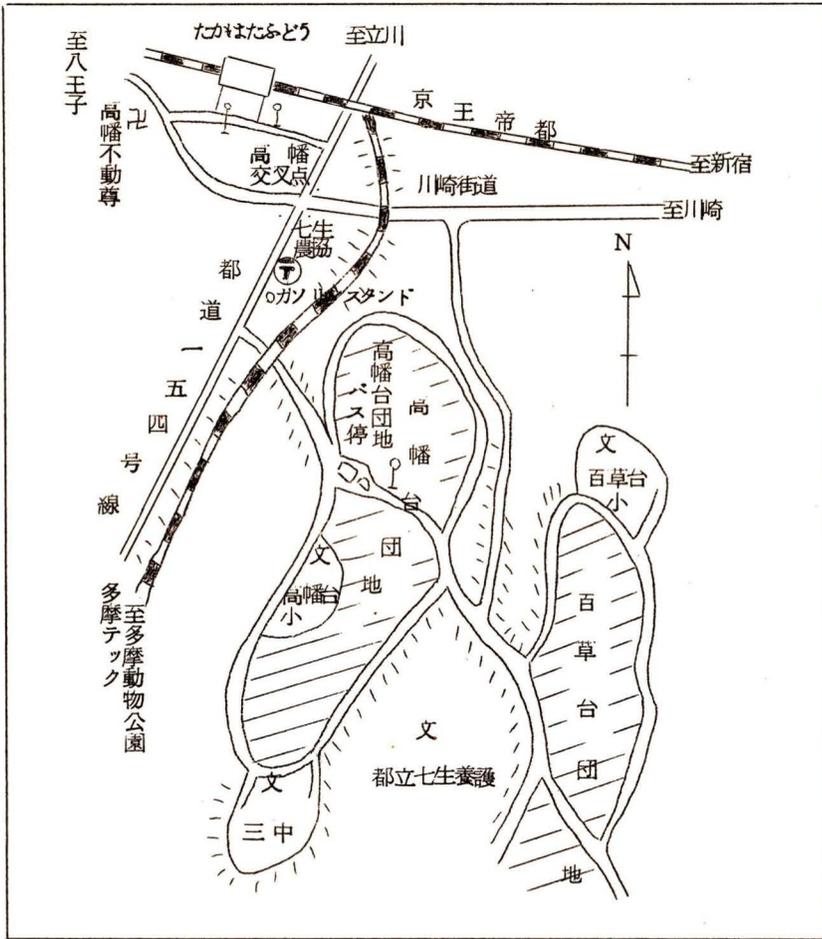
10. 都教育研究員、研究生出身歴

年 度	氏 名	教材領域	研究員、研究生別
昭和26年度	松 延 耕 作	社 会	研 究 生
昭和36年度	"	"	研 究 員
昭和38年度	小 林 節 夫	美 術	"
昭和39年度	"	"	"
昭和40年度	"	"	"
昭和43年度	志 茂 知 之	安全教育	"
昭和44年度	綿 引 正 己	教育方法	"
昭和44年度	小 林 節 夫	美 術	"
昭和46年度	東 郷 隆 盛	国 語	"
昭和47年度	持 田 友 宏	社 会	"
昭和48年度	志 茂 知 之	教育経営	"
昭和49年度	持 田 友 宏	社 会	研 究 生

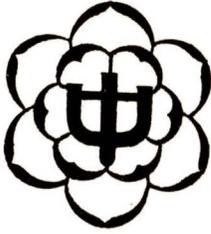
11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
専門的、技術的職業	96	17.7	運輸通信などの職業	33	6.1
管理的職業	74	13.6	保安的職業	9	1.7
事務的職業	109	38.6	サービスの職業	38	7.0
販売的職業	27	5.0	無職・その他	12	2.2
農林漁業などの職業	6	1.1			
技能的職業	38	7.0	計	542	100.0

12. 学校に至るまでの地図



順路：京王線高幡不動駅より百草団地行バスにて高幡台団地下車  
徒歩 5分



— シンボル — 泰山木

学校名 日野市立第四中学校  
 所在地 日野市旭ガ丘 2-4 2  
 電話 0425-83-3905  
 順路 中央線豊田駅下車 徒歩17分  
 バス(長房団地行)都立工科短大下車5分

校長氏名 河村 俊一郎

教頭氏名 河野 寿 忠

### 1. 沿革の概要

- 昭 46.1 2. 市議会全員協議会で四中建設について協議した。
- 昭 47. 3.26 市議会は四中建築予算を議決した。
- 昭 47. 5.10 市教育委員会は四中準備委員会をつくった。
- 昭 47. 8.21 四中校舎起工式(工事費19億円。施工小田急建設)
- 昭 47.10. 7 市教育委員会は父母対象に学区説明会を開いた。
- 昭 47.12. 7 市教育委員会は四中の学区を決定した。
- 昭 47.12.25 市議会は四十の屋内体育館の予算を議決した。
- 昭 48. 1.18 屋内体育館着工(工費約4千6百万円。施工小田急建設)
- 昭 48. 2.10 14学級(1年5, 2年5, 3年4)との認可通知がきた。
- 昭 48. 3.26 都から第四中学校の設立認可の通知がきた。
- 昭 48. 4. 1 初代校長 河村俊一郎以下教員24名発令された。
- 昭 48. 4. 6 始業式(2年193名, 3年152名)
- 昭 48. 4. 9 第一回入学式  
(1年192名全校生徒537名となる。)
- 昭 48. 5.13 プール着工(工費約2,700万円)施工)

- 昭 48. 6.11 プレハブ2教室使用開始
- 7. 2 屋内体育館完成使用開始
- 7.18 本校シンボル「泰山木」決定
- 8. 7 プール落成
- 10.13 校歌作詞完成
- 10.16 校章決定
- 10.16 教育目標設定
- 11.10 校歌作曲完成(寺原伸夫)
- 11.14 PTA規約承認PTA発足
- 11.16 校旗完成
- 11.17 落成式挙行
- 11.22 第一回開校記念日
- 昭 49. 2. 2 標準服制定
- 2. 9 PTA第一回総会
- 3.18 第一回卒業式(男73,女79)
- 4. 6 プレハブ3教室使用開始
- 4.24 佐藤イサ教諭記念造園完成

### 2. 歴代校長

代	氏名	期間
初代	河村俊一郎	昭48.4.1～現在

### 3. 地域の環境

本校の学区は、地形的・地質的には北半の洪積台地(日野台)と南半の浅川ぞいの沖積低地に二分されている。台地部は2~3段の段丘状になっており、その境界は高低差10~20mの急崖になっている。

この地域の開発は日野市の中でもっともおくれているところのひとつであり、人家はほとんどなかったが昭和12年小西六写真工業(株)(六桜社)、昭和18年富士電機製造(株)の進出まではほとんど見るべきものはなかった。

しかし戦後はここも近代化の波が押しよせ、昭和33年多摩平団地入居をきっかけに人口は急増をはじめた。

その他、平山工業団地、国鉄豊田電車区なども畑や雑木林をつぶして設置され、学区内の様相は最近10年間でいちじるしく変化している。

#### 4. 教育目標

わたしたちは、平和で民主的な国家、社会の形成者となるために、つぎの目標を定めます。

- 一 進んで学習し、向上する人
- 一 進んで力を合わせ、みんなのために努力する人
- 一 進んで心身を鍛え、やりぬく人

学校の教育目標を達成するための基本方針

- (1) 教育内容 基本事項の系統化をはかるとともに、生徒の思考過程をたいせつにするよう教育内容を配列する。
- (2) 指導方法 興味や関心を重んじ、積極的に学習するよう指導する。
- (3) 時数配当 自主性・社会性・実践力(気力・知力・体力)の育成と豊かな情操の育成をめざし、特別活動、音楽、美術は標準時数以上を実施する。
- (4) 諸条件の整備 開校二年目の実態に照らし、教育課程の各分野の実施に要する教具、機器、資料の整備に努める。

#### 5. 本年度指導の重点

##### (1) 各教科

- ア 進んで学びとる学習態度を育成する。
- イ 基礎学力の充実をはかる。
- ウ 教材の精選、指導法の研究に努める。

##### (2) 道徳

- ア 基本的行動様式、特に整理整頓、時と場所に応じたふるまいを身につけさせる。
- イ 異なる考えや立場も尊重する態度を養う。
- ウ よく考えて行動し、結果に責任をもつ態度を養う。

##### (3) 特別活動

- ア 教師と生徒、生徒相互の心のふれあいを深める。
- イ 自主的に判断し、進んで行動し、協力する態度と習慣を養う。

##### (4) 生活指導

- 組織集団を通して自主的に判断し行動する生活態度を養う。
- ア ひとりひとりの生徒との交流(個別指導)と集団指導とが、互いに補足し合うよう指導をすすめる。
- イ 賞さん、承認、注意、指示など適切に反復指導し、基本的な生活習慣を身につけさせる。
- ウ すべての教師が全生徒の指導にあたる。それ故、教師の共通理解を深める。

(5) 進路指導

系統的な指導に努め、自己の理解、情報の分析を通して、将来の進路を選択する能力を育成する。

(6) その他の配慮事項

ア 学校の主体性を基盤におき、保護者との連携を推進する。

イ 開校二年目の実態から、校内緑化、環境整備と美化に努める。

ウ 生徒指導、生徒会活動、クラブ活動、教職員の諸会議に活用するため、一単位時間は45分とする。

エ 道徳は月曜1校時とし、全校一斉に実施する。

オ 学級活動と学級指導を合わせて水曜6校時に全校一斉に実施する。

カ クラブ活動は木曜7校時に実施し、なお一層の活動(課外クラブ)も認める。(火・土)

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計
学級数	6	5	5	16
男子	129	97	91	317
女子	122	96	104	322
男女計	251	193	195	639

7. 教職員一覧

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	担当教科	そ の 他
1	河 村 俊 一 郎	54	校 長	48. 4. 1	社 会	
2	河 野 寿 忠	43	教 頭	"	理 科	
3	鈴 木 良 身	43	1年主任	"	技 術	生活指導(生徒指導・教育相談)
4	工 藤 満 春	39	1 - 1	49. 4. 1	理 科	教 務(教務事務)
5	辻 和 代	28	1 - 2	48. 4. 1	保・体	生活指導(保健・清掃)
6	藤 野 澄 子	47	1 - 3	49. 4. 1	国 語	生活指導(生徒指導・生徒会)
7	門 脇 年 子	43	1 - 4	"	美 術	学習研究(研究・研修)
8	久 保 田 俊 司	32	1 - 5	"	英 語	教 務(教務管理)
9	相 原 美 智 子	38	1 - 6	48. 4. 1	数 学	生活指導(生徒会)
10	北 條 義 道	63	1年所属	"	国 語	庶務部長(営繕・施設備品)
11	黒 沢 谷 五 郎	49	"	"	社 会	学習研究(道徳・教育機器)
12	萩 原 典 子	46	2年主任 2 - 3	"	家 庭	生活指導(清掃・生徒指導)
13	伊 藤 誠	25	2 - 1	"	保・体	生活指導(安全・生徒会)
14	田 中 栄 一	47	2 - 2	"	国 語	学習研究部長(掲示・図書館)

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	担当教科	その他
15	設 楽 悦 代	38	2 - 4	4 8. 4. 1	理 科	教 務 (教務管理)
16	六 本 木 茂	46	2 - 5	"	社 会	庶 務 (就学援助・カーテン)
17	西 川 利 行	49	2 - 6	"	英 語	生活指導部長 (生徒指導)
18	高 木 宏 文	41	2年所属	"	数 学	教務部長 (教育課程)
19	長 峯 幸 子	24	養 " 護	"		生活指導 (保健)
20	富 士 堯	42	3年主任	"	理 科	学習研究 (学級指導・研究研修)
21	鈴 木 健 一	26	3 - 1	"	保 ・ 体	生活指導 (生徒指導・生徒会)
22	西 村 美 紗 子	38	3 - 2	"	音 楽	生活指導 (生徒会・保健)
23	国 信 武 司	25	3 - 3	"	社 会	教 務 (教務事務)
24	丸 山 尚 夫	42	3 - 4	"	数 学	教 務 (時間副)
25	柳 沢 美 澄	38	3 - 5	"	英 語	生活指導 (清掃・生徒指導)
26	小 畑 亮	52	3年所属	"	美 術	学習研究 (進路)
27	堀 江 富 男	23	"	4 9. 5. 1	国 語	庶 務 (給食)
28	大 野 馨	41	事務主事	4 8. 4. 1		事務部長
29	平 田 教 之	28	講 師	4 9. 4. 1	音 楽	
30	関 口 み さ 子	25	"	"	保 健	
31	榎 本 正 二	33	"	"	技 術	
32	佐 藤 靖 子	36	"	"	家 庭	
33	天 野 絢 子	32	"	"	英 語	

#### 8. 本校の研究主題の推意

昭和48年度 学習指導の現代化 (授業研究)

昭和49年度

#### 9. 本校の特色

(1) 施 設 敷地約17,000㎡ 二級防音校舎 普通教室12, プレハブ5,  
特別教室7, 体育館1,100㎡ プール6コース25m循環式,  
校庭約115m×64m

(2) 教育活動 各領域の調和に心掛けつつ, 新しい校風を創る意気に燃えている。

ア 授 業 校内の研究を深め, 1時間1時間をたいせつにする。授業打切りは極力さけ, 真面目な生徒を育てる。

イ 特別活動 生徒会 (毎月曜) 学級 (毎金曜) クラブ (毎木曜) 学校行事 (適時) の調和をめざし, 一方に片寄ることなく, 時間を厳守して活動し, 自発性, 自律性を育てる。

クラブは他に, 火, 木は5時まで, 土は3時30分まで自主的活動を時間外

に可能とし、全職員分担して指導している。

- (3) 基礎づくり 開校二年目を迎え、「日常活動の充実をめざして」のもとに、昨年設定した教育目標の具現化に努める。

10. 都教育研究員、研究生出身歴

s 41	河野 寿 忠	研究員	理科(日野一中)	s 30	西川 利 行	研究生 教育大英(八王子五中)
s 41	富士 堯 堯	"	特活( " )	s 46	富士 堯	" 都研理(日野一中)
s 45	田中 栄 一	"	国語(日野二中)	s 49	丸山 尚 夫	研究員 進 路(日野四中)
s 44	西村 美紗子	"	音楽( " )	s 48	西川 利 行	現代化委 学校経営( " )
s 35	西川 利 行	"	英語(八王子五中)	s 49	高木 宏文	" 特別活動( " )
s 46	高木 宏文	"	数学(日野二中)			

11. 保護者の職業一覧

各クラス在籍者全員調査

区 分		内 容	人 数	%
教 員		幼・小・中・高・各種学校	24	3.76
学 者・研究 者		大学・研究所	8	1.25
医 師		開業医・病院医とも	6	0.94
国 鉄 職 員			64	10.02
警 察 者 勤 務			11	1.73
銀 行 勤 務		銀行・信用金庫	14	2.19
公 社・公 団 職 員			11	1.73
公 務 員		役所・公共施設勤務	35	5.48
自 営 商 工		商業・工業・アパート経営	51	7.98
店 員・工 員			8	1.25
企 業	経 営 者	役員・重役等	30	4.69
	会 社 員	部課長・一般職員とも	347	54.30
サ ー ビ ス 業		美容・理容・タクシー運転手・ウエイトレス 料理人・看護婦	15	2.34
農 業			2	0.31
無 職			1	0.16
そ の 他		税理士1・団体職員1・宗教団体3・社会事業1 議員1・著述業1・海員1・技師1・その他2	12	1.87
合 計			639	100

12. 学校に至るまでの地図

